

# 県広報映画目録

D V D 版



千葉県文書館

# 目 次

(1) テレビ放送用映画	1
(2) 県政映画	78
(3) 議会だより	99
(4) その他	
県民のひろば	103
特別企画作品	118
テレビ放送用映画分類別索引	120

# テレビ放送用映画

16ミリ、カラー、スタンダード版

映写時間

1～ 10 (20分)

11～ 468 (30分)

私たちの日常生活とかかわりの深い県政の姿をドキュメンタリータッチで描き、千葉県の実状と将来の方向を解説した作品や県議会の模様・郷土の文化・歴史などを千葉テレビを通して放送、紹介したもの。

## 作品の経緯

昭和46年5月	「70年代の千葉県」の題名で制作開始
昭和50年4月	「土曜広報スクリーン」に改題
昭和52年4月	「広報スクリーン」に改題
昭和56年4月	「スクリーンちば」に改題
昭和58年4月	「プラザ500」に改題
昭和61年4月	「ふるさと映画ライブラリー」に改題
～	
昭和62年3月	

# 県政映画

16ミリ、モノクロ、スタンダード版

映写時間

1～ 87 (10分)

16ミリ、カラー、スタンダード版

映写時間

88 (10分)

16ミリ、モノクロ、ワイド版

映写時間

89,91～ 93,95,97 (10分)

16ミリ、カラー、ワイド版

映写時間

90,94,96,98～ 161 (10分～12分)

県の重点施策あるいは県政に関する社会問題などをドキュメンタリータッチで紹介したもの

## 作品の経緯

昭和27年

「千葉県政ニュース」の題名で制作開始

昭和35年

「県民の窓 千葉県政ニュース」に改題

昭和41年

「県政映画」に改題、現在に至る

# 議会だより

16ミリ、カラー、スタンダード版

映写時間

1～ 23 (20分)

24～ 27 (30分)

県議会本会議の開催状況、委員会活動を中心に  
県政と議会の関連、運営の方法、議会のしくみ  
などで紹介したもの。

## 作品の経緯

昭和46年5月

「議会だより」の題名で20分作品を制作開始

昭和48年4月

30分作品に変更

昭和49年2月

作品廃止

(注)昭和49年2月以降の定例会議会は、テレビ放送用映画の作品で対応している。

# その他

## 県民のひろば

16ミリ、カラー、スタンダード版

映写時間

1～ 67 (20分)

68～ 89 (30分)

私たちの生活に密着した県政のさまざまな話題及び情報を対談や座談会などを交えながらわかりやすく解説し千葉テレビを通して放送したものの。

## 作品の経緯

昭和46年5月

「県民のひろば」の題名で20分作品を制作開始

昭和48年4月

30分作品に変更

～

昭和49年3月

## 特別企画作品

16ミリ、カラー、スタンダード版

その年の特別な行事やふるさとの歴史、文化など後世に残す意義ある内容を映像化したもの。

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A001	25年の成果	戦後の荒廃から、豊かな郷土の建設と県民生活の確立を目指し、各種産業の基盤整備や新生活運動など生活面での近代化が行なわれてきた。この映画では首都圏整備計画の一環としての京葉臨海工業地帯の造成にともなう工業県として発展してきた千葉県の25年の歩みを振り返る。	昭和45	20分	カラー	0001
A002	最近の県政	工業、農業の順調な伸びを背景に、社会文化、福祉など県民生活の向上をはかる長期的、総合的な施策が推し進められている。この映画ではこれらの施策を中心に最近の県政を紹介する。	昭和45	20分	カラー	0001
A003	京葉臨海工業地帯	豊かな自然と環境に恵まれ、農水産業が中心であった千葉県も臨海工業地帯の造成によってそれまでの姿を大きく変えた。優れた立地条件の下で、電力、鉄鋼、石油化学などの基幹産業を中心に、日本経済の一翼を担うに至った臨海工業地帯の歴史と現状を紹介する。	昭和45	20分	カラー	0001
A004	農業水産の現況	千葉県は、首都圏の生鮮食料基地として、農業水産業ともに順調な伸びを誇っている。しかし、工業化、都市化が進み、農業においては田畑の減少、漁業では埋立てによる沿岸漁業の減少など厳しい状況にある。この映画では土地基盤の整備、栽培漁業の研究などが急ピッチで行なわれている農業、水産の現況と今後の方向を探る。	昭和45	20分	カラー	0001
A005	これからの千葉県	千葉県は、戦後、急速な発展をとげたが、その反面、地域格差、公害問題、交通情勢の悪化などさまざまな問題が表面化した。このような社会経済の変化に対して、県は「量的発展から質的充実へ」のスローガンのもとに県政の充実をはかっているが、この映画ではこうした点を中心に将来の千葉県の姿を描く。	昭和45	20分	カラー	0002
A006	ふるさとのうた	千葉県には、数多くの民謡がある。その中には、古くから人々に受け継がれてきた心の唄や、最近つくられたものもある。この映画では、銚子大漁節、木更津甚句、白浜音頭、浦安音頭の4つをとり上げて紹介する。	昭和45	20分	カラー	0002

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A007	花・花・花 春の南房	3月にはいるとあちこちから運ばれてくる花のたより。南房総の春は温室といわず、露地といわず、花が咲き乱れ、訪れる人々の心を和ませる。その花の中心地である海浜植物園「南房パラダイス」と江見、太海、白浜等の温室や路地栽培の花々を紹介する。	昭和45	20分	カラー	0002
A008	がんばれ！！ママさん	社会の安全と生活の向上につれて、婦人のグループ活動が盛んになってきた。この映画では余暇を利用してスポーツ、芸術にいそしむ、習志野婦人体操クラブ、コール・マーマ、千葉ファンシー、ママさんバレーボールを紹介する。	昭和45	20分	カラー	0002
A009	ヤング'71	伝統と強さを誇る高校のスポーツクラブの中から、習志野高校サッカー部、東金高校体操部、銚子商業高校野球部をとりあげ、たくましい体と精神に支えられ、毎日の練習にはげむ高校生を紹介する。	昭和45	30分	カラー	0003
A010	伝統に生きる	めまぐるしく変動し、オートメーション化される現在、わが郷土には古くから受け継いだ伝統を脈々と伝える人々がいる。この映画では、刀匠石井昭房氏と唐棧織の斉藤さん兄弟の気魄にみちた姿と素晴らしさをみごとにあらわしている。	昭和45	30分	カラー	0003
A011	県民の顔	70年代は人間尊重の時代であるといわれ、また価値の多様化の時代であるともいわれている。この映画では、340万突破した県民の様々な生活と声を取りあげ、豊かな県民生活の確立を目指す県政の今後の方向性を46年4月におこなわれた知事選を通して考えてゆく。	昭和46	30分	カラー	0003
A012	へき地教育に生きる	銚子市立椎柴小学校長山分校に宮崎先生夫妻が勤務してもう20数年になる。教材不足や、集団生活、情操面でのいくつかのハンディを背負いながらも子供たちはたくましく成長してゆく。後に続く若い教師たちの励みになるようにと活躍を続ける宮崎先生夫妻と生徒たちの心の交流を描く。	昭和46	30分	カラー	0003

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	フレーム ナンバー
A013	人と車	昨年度県内で発生した交通事故はおよそ20,000件、死傷者は28,000人にのぼった。そしてこの悲しい記録は世をあげてのモーターゼーションのなかで増加してゆく傾向にある。人と車 この両者が秩序をもって共存するには何が必要なのかということを考えてゆく。	昭和46	30分	カラー	0004
A014	若ものたち	明日へのかぎりない夢とたくましい力。それは若ものたちだけに与えられた特権である。この映画では施設園芸と取組む竹内君、栽培漁業の金子君たち、そして機械加工の谷君の職場での生活を追いながら、若ものたちの明日への姿を描く。	昭和46	30分	カラー	0004
A015	農業改良普及員の1日	稲作転換、そして近代農業への転換と大きく揺れ動く農業のなかで現場の農民と共に考え歩む農業改良普及員の仕事は一段と忙しさを増した。この映画では佐倉農業改良普及所を舞台に活躍する普及員の姿を描きながら新しい時代を迎えた本県農業について考える。	昭和46	30分	カラー	0004
A016	首都圏のなかの340万人	GNPの高さと経済繁栄がうたわれる半面、大都市への人口集中は急激に進行し、首都圏のなかの千葉県もいまや人口340万人。交通、住宅、公害など多くの都市問題が発生しているがここでは市川、船橋市などの市長インタビューを中心に新しい都市づくりを解説する。	昭和46	30分	カラー	0004
A017	保健婦さん	保健婦さんの仕事は地域の保健、衛生の向上をはかるといふ地味ではあるが大切なものである。この映画では松戸保健所、木更津保健所、市原市に勤務する保健婦さんたちの地域に密着した検診活動を紹介してゆく。	昭和46	30分	カラー	0005
A018	大地をひらく	めざましい発展を続ける千葉県はいま、成田空港を含む北総地帯の大開発に着手している。この新しい時代を迎えた北総に誕生する成田ニュータウンは、緑と太陽を十分に取り入れた未来都市の建設である。映画はニュータウンを中心に北総開発の現状と将来を紹介してゆく。	昭和46	30分	カラー	0005

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A019	老人たちの記録	核家族化が進行し、また人間の寿命が伸び人生が長くなるにつれ老人問題はますます深刻の度を深めてきた。確実にやってくる「老後」について誰もが自信があるわけではない。この映画では老人施設"みやこ園"での老人の姿を追い、人間の宿命のカベである老人問題を探ってゆく。	昭和46	30分	カラー	0005
A020	緑と生活	工業化、都市化が急激に進行している今日、私たちの周囲からは日に日に自然が失われている。緑は大気の清浄作用もふくめ、人間に心地よい安らぎと落ちつきを与えてくれる。この映画では家庭や職場、そして地域生活のなかでの緑の役割について解説する。	昭和46	30分	カラー	0005
A021	明日への願い	県内には24,000人の身体障害者がおり、1日も早く社会へ復帰し、明るい人生を送れるよう厳しい機能回復訓練に耐えている。この映画では身体障害者更生指導所を舞台に、明日への願いをこめて訓練にはげむ人々の姿を描いてゆく。	昭和46	30分	カラー	0006
A022	公害 地盤沈下	めざましい産業発展の歪みとして生まれた公害。そのひとつ地盤沈下はその無気味さに加え、原因が十分に解明されていないこともあって県民生活の上に重くのしかかっている。この映画は公害シリーズ第1作として地盤沈下の現状と対策について考えてゆく。	昭和46	30分	カラー	0006
A023	房総の民宿	美しい自然と海岸線に恵まれた房総。梅雨あけの7月には怒涛のような海水浴客が訪れ、2,500軒を越える房総の民宿の"ふるさとの味"を楽しんでいる。この映画では御宿の民宿を中心に房総の海と人々を詩情豊かに描いてゆく。	昭和46	30分	カラー	0006
A024	消費者は王様か	街には大量の商品が氾らんしているが、販売競争の激化の背後には誇大広告、不当表示が横行し、有害食品、不良商品の増加も目立つ。この映画では消費者の生活に忍びよる危険な商品の現状を紹介しながら、消費者が真の"王様"になるには何が必要かを考えてゆく。	昭和46	30分	カラー	0006

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A025	公害 水質保全	近年、諸産業の急速な発展と都市化の進行にともない自然水域の汚濁が著しい。本県でも東京湾・印旛沼・手賀沼をはじめ中小河川の汚濁が進んでいる。公害シリーズ第2作としてこの映画では水質汚濁の現状と今後の対策について考えてゆく。	昭和46	30分	カラー	0007
A026	われら高校生	社会的な自立と自主の精神にめざめる時期である高校生は、誰しものが人生や社会に眼をむけ、現実との葛藤を経験しながら自己を形成してゆく。明日の担い手である彼らはいま何を求めようとしているのか、カメラは松戸の小金高校のなかに入り、現代高校生の姿と声を追う。	昭和46	30分	カラー	0007
A027	過疎地帯をゆく	30年代にはじまる高度成長経済は就業構造を大きく変化させ農村社会にかつてない規模での変ぼうをもたらした。今日深刻な社会問題となっている"過疎"もそのひとつ。この映画では安房郡三芳村をたずね地域の過疎化の現状を、社会的背景とともに描いてゆく。	昭和46	30分	カラー	0007
A028	千葉港	四方を海と大河で囲まれた本県では古くより海運が開かれていた。鎌倉時代に開かれた現在の千葉港は、その後昭和30年代の本格的な工業地帯の造成にともない重要港湾として今日の隆盛を築いた。この映画は千葉港の活況を通して県の経済的プロフィールを描いてゆく。	昭和46	30分	カラー	0007
A029	公害 大気汚染	本県における大気汚染は臨海工業地帯への企業進出とともに顕著となり、とくに市原市周辺の梨に被害を与えてきたが、46年には光化学スモッグの発生が広域化し強力な対策を迫られている。この映画は公害シリーズ第3作として大気汚染の現状と対策について考えてゆく。	昭和46	30分	カラー	0008
A030	中小企業の悩み	資本の自由化、発展途上国の追いあげ、そして国際競争の下での徹底した合理化への要求、また一段と深刻になった労働力の不足と中小企業をめぐる情勢はますます厳しい。この映画では県内の中小企業の実例をとりあげながら、明日の中小企業の指針を探る。	昭和46	30分	カラー	0008

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A031	体力づくり	70年代にはいり物質的な豊かさは約束されたが、公害、交通事故、そして自然の破壊などの生活のなかで内臓系、神経系を含めた生体のメカニズムは狂いだし、健康と体力を次第に失う人が多い。この映画では体力づくりの実際と必要性をわかりやすく紹介する。	昭和46	30分	カラー	0008
A032	赤い血	交通事故、産業災害の増加、そして医療技術の進歩に伴ない血液の需要は増加の一途をたどっている。私たちの生命の根源である血、この映画では血の尊さを描くとともに不足する血液の現状を訴え、献血活動への参加を呼びかける。	昭和46	30分	カラー	0008
A033	公害 騒音・振動・悪臭	騒音、振動、悪臭は私たちの聴覚やきゅう覚などによって直接感知されるため公害のなかでも最も苦情が多く、その内容も多様である。この原因の主なものには公害発生源と住居の近接によるが、公害シリーズ第4作としてこれらの公害の現状と対策を住民と企業の声を中心に考えてゆく。	昭和46	30分	カラー	0009
A034	千葉丸	495トン、最高速力13ノット、日本の海、そして世界の海に挑む水産千葉県の誇る漁業指導船「千葉丸」。昭和46年5月三崎港を出発し、どこまでも広く果てしない大海原に豊かな海の幸を求めて活躍する千葉丸の雄姿を描く初の海外ロケーション作品である。	昭和46	30分	カラー	0009
A035	魚と流通	昨今の物価上昇は家計をあずかる主婦の頭を悩ませているが、流通問題は物価と密接な関係にあり、その合理化、近代化が図られている。この映画は銚子港で水あげされた魚が食卓に飾られるまでを克明に追い、その間の流通の問題点と対策を解説してゆく。	昭和46	30分	カラー	0009
A036	波のり道路	九十九里は延々66キロメートルの雄大な海岸線を誇り、静寂な砂浜は詩情にみちあふれている。この一帯を一大海浜レクリエーション地帯として発展させる観光開発の中核「波のり道路」の建設も着々と進んでいる。この映画では波のり道路を中心に九十九里開発のビジョンを描く。	昭和46	30分	カラー	0009

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A037	利根川	延々320キロメートル、群馬県北部に端を発し、沿岸の大小河川を集めて関東平野をつるおす利根川を、人々は坂東太郎と呼び深い愛情を注いできた。この映画では美しい利根川の自然と街の表情を背景に、70年代を迎えた利根川の役割を描いてゆく。	昭和46	30分	カラー	0010
A038	都市化とコミュニティー	今日、私たちの生活は動態化するとともに広域化し、住民の地域的な連帯感に基づく近隣生活を営む基盤が失われてきている。このためコミュニティー形成の必要性が叫ばれている。この映画では現在、計画のすすむ流山コミュニティーを中心にその構想を考えてゆく。	昭和46	30分	カラー	0010
A039	房総の酪農	本県の酪農は日本酪農発祥の地である安房地方を中心に順調な伸びを続け、牛乳生産量では北海道について全国第2位を誇っている。しかし、経済の発展と人口の増加は酪農需要を今後一層増大すると考えられることから、生産のシステム化、大型化、流通の近代化による安定供給への道を着々と進める本県の酪農について解説してゆく。	昭和46	30分	カラー	0010
A040	日本の玄関 成田空港	日本の新しい空の玄関、成田空港の建設は用地買収の問題、代替地の問題、そして騒音問題など幾つかの難問のなかで、4,000メートル滑走路、ターミナルビル、管理棟など主要な工事が着々と進められている。映画は空港建設の記録を中心に開港の意義を解説してゆく。	昭和46	30分	カラー	0010
A041	若潮国体をめざして	「輝やく心、輝やく力、輝やく太陽」をスローガンとした若潮国体も開催まであと2年と迫り、競技場、練習場、関連事業の整備も急ピッチである。この映画では和歌山国体の実録や選手の練習風景を紹介しながら、若潮国体の準備状況を描いてゆく。	昭和46	30分	カラー	0011
A042	パトロールカー	社会が複雑、多様化するにつれ、犯罪はスピード化、広域化し、このため機動性をもったパトロールカーによる警察活動などの強化が図られている。この映画では市民の生命と財産を守るため日夜活動しているパトロールカーを中心に近代警察行政のプロフィールを描く。	昭和46	30分	カラー	0011

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A043	京葉臨海工業地帯	昭和30年代に始まる本格的な臨海工業地帯の建設は、豊かな自然に恵まれ、農水産業が中心であった千葉県を一躍全国有数の工業県へと押し上げ、県民所得も急増させた。この映画では臨海工業地帯の歴史と現況を描きながら、県民生活との関連を解説してゆく。	昭和46	30分	カラー	0011
A044	銚子漁港	河川流と海流のぶつかる"魔の難所"として漁民に恐れられていた銚子漁港に新航路が建設され、太平洋に直接港口をもつ銚子漁港の第一歩が力強く記された。この映画では将来千トンクラスの遠洋漁船の出入も可能となり東洋最大の漁港となる銚子漁港の現況と将来を解説する。	昭和46	30分	カラー	0011
A045	ふるさとの心	70年代にはいり私たちの生活は量的な豊かさよりも、質的な充実を求めるものへとかわってきた。忙しい生活のなかで、ふと眼にふれた風物の美しさ、優しさ。ふるさとの山河が育んだ情緒と伝統そこに生きる風物を素材にふるさとの心を探索してゆく。	昭和46	30分	カラー	0012
A046	夢のかけ橋	首都、京葉、京浜を直結し総延長160キロメートルを誇る東京湾々岸道路は、木更津=川崎=富津=横須賀の夢のかけ橋を含めて首都圏の新しい道路体系を形成する。この映画では両岸の4市町やイラストレーター真鍋博氏の話を中心に夢のかけ橋の構想とそのメリットを考えてゆく。	昭和46	30分	カラー	0012
A047	この子らに愛を 特殊教育の記録	県内には約17,000人の心身障害児童がいると推定されているが、そのうち特殊教育を受けている生徒は全体の3割と低い。この映画では多くの障害と困難に負けず学習する聾学校、盲学校、養護学校の生徒の姿を描きながら、特殊教育への理解を呼びかける。	昭和46	30分	カラー	0012
A048	県政の主なできごと	1971年は県と県民にとって大いなる飛躍の年であった。それは産業、生活の各分野で数々の施策が着実な成果をあげた年であったともいえる。だが50余名の生命を奪った台風25号や空港用地の代執行など暗いできごとが多かった。昭和46年の県政の主なできごとをあらためて振り返ってゆく。	昭和46	30分	カラー	0012

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A049	消費者と生協	適正価格の追求、流通機構の簡素化、またCO-OP商品の販売など、消費者自らが運営の主体となる生活協同組合は新しい消費者運動として数々の成果をあげてきている。この映画では野田生協、登戸生協など県内の幾つかの生協の実践活動を紹介し、その理念について解説してゆく。	昭和46	30分	カラー	0013
A050	宅地パトロール	全国第2位の人口増加率を記録した本県では宅地需要が急増し、多くの不動産業者、デベロッパーを進出させている。だがそれに伴ない悪質な業者も横行し県では宅地パトロール員による業者の監督、指導の強化を図っている。この映画はパトロール員の活躍を中心に宅地売買の現状について解説してゆく。	昭和46	30分	カラー	0013
A051	花ひらく大動脈 東関東自動車道	宮野木 富里間(23.1キロメートル)の開通をみた東関東自動車道は将来鹿島まで延長され、成田空港と都心、そして千葉、鹿島の両工業地帯を直結する大動脈として多くのメリットを与えるであろう。この映画は北総に伸びる大動脈を中心に北総開発をプロフィールする。	昭和46	30分	カラー	0013
A052	変ぼうする北総	新東京国際空港の建設が進み、東関東自動車道を軸とした内陸工業団地、ニュータウンの建設など北総はこれまでにない激動の変革期に直面している。この映画では、かつて農業の中心地であった北総の新しい時代への対応とその将来の姿について解説してゆく。	昭和46	30分	カラー	0013
A053	後遺症 ある交通事故者の訴え	尊い生命を一瞬のうちに奪い去る交通事故。だが一命をとりとめた人でもその後遺症に身も心も苦しめられるケースが多い。この映画は後遺症に苦しむ人々のケースを追い、交通事故の悲惨さを訴えるとともに事故絶滅へのキャンペーンをおこなう。	昭和46	30分	カラー	0014
A054	百万都市への課題	人口350万を突破した本県のなかに昭和60年には100万人を越すと考えられる千葉市がある。だが100万都市への展望は決して明るいものばかりではない。交通、住宅、生活環境などキメ細かで長期的な施策が急務とされている。この映画では千葉市長の抱負を中心に100万都市への具体的なビジョンを考える。	昭和46	30分	カラー	0014

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A055	花の南房総	裏日本の海がまだ灰色にとざされている頃、ここ南房総はあたり一面美しく色彩られた花で埋まる。喜びと希望に満ちあふれた美しい南房総の詩情を花と人々の生活で描いてゆく。	昭和46	30分	カラー	0014
A056	千葉県の水道	昭和9年、計画給水人口25万人で発足した県営水道は現在7市1町120万人に給水を可能とし、一方、市町村営の簡易水道も次第に普及率をあげてきている。急速な需要水量の増加に対処する第4次拡張事業と広域水道計画を中心に千葉県の水道の現況と将来像を解説してゆく。	昭和46	30分	カラー	0014
A057	成田空港 代執行の記録	新東京国際空港の建設にともなう建設予定地での昭和46年2月および9月の代執行の様相を記録したもの。	昭和46	30分	カラー	0015
A058	過疎対策	都市への人口集中のかげに農山村からの人口流出が問題視され、本県でも6地域が過疎地域の指定を受け地域の特性をふまえた総合的な対策が講じられている。この映画では三芳村、君津市清和地区、芝山町の市町村長の話を中心に地元の人々の過疎対策にとり組む姿を紹介する。	昭和46	30分	カラー	0015
A059	外からみた千葉県	新空港の建設など大きな変ぼうを遂げようとしている千葉県ではあるが、他県の人々は本県について何を知っているのか、どんなイメージをもっているのか？この映画は県外での街頭録音を中心に構成し、外からみた千葉県の声について、視聴者とともにもう一度千葉県を振り返ってゆく。	昭和47	30分	カラー	0015
A060	建築Gメン	急激な人口増加に対応して宅地需要、住宅需要はうなぎのぼりであるが、無責任な不法違法建築が横行し、都市計画、環境整備のうえで大きな障害となっている。この映画ではこうした実態にメスを入れる建築Gメンの活躍を中心に今後の都市計画への展望を描く。	昭和47	30分	カラー	0015

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A061	交通禍時代	今や世をあげてのモーターゼーション、人々は歩くことを忘れたかのように自動車を乗りつく。だが幾多の利便とはうらはらに交通事故は増加する一方。この映画では歩行者天国、サイクリング、ノーカー運動などモーターゼーションのなかで胎動を始めた脱交通禍時代の世相の断面を探っていく。	昭和47	30分	カラー	0016
A062	ホームヘルパーの記録	この世に生を受けその一生を終えるまで人々は生まれてきたことの意義、生きがいを探し求めその過程で幾つもの貴重な経験をつみ重ねてゆく。重心身障者とともに生まれてきた喜びを探し求めるヘルパーと障害者の心の交流を描いてゆく。	昭和47	30分	カラー	0016
A063	週休2日制を考える	敗戦の荒廃のなかからたくましいエネルギーをもって復興への道を走ってきた日本人も物質的な豊かさが一応満たされるようになってあらためてうるおいのある生活を指向しはじめた。この映画では次第に広範化してきた週休2日制の意義を労働とレジャーとの関係で考えてゆく。	昭和47	30分	カラー	0016
A064	ある母子家庭の記録	子どもは両親の温かい愛情と理解のもとで育てられることが最も好ましい。だが諸々の事情から夫を失い経済的にも精神的にも大きな負担を背負った母子家庭がある。ある母子家庭をモデルに、愛情と信頼に支えられた母と子の力強い生活の歌声を紹介する。	昭和47	30分	カラー	0016
A065	県境	県北の地 関宿町。人口約1万2千人のこの町は江戸川と利根川にはさまれた槍の穂先のように細長い地域で東は茨城県、西は埼玉県に接する県境の町である。この映画では県境の町関宿に展開される様々な生活模様を追いながら、行政面のプロフィールを描く。	昭和47	30分	カラー	0017
A066	緑の散歩道	騒々しい都会の雑踏を離れて美しい房総の山々と自然の対話の中で人間性を取りもどそうと造られた新緑に映える県民の森、静かなたたずまいをみせる自然公園。この映画では県下の「緑のプロムナード」を探策しながら、自然の保全について考える。	昭和47	30分	カラー	0017

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A067	バキュームカー	都市化が進み人口が急増するにつれて、し尿の排出量も増える一方だ。快適な生活環境を保つためにし尿処理施設の拡充や浄化槽の衛生管理が強力に進められている。この映画ではし尿処理の現況を中心に、その問題点と将来の方向性を解説する。	昭和47	30分	カラー	0017
A068	過密	都市化、工業化が急速に進展するなかで人口、産業、社会組織の集中による過密現象が局地的に生じ、都市機能と生活環境の著しい低下をまねいている。県下の過密地域の現状を描きながら、豊かで快適な都市生活への条件と展望を考える。	昭和47	30分	カラー	0017
A069	房総旅情	澄んだ空、紺碧の海、豊かな緑。この恵まれた自然を背景に房総には数多くの観光地が生まれ、県内ばかりでなく首都圏のオアシスとしてクローズアップされている。この映画ではこれまで余り知られていなかった観光地も含め、房総の海と山の旅情を叙情豊かに描いてゆく。	昭和47	30分	カラー	0018
A070	橋 銚子大橋	橋 それは対岸と対岸を物理的に結ぶばかりでなく、兩岸の人々の生活と文化の文字どおり橋わたしの役割をもつものである。銚子大橋は銚子市と対岸の茨城県波崎町にとってどのような役割を果たしてきたのだろうか。町の風土と歴史のなかから銚子大橋の役割を考えてゆく。	昭和47	30分	カラー	0018
A071	都市近郊農業を考える	本県の農業は首都圏における重要な食糧供給基地の役割を果たしているが、同時に膨張を続ける首都圏のなかで都市化の大きな影響を受けている。都市計画区域内にふくまれる農業のあり方について現地での現況を収録するとともに新しい都市近郊農業への展望を探る。	昭和47	30分	カラー	0018
A072	九十九里	雄大な海岸線と白砂青松の美しい浜よりなる九十九里。沿岸漁業の盛んであった頃は賑いをみせたがいまでは夏の一時的な観光シーズンを除いてはひっそりとした浜辺に戻ってしまう。かつてこの九十九里の大地が歩んできた歴史と人々の生活をふり振り返りながら「明日の九十九里」について考えてゆく。	昭和47	30分	カラー	0018

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ ク ロ
A073	情緒障害児	落ちつきがない、学校をいやがる、友だちをつくらず一人で閉じこもる。このような情緒障害を示す子どもたちが次第に増えてきて教育の現場で大きな問題となっている。この映画では、情緒障害児とその背景を描きながら彼らの心をひらくには何が大切なのかを探る。	昭和47	30分	カラー	0019
A074	食品Gメン	見た目も鮮やかで食欲をそそりそうな食品が私たちの周囲に氾らんしている。だがこれらの食品のなかには有害な添加物を用いたり規定以上の物質を含んでいるものなど消費者の生命と健康を脅かすものもある。この映画では食品Gメンの活躍を追いながら、食品知識の向上を消費者にキャンペーンする。	昭和47	30分	カラー	0019
A075	ある死角 交通事故多発現場	交通事故多発現場にそなえられた供養の花や立並ぶ地蔵の姿は、同じ誤ちをくり返すドライバーが後を絶たないということを物語っている。県警を中心とした多発現場の調査風景を中心に、カメラは事故の直接、間接の原因をひき出してゆく。	昭和47	30分	カラー	0019
A076	千葉県の林業	これまで主に製材用、治山治水の目的と考えられてきた林業も、70年代を迎えた今日あらたに自然環境、水源林としての役割をも課せられるようになってきた。多目的、高度利用をめざす本県の林業を総合的に紹介するとともにその展望を探る。	昭和47	30分	カラー	0019
A077	不法投棄	人口の都市集中、産業活動の活発化にともない廃棄物の量は飛躍的に増加している。河川や海洋はゴミとヘドロで埋まり、あるいは人家の密集地帯や景観を保つべき海岸に不法に投棄されるものも多い。この映画では不法投棄の実態と現状、取締りなどについて解説する。	昭和47	30分	カラー	0020
A078	かつおを追って	6月にはいって県内の漁港は大量のかつおの水あげで連日にぎわいをみせている。千葉県の誇る漁業調査船"第二千葉丸"も勝浦から銚子沖にかけてかつおを追っている。この映画では銚子沖で活躍する"第二千葉丸"の活躍をオール海上口ケで描く。	昭和47	30分	カラー	0020

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ ク ロ
A079	ある人生 児童福祉に50年	精薄児や非行少年とともに考えともに生きてきた塚本伴治さん。この児童福祉に捧げた50年はまた児童との心と心のふれあいの歴史であったともいえよう。ある人生 塚本伴治さんの50年をとおして"暖かい人間教育の尊さ"を考えてゆく。	昭和47	30分	カラー	0020
A080	水資源の開発	"交通戦争""ゴミ戦争"について最近では"水戦争"が叫ばれるようになってきた。水は天からの偉大な恵み 無尽蔵なものと考えられていた時代から、いまでは積極的な水資源の開発が緊急、かつ重大なものとしてとりあげられている。県の水資源の開発の計画を紹介する。	昭和47	30分	カラー	0020
A081	危険がいっぱい 山砂利対策	山砂利の無秩序な採取には隠された危険がいっぱいだ。土砂が川底を埋め、集中豪雨による水害の心配はないか。砂利運送のダンプカーにより生活環境が脅かされはしまいか。この映画では君津地区を中心に山砂利採取の現状、対策について考えてゆく。	昭和47	30分	カラー	0021
A082	千葉県の鉄道網	鉄道に関しては先進国として出発した本県も、袋小路的性格から全国主要幹線としての整備が遅れ、かつ近年の急速な人口増加は新しい鉄道ネットワークの整備を緊急な課題として提示している。この映画では千葉県の鉄道の歴史のなかから新しい鉄道網の構想をプロフィールしてゆく。	昭和47	30分	カラー	0021
A083	首都圏と千葉県	東京を中心とする一点集中型の発展は、人口、産業の急速な集積と過密化を生み、都市活動を阻害するばかりでなく、生活環境の悪化をもたらすに至った。首都圏のなかの千葉県の役割を考えながら、明日の千葉県と首都圏への展望と条件を探る。	昭和47	30分	カラー	0021
A084	環境汚染への盛装	美しかった海が工場排水や不法投棄された重油で汚され、近代産業の象徴であるコンビナート群からの亜硫酸ガスは人類の生存に不可欠な大気を急速に汚染させている。美しく華やかに装われた現代に忍びよる環境汚染の波。この事実を指摘しつつ今日に生きる人間の役割を考える。	昭和47	30分	カラー	0021

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	フレーム ナンバー
A085	流域下水道	河川流域内の各都市から発生する下水を効率的に集め公共用水域に安全に処理しようとする流域下水道の建設が全国で進められている。この映画では印旛沼流域下水道、手賀沼流域下水道の建設の現状と構想を描きながらそのメリットについて解説する。	昭和47	30分	カラー	0022
A086	農業に生きる若ものたち	昭和30年代に始まる高度経済成長は、わが国の産業構造を大きく変化させ、農村から大量の若年労働力を他産業に流出させた。新しい時代の農業に対応する近代的な経営能力と高度な技術をもった後継者の養成に必要なものは何か。市原市の農村青少年クラブをモデルに明日の農業の問題点を探る。	昭和47	30分	カラー	0022
A087	東洋ドーバーの町 飯岡	畳々たる断崖絶壁"東洋のドーバー、屏風が浦"の景観をもつ飯岡町。古い歴史と伝統のなかで生きてきた飯岡は、いま明けゆく東総の担い手として大きく発展しようとしている。この映画では飯岡町の歴史と人々の生活を風土記的に綴ってゆく。	昭和47	30分	カラー	0022
A088	ひき逃げ	不幸にして人身事故を起したとしても迅速な処置によって生命の安全を確保すべき場合であるにもかかわらず被害者を置いて逃げ去る無謀なドライバーの社会的、人道的責任は重い。ひき逃げ事件の発生からはじまる捜査官たちの地道な捜査活動を追う。	昭和47	30分	カラー	0022
A089	しあわせの詩	両親の死亡や失踪、不和などによって現実に親と生活できない子どもたちがいる。ともすれば暗くなりがちな子どもたちにたくましい自立と自主の気鋭をもたせようと保母さんたちの活動が続く。県立富浦学園を舞台に力強く社会へ飛立とうとする子どもたちと保母さんの心のふれあいを描く。	昭和47	30分	カラー	0023
A090	伝統を守る	房総の自然と風土に生まれ、その自然と風土によってはぐくみ育てられてきた伝統芸術の数々。新鮮な感動と格調高い気品を漂わせ、無限の美を保ちつづけている。この映画では御所人形、唐棧織り、手描き友禅をとりあげ、これらの作品と作者の心のふれあいを情緒豊かにうたいあげる。〔昭和47年度富士テレビフィルム技術賞受賞作品。〕	昭和47	30分	カラー	0023

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ ク ロ
A091	千葉県のパーク	高密度な都市空間が形成され拡大されるにつれ、都市とその周辺地域では緑が急速に失われ、さらに様々な都市公害と相まって生活環境の悪化に拍車をかけている。この映画では自然公園、都市公園などの美しい自然を詩情的に描きながら、これからの公園緑地整備計画を解説する。	昭和47	30分	カラー	0023
A092	わたしは三歳	三歳頃になると子どもの知恵と身体の発育はめざましく、この期間における両親の"しつけ内容"のいかんがその後の人格形成に重要な影響を与えることになる。この映画では三歳児の日常の行動のなかから、その心と身体の発達についてわかりやすく解説する。	昭和47	30分	カラー	0023
A093	老後のしあわせ 老人問題	「高齢化社会」の到来が各方面で論議され、老人をめぐる様々な現実と問題があらためて問直されている。それは一方では進行する核家族化がもたらす諸問題であり、一方では「生きがい」に象徴される社会とのかかわり方である。様々な環境に生活する老人をとおして真の幸福について考える。	昭和47	30分	カラー	0024
A094	防災への時間割	関東南部大地震69年説が各方面でとりあげられ、また複雑多様化した都市での防災体制のあり方が再検討されている。地震、火災、風水害 こうした災害への対策はどう進められているのだろうか。また私たちが日頃留意すべきことは何か。防災への心構えについて解説する。	昭和47	30分	カラー	0024
A095	環境Gメン	環境衛生の悪化が進む今日、水道、公害、環境衛生に関することや、理美容、クリーニング、旅館、興行場など、人々の衛生にかかわる営業については十分な環境衛生が保たれなくてはならない。この映画では環境衛生を守るため活躍をつづける環境衛生監視員(環境Gメン)の姿を追う。	昭和47	30分	カラー	0024
A096	生活のなかの技	私たちの日常生活から生まれた"生活のなかの技"。親しみやすい暖かさと肌ざわりをもって今日のくらしのなかに生み出される技と作品を紹介。(佐原のポッチ笠、市原のハサミ、佐原のダルマづくり、その他)	昭和47	30分	カラー	0024

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A097	暮らしとはかり	計る。計量は私たちの毎日の生活のなかで大きな役割を果たしている。主婦の買い物はもちろん、タクシーのメーター、電気、ガスのメーター、それにヘルスマータ……。この計量が不正確であれば社会の円滑な運営は不可能だ。県計量検定所の活動を中心に「正しい計量」について考えてゆく。	昭和47	30分	カラー	0025
A098	県政の主なできごと	交通網の整備、社会福祉の充実などの面で大きく前進した昭和47年の県政の主なできごとをダイジェストしたもの。	昭和47	30分	カラー	0025
A099	門前町の新しい顔	成田は古くて新しい町。天慶3年平将門が乱をおこした際、勅令により不動尊を奉じ還座して以来、真言宗大本山新勝寺の門前町として栄えてきた。そしていま、新東京国際空港・成田ニュータウンの建設が進み、古い門前町成田はその表情を大きく変えようとしている。成田の歴史と将来への指針を探る。	昭和48	30分	カラー	0025
A100	レッツ・ゴー若潮国体	絶ゆまない努力と錬成によって進められてきた若潮国体も開催まであと9ヶ月に迫り、大会への意気は高まる一方だ。昨年の鹿児島太陽国体で活躍した選手たちの調整はどうか。また施設会場の整備はどうか。川上副知事、山口千葉県体育協会会長、野口選手の話を中心に若潮国体の意義を考える。	昭和48	30分	カラー	0025
A101	海に生きる 海の後継者	肌をつき刺すような寒風のなか、荒れる海へ乗り出す若き海の後継者。水産千葉を担う若い力がここにある。だが彼らをとりにくく状況は複雑だ。仲間の多くは漁業を離れ、また漁業経営についても様々な困難な道程がひかえている。勝浦市の若き海の後継者の姿を冬の海と漁村を背景に綴ってゆく。	昭和48	30分	カラー	0026
A102	鍛える	ともすれば暖かい部屋のなかに閉じこもり戸外へ出ることもなく運動不足となりがちな冬の毎日。だがこうした冬にこそ、十分な運動が必要だ。スタミナ不足のサラリーマン、小学校で目立ってきた肥満児。年令と体力に応じた運動の方法を紹介するとともにその効果を解説する。	昭和48	30分	カラー	0026

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A103	栽培漁業	埋立による漁場の縮小、水域の汚染、労働力事情の悪化、そして漁獲量の減少。水産千葉県をめぐる環境は深刻な問題を投げかけている。このなかでいま各方面から「栽培漁業」が注目されている。「獲る漁業から育てる漁業へ」の転換はどのように行われているのか、その現状と展望を探る。	昭和48	30分	カラー	0026
A104	明るい明日をめざして 私は婦人警察官	とかく「男の職場」と考えられがちな県警察にも、多くの婦人警察官が重要な任務についている。防犯少年係や交通係の第一線で活躍する婦警さんはいつもソフトムードで事件にあたり、警察のイメージアップにも大きく役立っている。この映画では第一線の婦警さんとその卵たちの日常の仕事を紹介する。	昭和48	30分	カラー	0026
A105	難病と闘う 筋ジストロフィー	近年めざましい医学の進歩のなかで、一方ではいまだに原因や治療法のわからない難病が数多く残っている。幼児期に足腰や腕の筋肉が萎縮を始める進行性筋ジストロフィーもそのひとつ。四街道にある国立下志津病院を舞台に難病と闘い運命をきりひらこうとする子どもたちのひたむきな努力を映像化する。	昭和48	30分	カラー	0027
A106	道路を守る	今から10年前、悪路千葉県のイメージは、狭い道、もうもうたる砂けむり、そして雨が降れば泥沼と化した道路。だが現在では道路の舗装は全国でも上位にランクされ、また道路の補修、修繕もキメ細かくおこなわれている。土木事務所と道路舗装補修事務所の土木助手の活躍を中心にその活動を追う。	昭和48	30分	カラー	0027
A107	若い力	戦後、次三男問題に集約された「後進県」千葉が、臨海、内陸工業地帯の本格的な稼働のなかで、いまでは深刻な労働力不足にみまわれている。とくに若年労働力の不足は深刻で、企業では積極的なイメージアップと労働条件、環境の改善に努めている。県内企業で働く若ものの生活をとおしてその現況を紹介する。	昭和48	30分	カラー	0027
A108	千葉県の畜産 養豚・養鶏	古い歴史と伝統をもつ本県の畜産は近代化、合理化へのたゆまない努力に支えられ順調な発展を遂げてきた。養豚、養鶏は多頭羽飼育体制と企業的生産集団の形式が重点的に進められているが、畜産公害、価格の不安定などその将来は決して楽観的ではない。この映画では養豚、養鶏の現況と将来を解説する。	昭和48	30分	カラー	0027

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ ク ロ
A109	手賀沼のほとり	多くの詩人や画家に愛され、親しまれてきた手賀沼。美しい自然のたたずまいはあわただしい現代生活の心のオアシスでもある。だが近年手賀沼に押し寄せる都市化の波はますますピッチをあげ、沼のほとりの昔の面影が次第に失われようとしている。時代の流れのなかで変ぼうする手賀沼のほとりを点描する。	昭和48	30分	カラー	0028
A110	悲しみの詩	生涯にわたる悲しみとして交通遺児は訴える。わずか一瞬の間に父と母を奪い去った事実の重さ。子どもたちの幼ない心に刻まれた憤りと悲しみが「悲しみの詩集」に綴られる。この映画では「悲しみの詩集」を素材に交通遺児たちの生活を追い、その内面に秘められた交通事故の悲惨さを鋭く引き出す。	昭和48	30分	カラー	0028
A111	十一万石の城下町 佐倉	佐倉11万石、県下最大の大名堀田氏が治めた城下町である。かつての人々の生活を偲ばせる町並、佐倉城跡の花菖蒲、そして歴史上に傑出した多くの偉人たち。そしていま、首都50キロ圏にあり、成田空港、千葉ニュータウンの建設のなかで新しい時代を迎えようとする佐倉。歴史の中から明日の佐倉を展望する。	昭和48	30分	カラー	0028
A112	参加しよう！！若潮国体	第28回国民体育大会(若潮国体)は首都圏国体であるための宿泊、輸送、県民意識の盛り上げなど、幾つもの困難な課題を抱えながらも、開催に向けて施設の建設、選手の調整など順調に進んでいる。国体の準備状況を紹介しながら、国体の意義とメリットを解説する。	昭和48	30分	カラー	0028
A113	港町 勝浦	勝浦は漁業の町、そして漁港の町。九十九里沖へ流れ去る黒潮と南下する寒流が混合流域を形成する勝浦沖は好漁場として、各地の漁船でにぎわっている。また勝浦は江戸時代からの歴史を誇る朝市をはじめ、鵜原理想郷などがあり外房屈指の観光地でもある。黒潮の香に満ちた勝浦の町を舞台に人々の生活を綴る。	昭和48	30分	カラー	0029
A114	躍進する千葉港	千葉港の歴史は古く鎌倉時代に遡り、その後何回かの盛衰を繰り返しながら昭和30年代に始まる本格的な臨海工業地帯の建設によって今日の隆盛を築いた。貨物取扱量では神戸、横浜、川崎に次いで全国第4の港へと発展した千葉港の全ぼうをプロフィールする。	昭和48	30分	カラー	0029

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A115	子どもの願い 児童福祉	社会が高度化し、複雑になってゆくにしたがって、子どもと子どもをとりまく世界は大きく変わってきた。日毎に失われていく自然と遊び場、増加する交通事故、そして溢れる情報と物質のなかであらためて問われている親と子の問題。子どもの自由奔放な行動と声を中心に子どもたちの明日を考える。	昭和48	30分	カラー	0029
A116	房総の自然 利根川詩情	緑の大地をゆうゆうと流れる利根川。上越の山系に源を発し、関東平野をうるおして太平洋に流れ込むこの川を人々は坂東太郎と呼び、深い愛情を注いできた。豊かな実りと収穫を約束し、また水運の要として人々の生活の中に生き続けてきた利根川。早春の谷川岳を起点に利根川沿岸の自然と人々の生活を綴る。	昭和48	30分	カラー	0029
A117	新しい時代の農業	個別零細農業、低労働生産性の克服をめざして、農業の装置化、システム化が進められている。これは一方で生産性向上のために規模を拡大・機械化による省力化・合理化をはかり、一方で施設園芸・養豚・養鶏など資本集約的な生産をはかろうとするものである。新しい時代の農業への総合的な展望を考える。	昭和48	30分	カラー	0030
A118	ふさかぜ	スマートな海の手締り船"ふさかぜ"は就航以来めざましい活躍を続けている。好漁場を擁し、加えて近年のめざましい漁船と漁法の発達によって、本県の沿岸は各地の出漁船で賑い、無許可操業をはじめ、区域違反などの取締りにあたるふさかぜの任務は一段と忙しくなってきた。海の秩序を守るふさかぜの活躍を海上ロケーションで描く。	昭和48	30分	カラー	0030
A119	房総の養蚕	かつて日本の輸出の主要な部分を占めた生糸は、長い戦争による荒廃、そして化学繊維の発達などにより幾たびかの盛衰をくり返してきたが近年、高生産性農業への指向から収益の安定している養蚕が見直されてきている。 蚕の一生を興味深く描きながら本県の養蚕の現況と将来を解説する。	昭和48	30分	カラー	0030
A120	姿なき汚染 光化学スモッグ	昭和45年6月、木更津市を中心として臨海部に発生した光化学スモッグの発生は、その後広域化し、新しい形の大気汚染として社会の強い関心が向けられた。この映画では着々と進められている光化学スモッグ発生の原因、条件などの研究、対策を専門家の解説をまじえて様々な角度からとりあげてゆく。	昭和48	30分	カラー	0030

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A121	県政の展望 第4次5ヵ年計画	昭和48年、県勢の著しい伸展と社会情勢の変化に対応し、環境の保全・暮らしの充実など時代に即応した内容を重点的に盛り込んだ第4次総合5ヵ年計画がスタートした。 この映画では第4次5ヵ年計画の策定された背景とその目的、内容について解説する。	昭和48	30分	カラー	0031
A122	路上の墓標	八日市場市新宿の国道わきに悲しげにたたずむ二つのヘルメット地蔵。オートバイに相乗りし、ダンプカーに激突して死亡した高校生の変り果てた姿である。激増する高校生のオートバイ事故若ものたちを魅了するスピードとスリル。一瞬のうちに17歳の青春を奪い去ったオートバイ事故を様々な角度からとりあげ、事故の恐ろしさを訴える。	昭和48	30分	カラー	0031
A123	房総の海	果てしない広がりと青さをもつ房総の夏の海。400キロメートルに及ぶ海岸線は美しい自然の造形美を誇り、訪れる人々の旅情を誘う。この海と海岸線を舞台に人々は様々な生活を営んできた。豊かな海の幸を求める漁船群、海女、釣人。美しくきれいな房総の海の風物詩と人々の生活を詩情豊かに描く。	昭和48	30分	カラー	0031
A124	市場の1日	消費の大型化、高度化に伴い、生産の振興と消費生活の安定をめざす市場の役割は重要性を高めてきた。一方県内市場の現状はなお多数の零細市場の存在がみられ、物的流通の遅れをまねいている。このため各流通機構の近代化、合理化が積極的に進められている。船橋中央卸売市場をルポしながら、市場の仕組や機能を解説する。	昭和48	30分	カラー	0031
A125	房総の特産物	房総の大地を飾る特産物の数々。暖かい気候と恵まれた土壌、房総の風土は豊かな実りと収穫を人々に約束してきた。甘藷・落花生・梨・ピワ・メロンなど、私たちの味覚を楽しませ、"ふるさと"を想いおこさせるような房総の特産物は、長い歴史と人々の努力の結晶でもある。特産物の栽培や歴史を興味深く描く。	昭和48	30分	カラー	0032
A126	醤油のまち 野田	野田は醤油のまち。およそ400年も昔の室町末期、この地で醤油が製造されて以来、野田の醤油は銚子の醤油と並び全国に名を高めてきた。水運に恵まれ、また江戸という大消費地を背景に野田は"醤油のまち"として大きく発展を遂げてきた。古い歴史の町 野田 の今日と明日をプロフィールする。	昭和48	30分	カラー	0032

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A127	房総の自然 食虫植物	九十九里沿岸の自然原野に群生する食虫植物。 苛酷な自然のなかで生き続ける植物たちは、生き延びるために様々な手段を探し出す。食虫植物は、美しい装いのなかに昆虫を魅きつけ、その日々の糧を得る。美しさと残酷さ 大自然のなかで展開される自然の驚異をファンタジックに描く。	昭和48	30分	カラー	0032
A128	都市河川	県下を流れる都市河川の汚濁は年を追うごとに悪化し、川としての本来の機能を失いつつあるものもある。かつての美しく清らかな流れが戻ってくるのはいつの日か。いま県内の都市河川の浄化が様々な立場から進められている。都市河川の汚濁の現況と浄化への対策を解説してゆく。	昭和48	30分	カラー	0032
A129	大量消費のかけに ゴミ処理問題	大量消費時代のかげに文字どおり山積するゴミ処理問題。氾らんする商品、年々華やかに装われていく商品、そしてプラスチックなどの不燃ゴミ、テレビや冷蔵庫などの粗大ゴミが生まれている。大量消費のかけに生まれたゴミ処理問題を様々な角度からとりあげ、今後の課題について考えてゆく。	昭和48	30分	カラー	0033
A130	いち・に・の・さん 精薄者の社会復帰	いわゆる精神薄弱者は統計的にみて、1,000人に4～5名の割合で存在するといわれ、意志を訴える能力に乏しく、自分だけでは生きていくことが困難な人々である。昭和48年千葉市畑町に精薄者のための通勤寮が完成し、職業訓練を経た人達がここから市内の勤務先に通勤している。通勤寮を中心に精薄者の社会復帰の問題について考える。	昭和48	30分	カラー	0033
A131	木更津今昔	木更津は古くより海苔と港の町として栄えてきた。当時、五大力船が江戸を結び湾内随一の勢力を誇り、木更津は房総の海の玄関として発展を遂げてきた。また、昭和30年代にはじまる広大な京葉臨海工業地帯の造成によって、木更津は新しい時代を迎えようとしている。木更津の今昔をとおして明日の木更津を展望する。	昭和48	30分	カラー	0033
A132	乳牛育成牧場	房総半島の中央山岳部、市原市国本にある県乳牛育成牧場には入牧中の仔牛がゆうゆうと草を喰み、牧場の人々は、体が丈夫でよく乳を出す乳牛づくりに力を注いでいる。本県の飼育頭数は全国第3位水準の高い酪農経営を支えるため、乳牛育成牧場に課せられた役割はますます重要性を高めてきた。牧場の生活をとおして本県酪農をプロフィールする。	昭和48	30分	カラー	0033

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A133	キャンパスの詩	大網白里町の救護施設「房総平和園」には77名の薄幸の人々が毎日を通して。吉田さん(72才)が房総平和園に毎週1回、絵の指導に訪れるようになってから10数年が経った。キャンパスに溢れる彼らの自由な心の動き ひとりの人間としての人格を認め、尊厳さを学ばせることの大切さ。絵をとおして結ばれた彼らの姿を描く。	昭和48	30分	カラー	0034
A134	房総の祭 秋	房総は海と山の国。四季それぞれの自然のなかで、豊かな大地の実りと海の幸への敬けんな祈りが房総の人々によって捧げられる。「祭」は人々にとって日常生活の節をなし、また部落の重要な「祭祀」として何代も受け継がれてきた。房総の各地でくりひろげられる「祭」を紹介しながら、底辺に流れるふるさとの心を描く。	昭和48	30分	カラー	0034
A135	県政の主なできごと	県政100年を迎えた昭和48年には、第28回国民体育大会(若潮国体)の開催をはじめ、富津ジャンボプールの完成、あるいは石油コンビナートの爆発など数多くのできごとがあった。この1年間の県政の主なできごとをダイジェストして解説する。	昭和48	30分	カラー	0034
A136	房総の自然 房総の詩	房総の風土に生まれ、育てられてきた詩歌の数々。懐しい追憶の世界へのいざない。砂漠の王子と王女の淡いロマンス(御宿町・月の砂漠)月夜の浜辺のファンタジー(和田町・浜千鳥)、そして人間の喜びと悲しみを文学に託した高村光太郎、竹久夢二らの詩人たち。房総の自然を背景に房総の詩を映像化する。	昭和49	30分	カラー	0034
A137	宿場町 船橋	成田不動尊の信仰が庶民の間に爆発的なブームを呼んだ江戸時代、船橋はその宿場町としてかつてない賑いをみせた。また交通の要所として、船橋は人と物資が集積した。現代に至り、国鉄、私鉄など何本もの鉄道が市内を走り、それに伴い年間20,000人ももの人口増加が続き、ベッドタウンとして大きく変ぼうを遂げてきた。船橋の歴史と明日を考える。	昭和49	30分	カラー	0035
A138	自転車考現学	交通禍時代の皮肉な世相のなかから、失われた人間性をとり戻そうとするバイコロジーの動きが各方面でとりあげられている。戦後の高度経済成長によってクルマ社会化がおし進められてきたが、様々なメリットをもつ自転車の存在と役割があらためて見直されてきた。何人かの自転車愛用者をとおしてバイコロジーの一断面を探る。	昭和49	30分	カラー	0035

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A139	君は何を射るか ある身障者の記録	青春という時代を車イスに頼って生活するひとりの青年 三階(みしな)君。白子町にある労災リハビリテーションで社会復帰のための作業訓練に励んでいる。22歳のときに負傷して以来、入院治療生活を行ってきた彼はいま洋弓を自分の分身とも思っている。様々な困難を乗り越えて生きる彼を支え、明日への力を与えたものは何か……………。	昭和49	30分	カラー	0035
A140	父と子の海	後継者不足が叫ばれている本県水産業のなかで、銚子市外川の畠山さん父子は今日も冬の海へと船を乗り出す。近代化・合理化の一途をたどる漁業経営 幾つもの問題を抱えながら、父の長い経験と鋭いカンを自分のものにし、更に新しい漁業を目指す子は海を愛する一人前の漁師へと成長してゆく。父と子の生活を冬の荒海を背景に描いてゆく。	昭和49	30分	カラー	0035
A141	公害対策	京葉臨海工業地帯の造成によって全国有数の工業県へと飛躍を遂げた千葉県は、また急速な人口増加と都市化が進み、様々な公害問題を生じさせている。公害問題に適切に対処してゆくためには、公害の詳細な研究調査が必要であり、県では公害研究所・水質保全研究所をはじめ様々な分野における公害の研究機関を設けている。これらの機関の仕事を紹介する。	昭和49	30分	カラー	0036
A142	印旛の春	印旛沼。周囲60キロメートルのこの沼を中心とする地域は、昔から農耕を中心として人々の生活が展開されてきた。印旛沼の歴史は、自然と人智との闘いの歴史でもあった。毎年のように襲ってくる洪水。そして徳川時代より進められてきた長い干拓の歴史。早春の印旛沼の詩情を描きながら、そこにくりひろげられる人々の生活を点描する。	昭和49	30分	カラー	0036
A143	わたしは看護婦	博愛と奉仕の精神に支えられた白衣の天使。尊大なヒューマニズムを理解して患者に接する看護婦さんの仕事は患者の病院生活のうえで重要なものである。この映画では、衛生専門学院で学ぶ看護婦さんの卵たちと一線で働く看護婦さんの姿を紹介していく。	昭和49	30分	カラー	0036
A144	明日への農業	農林業は食糧の安定的供給とともに、自然環境の保全という大きな役割を果たしている。だが、近年の都市化工業化の進展の中で農業はその姿を大きく変えており、将来の食糧供給、環境保全等のサイドから農林業保全の最低基準が定められた。新しい時代を迎えた農林業の現況と将来への展望を解説する。	昭和49	30分	カラー	0036

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A145	若いスクラム	現代は様々な意味で連帯感が失われつつある時代といわれている。職業や生活が多様化するにつれ、そうした傾向が一層強まってきたが青春時代を健全に生きるうえで仲間とのグループ・サークル活動は重要な意味をもっている。様々なグループ・サークルをとおしてたくましく成長する若ものの姿を描く。	昭和49	30分	カラー	0037
A146	2月定例県議会 話題を追って	昭和49年2月定例県議会は2月28日に開会、3月26日までの会期27日間にわたり、当面する県政全般の問題について審議がくりひろげられた。この定例会全般の模様をダイジェストする。	昭和49	30分	カラー	0037
A147	ホリデー・イン房総	房総の楽しい休日。青い海と新緑の山々が美しい房総の自然を形づくり、豊かな詩情の中で訪れる人々の心をうるおしている。こうした恵まれた観光資源を生かした公共観光レクリエーション施設をガイドしながら、新緑の季節を迎えた房総の自然を詩情豊かに描く。	昭和49	30分	カラー	0037
A148	自然保護への道	美しい自然に囲まれた房総。その自然を背景に人々の様々な生活が営まれてきた。このかけがえのない房総の美しい自然と生活環境を守り、後世に残していくことは、今日に生きる私たちに課せられた重要な課題である。自然と調和した人間社会建設への道を探る。	昭和49	30分	カラー	0037
A149	房総の民芸品	房総には、東北地方などに存在するようないわゆる苛酷な自然環境の中で生まれた民芸品は比較的少ないといわれてきた。だが、素朴な形と庶民的なおいをもった房総の民芸品の中には、地道に受け継がれ、房総人の心のふるさととして親しまれているものも多い。幾つかの民芸品を紹介しながら房総の年輪を探る。	昭和49	30分	カラー	0038
A150	若さをかけて ある白バイ警察官	交通事故の絶滅を願って活躍を続ける白バイ警察官。約80名の県警白バイ隊員の平均年令は25歳という若さ。連日幹線道路での流動警ら、歩行者保護、スピード違反などの取締り活動を行っている。白バイ警察官の活躍と、厳しい訓練の様相を紹介する。	昭和49	30分	カラー	0038

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ ク ロ
A151	あるケースワーカーの記録	現在、千葉県には、経済的にも心身にも恵まれず生活保護を受けている世帯が約10,000あり、毎年わずかに増加している。これらの人々の相談相手であるケースワーカーは保護者の自立更生の援助や福祉の充実をはかるため精魂こめて毎日仕事に励む。その姿を描きながら福祉問題について考える。	昭和49	30分	カラー	0038
A152	心に灯を 手話通訳者	手話とは、ろうあ者が日々の生活の中から作り出した対話の表現である。だが、ろうあ者同志の対話には有効であっても、一般的な社会生活を営む上では手話通訳者が必要だ。手話通訳者とうろうあ者のふれ合いをとおして、困難を乗り越えて明るく生きる若者の姿を描く。	昭和49	30分	カラー	0038
A153	家畜の健康診断	畜産の経営規模の拡大に伴い、家畜伝染病の発生予防対策はますます重要性を高めている。とくに養豚、養鶏、乳牛などは多頭羽飼育が進むにつれ、一度伝染病の侵入をみると多大な損害を生む。近代経営への道を歩む畜産の中で、家畜の保健衛生を守る家畜保健衛生所の活動を紹介する。	昭和49	30分	カラー	0039
A154	鯛の浦の町 天津小湊	清澄山系を背後に擁し、前面は外房の海に面する天津小湊町は、風光明媚な観光地であり、とくに特別天然記念物に指定された鯛の浦のタイ、そして日蓮誕生の地として全国にその名を高めている。鯛の町をシンボルとする天津小湊町の自然と人々の生活をプロフィールする。	昭和49	30分	カラー	0039
A155	山武杉物語	房総を代表する山武杉は、その気高く天を突く姿の美しさをはじめ、品種的な優秀性から全国にその名を高めてきた。およそ200年前、山武郡の睦岡村から普及してきた山武杉の歴史は、様々な造林法と品種改良の歴史でもあった。山武杉を守り育てる人々の姿をとおし、その歴史を詩情的に描く。	昭和49	30分	カラー	0039
A156	水と魚と自然と	新緑の季節を迎えた養老溪谷。房総の山あいを縫って断崖がそびえ、アユやヤマベの銀鱗が躍る。明るい小鳥のうた声と小川のせせらぎの中で自然と対話するときに生まれる自然への讃歌。5月の養老溪谷奥清澄自然公園の詩情を映像化する。	昭和49	30分	カラー	0039

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	クレジット
A157	産業廃棄物の行方	年ごとに増加する産業廃棄物。昭和60年には月間400万トンを超えるものと予測され、その処理計画、体制の整備が急がれている。生産加工流通消費の過程の中で資源の再利用、再循環をはかり、廃棄物の発生を極力減少させるため、様々な方法がとられている。廃棄物の現況とその将来を考える。	昭和49	30分	カラー	0040
A158	現代都市の課題	総武線沿線の都市を中心に都市機能の巨大な集積が続き、さらに人口、産業の集積は生活環境、交通、産業の面で深刻な問題を引きおこしている。こうした現代都市が快適な都市機能を備えるためにはどのようなプログラムが必要であろうか。現代都市の抱える問題点を取材しながら、その将来を考える。	昭和49	30分	カラー	0040
A159	かたつむりの詩	昭和35年に県内における初めての肢体不自由児施設として開設された桜が丘育成園は、小児マヒ・カリエスなどで身体の不自由な子どもの治療、訓練を行っている。65名の子どもたちと、彼らを暖かく見守る医師・看護婦の毎日の生活を描く。	昭和49	30分	カラー	0040
A160	経営診断 中小企業の課題	本県の中小企業は、県内総事業所の99パーセントを占め、製造品出荷額の43パーセント、商品販売額の79パーセントと県経済の発展に大きな役割を果たしている。だが、労働力不足、金融引締め、物価高騰の中で中小企業は厳しい状況に直面している。高生産、合理的経営を目指す中小企業の課題を探る。	昭和49	30分	カラー	0040
A161	兼業農家を考える	農業と農村をとりまく諸条件の急速な変化の中で、専業農家はすでに2割を下回り、大部分を占める兼業農家のあり方が問題となっている。兼業農家の経済的安定、農地の流動化、基幹農家の育成など、千葉県農業の将来への展望の中で兼業農家の問題点を考える。	昭和49	30分	カラー	0041
A162	6月定例県議会 話題を追って	昭和49年6月定例県議会は7月17日に開会、31日までの会期15日間にわたり、当面する県政全般の問題について審議がくりひろげられた。この定例会全般の模様をダイジェストする。	昭和49	30分	カラー	0041

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A163	港町1番地	“港町1番地”それは、かつての寒川港を中心とした小さな漁村であった。だが、昭和30年代の本格的な臨海工業地帯の建設の中で千葉港は全国第3位の港として発展し、港町の姿も大きく変ぼうしてきた。臨海公園、美術館、海浜ニュータウンの建設など大きく変ぼうする港町1番地をプロフィールする。	昭和49	30分	カラー	0041
A164	がんに挑む	近年の医学の進歩と公衆衛生の発達にもかかわらず、がんによる死亡率は年々増加し、年間13万人の尊い生命が奪われている。だが、がんは早期発見、早期治療の徹底によって大部分は治るといふ。がんセンターの活躍を中心に、がん知識、早期発見、治療をキャンペーンする。	昭和49	30分	カラー	0041
A165	干潟の詩	東京湾は遠浅の美しい海であった。その周囲には水田、湿地帯、潮の干満により遠浅となる干潟を有し、野鳥の絶好の生息地であった。しかし、東京湾の汚濁と埋立に伴い干潟は次第に消滅し、野鳥のために人工干潟がつくられた。人工干潟で遊ぶ野鳥の姿をスケッチ風に描く。	昭和49	30分	カラー	0042
A166	警察百年の歩み	明治7年、千葉県警察が近代的な警察として発足してから100年。明治・大正・昭和と続くその100年は、日本にとっても千葉県にとっても激動の1世紀であった。16の取締り所から出発した県警はその後幾多の変せんを経験しながら今日の近代警察をつくりあげた。県警の現況をプロフィールしながら、その100年の歩みをたどる。	昭和49	30分	カラー	0042
A167	水郷のまち 佐原	娘舟頭の明るい歌声の流れる水郷 美しい大自然を背景にアヤメが咲き乱れ、秋には黄金の稲穂が風にそよぐ。利根水運による江戸との交流により佐原の町は栄え水郷地帯の開拓とともに早場米の産地として知られた。 水郷の自然と人々の生活をスケッチしながら、佐原市を紹介する。	昭和49	30分	カラー	0042
A168	花ひらく県民スポーツ	多くの感動と記録を残した若潮国体。国体で使われた県内各地の競技施設は連日、スポーツを楽しむ人々でにぎわっている。国体の大きな遺産のひとつである一流の競技施設を使った県民のスポーツは、“誰もが楽しめる”県内各地の競技施設でスポーツを楽しむ人々の姿をルポ的に紹介する。	昭和49	30分	カラー	0042

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A169	統計と生活	統計は私たちの生活に広く、また深く浸透している。それは日常の生活、企業活動、行政などの面で適切な現状把握、分析の指標として重要な役割を果たしており、今日の社会は統計なくして成立たない。この映画では、統計が社会・経済生活の中で果たす役割をわかりやすく解説する。	昭和49	30分	カラー	0043
A170	蛙の笛 九十九里の老詩人	幼き日の郷愁にも似て私たちの夢の世界をひろげてきた童謡の数々。激しく移りかわる時代の流れの中で童謡はいつの世も私たちの心をなぐさめてくれる。「蛙の笛」「里の秋」の作詞者である成東町五木田の斉藤信夫さんの作品の数々とその詩に流れるふるさとのイメージを映像化する。	昭和49	30分	カラー	0043
A171	9月定例県議会 話題を追って	昭和49年9月定例県議会は9月30日に開会、10月16日までの会期17日間にわたり、当面する県政全般の問題について審議がくりひろげられた。この定例会全般の模様をダイジェストする。	昭和49	30分	カラー	0043
A172	ある老人の挑戦 65才のランナー	大多喜町に住む山田さんは、4年前から毎朝マラソンを続けている。高齢化社会の到来が各方面でとりあげられている今日、ひたすらに走り続ける老ランナーは、マラソンに何を求め、また何に挑戦しようとしているのであろうか。ひとりの老ランナーをカメラは追いかける。	昭和49	30分	カラー	0043
A173	ある過疎地域の記録	臨海工業地帯の本格的な建設が始まるとともに県内の各地では、過密・過疎のアンバランスな状況が目立ち、夷隅町など6町村が過疎地域に指定された。急速な人口減少にともなって地域社会は様々な問題を生み、そのため地域振興策が進められてきた。夷隅町の過疎対策を記録的にふり返り、将来への展望をレポートする。	昭和49	30分	カラー	0044
A174	明日をひらく芸術の殿堂	49年10月にオープンした県立美術館。これまで文化的集積に乏しかったといわれる本県にとって、文字どおり県民芸術の"殿堂"として広く県民の期待を集めている。 県民と芸術の交流の場である美術館の全容を紹介するとともに、県内芸術思潮を解説する。	昭和49	30分	カラー	0044

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A175	伸びゆく内水面漁業	利根川をはじめ、印旛沼・手賀沼では古くより内水面漁業が発達してきた。限られた水域と漁業資源の中で内水面漁業は様々な漁法、漁具を生み出し、また、ウナギ、コイなどを中心とした養殖漁業にも力が入れている。 内水面漁業の現況を興味深く紹介しながら、その将来を探る。	昭和49	30分	カラー	0044
A176	浜辺の詩	美しい房総の海と浜辺。青く澄んだ海、白い砂浜。海は刻々とその表情を変え大自然の創造した雄大な詩情のなかに人々の夢を育て生活の糧を授けてきた。海と浜辺が長い時の流れの中でつくり出した自然の詩を映像化しながら、その海と浜辺をこよなく愛し創作活動をする人々を紹介する。	昭和49	30分	カラー	0044
A177	芝山象嵌	芝山象嵌は、貝、角、サンゴなどを加工して模様をつくり、生地と同一平面に嵌入したり、生地より浮出して立体感を出す工芸品である。200年前、芝山で創造された芝山象嵌の唯一の伝承者である秋山逸生氏の50余年にわたる作品と技術を紹介しながら、芝山象嵌の美を映像化する。	昭和49	30分	カラー	0045
A178	消費の知恵	狂乱物価の中で生活防衛への意識の転換と、豊かな消費者への行動が活発に続けられている。地域団体、生協活動をとおして消費者自身の商品知識の向上、節約運動不用品交換会など、豊かなりピング設計への様々な知恵を集める消費者の運動を紹介しながら、県の消費行政を解説する。	昭和49	30分	カラー	0045
A179	栄華をしのぶ大多喜城 大多喜	木原線で夷隅川を縫う山地の奥にかつての栄華をしのばせる大多喜の町がある。交通の要衝として戦略的に重要な地であった大多喜は本多忠勝が10万石の封地を受け房総48城を従えさせた。大多喜の城下町としての歴史をたどりながら、自然と人々の姿を描く。	昭和49	30分	カラー	0045
A180	県政の主なできごと	物価高騰とモノ不足で明けた昭和49年には、松戸連続殺人事件、鈴木青年による小野田さん救出、また銚子商業初優勝、警察100年など、様々なできごとがあった。 この1年間の県政の主なできごとをダイジェストしたもの。	昭和49	30分	カラー	0045

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A181	房総花物語	冬になるとやってくる南房総からの花の便り。鮮やかに彩られたお花畑とハウスの可憐な花々が南房総の詩情をうたいあげる。暖かい冬の日射しの中で丹精な花づくりに忙しい毎日を過す農家の人々。一面に咲き乱れる南房総の花園をフィラー的に紹介しながら、花と人々の織りなす花物語を描く。	昭和50	30分	カラー	0046
A182	駅前3分停車 シリーズ・その1	駅はその地域の顔。古い顔、新しい顔、そしてロマンの顔が様々に展開しながら、駅はその地域の人々と生活を結んでいる。人口400万人を越え、たくましく変ぼうする千葉県の今日と明日を、その地域の駅をとおして風土記的に描く。(千葉・柏・木下・大網・和田浦の5駅)	昭和50	30分	カラー	0046
A183	12月定例県議会 話題を追って	昭和49年12月定例県議会は12月13日に開会、23日までの会期11日間にわたり、当面する県政全般の問題について審議がくりひろげられた。この定例会全般の模様をダイジェストする。	昭和50	30分	カラー	0046
A184	余暇時代へのプロローグ	本格的な余暇時代の到来。週休2日制の採用、また長期休暇制度がとり入れられるにつれ、自主性をもった余暇活動への要望が高まっている。 現代社会における人間性の回復をめざす余暇活動。県の余暇行政を解説しながら豊かな余暇時代への条件を考える。	昭和50	30分	カラー	0046
A185	悲しみの記録	交通事故は、当事者をはじめ家族、その周囲の人々の心に永遠に消えることのない深い悲しみを刻み込む。県警にある交通事故報告書は、その事故の全容を克明に物語っている。 49年8月に起こったひとつの事件を中心に、交通事故がもたらす悲惨な結果を描く。	昭和50	30分	カラー	0047
A186	松と文化の町 市川	松の緑と長い歴史の中で培われてきた文化のまち市川。江戸川を境として東京に隣接する恵まれた自然の中でその町並を形づくってきた。だが、近年は東京のベッドタウンとして急激な人口増加を続ける中で市川はその姿を大きく変えてきた。市川の歴史と文化を探訪しながら市川市をプロフィールする。	昭和50	30分	カラー	0047

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A187	ハウスの青春 花き栽培に生きる	1年をとおして平均気温が15度という温暖な気候に恵まれた南房総は古くより花き栽培が盛んであった。現在、安房地方を中心に年間40億円の生産額をあげ、全国屈指の花き栽培県となっている。とくに、ハウスを中心とした施設の花き栽培は集約的な栽培、経営の中で年々経営面積を広げている。ハウスに青春をかける若ものの姿を描く。	昭和50	30分	カラー	0047
A188	生活の中のローカル線 銚子電鉄	海と灯台のまち 銚子。県下随一の漁業のまちとして、また風光明媚な景勝地として全国的に有名な銚子のまちに大正12年より銚子電鉄が走っている。銚子犬吠 外川の6.4キロメートルを21分で結ぶこの電車の沿革を紹介しながら、沿線の自然と人々の生活を風土記的に綴る。	昭和50	30分	カラー	0047
A189	保健婦に生きる	地域の人々の保健衛生を守り、第一線で活躍する保健婦さん。毎日の地道な活動の中で住民と接触する保健婦さんは地域保健コミュニティーの中心である。銚子保健所の石橋さんは保健婦活動20年のベテラン。彼女の仕事をとおして、保健婦活動の姿を描く。	昭和50	30分	カラー	0048
A190	土地 その将来への展望	近年の都市化、工業化は地域を大きく変ぼうさせ、また一方で騰貴的な土地買占めによる地価の異常な高騰が続いている。このような中で土地の計画的利用と強力な地価対策を目的として国土利用計画法が施行された。本県の土地問題を取りあげながら、国土法の内容と、将来への土地政策を解説する。	昭和50	30分	カラー	0048
A191	鶴舞に灯ひとつ	市原市鶴舞にオープンした身体障害者療護施設「鶴舞荘」。この施設は常時介護が必要な身障者を長期的に療護することを目的に建設されたもので、重度の身障者とその家族の労苦を肩代わりしようとするものである。鶴舞荘に入荘する人々の姿をとおして社会福祉行政を解説。	昭和50	30分	カラー	0048
A192	クリーン房総をめざして	大量生産、大量消費時代を迎えた今日、その華やかな世相とはうらはらに、生産、流通、消費の過程で膨大な廃棄物生まれ、今日の重大な環境問題のひとつとなっている。ゴミ発生の抑制、ゴミを出さない工夫、そして地域美化への様々な運動を描きながら、クリーン房総への道を探る。	昭和50	30分	カラー	0048

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ ク ロ
A193	危いと思ったら	交通安全はみんなの手で。危い！！ と思ったら心を引締め注意し、また声を かけあい交通事故を防ぐことが必要だ。 歩行者、自転車に乗る人など県民のすべ てに交通安全の心を刻みながら「ひと声 運動」「交通ルールへの遵守」を幅広く キャンペーンしてゆく。	昭和50	30分	カラー	0049
A194	2月定例会議 話題を追って	昭和50年2月定例会議は、2月24日に 開会、3月13日までの会期18日間にわたり 当面する県政全般の問題について審議が くりひろげられた。この定例会議全般の模 様をダイジェストする。	昭和50	30分	カラー	0049
A195	駅前3分停車 シリーズ・その2	駅はその地域の顔 古い顔、新しい顔 そしてロマンの顔が様々に展開しながら 駅はその地域の人々と生活を結んでい る。人口400万人を越え、たくましく変ば うする千葉県の素顔の昨日、今日、明日 をその地域の駅をとおして風土記的に描 く。今回は、次の各駅をとりあげ房総の 春を点描する。 (銚子・東金・館山・五井・木更津・上総 亀山)	昭和50	30分	カラー	0049
A196	白球の青春を追って	甲子園を目指す県内各校野球部の選手 たちの練習は、厳しく苦しい。学業との 両立をはじめ、様々な困難を乗り越えて 野球に情熱を燃やす県内各校の野球部の 活動ぶりを紹介してゆく。	昭和50	30分	カラー	0049
A197	房総路をいく 成田道	長い歴史を歩んできた房総の街道の1つ に成田道がある。成田道は、江戸時代熱 狂的なブームを呼びおこした成田山信仰 を背景に、今なおかつての人々の生活の 足跡と今日に受けつがれてきた社会と文 化の流れがある。 成田道を散策しながら街道の名所、旧 跡、文化財など当時の人々の社会と生活 を探訪し紹介する。	昭和50	30分	カラー	0050
A198	明日への北総台地	北総地域は広大な台地を形成し、古く から農業が発達した。しかし、空港、 ニュータウンの建設等大型プロジェクト が進むにつれ、都市化、工業化が促進さ れ、今、北総は大きく姿を変えようと している。 新しい時代を迎えた北総の姿を紹介し ながらその明日を展望する。	昭和50	30分	カラー	0050

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A199	レッツ・サイクリング	美しい自然の中でのサイクリング。 騒々しい都会と多忙な生活から離れ失われつつある人間性を取り戻そうとするバイコロジーの動きが各方面でとりあげられている。 新緑の季節にサイクリングを楽しむ人々の姿をとおして県内の自転車道を紹介しながらサイクリングの意義を解説する。	昭和50	30分	カラー	0050
A200	恐るべき幻覚 シンナー乱用	青少年のシンナー乱用による事件・事故が急増。これは、重大な社会問題である。シンナーは、青少年の心と身体をむしばみ、つかの間の幻覚の中で転落の道を歩ませる。この映画は、シンナーに心を奪われた青少年の心の動機を分析。幻覚の症状・結果を再現し、シンナー乱用の恐ろしさをキャンペーンする。	昭和50	30分	カラー	0050
A201	房総の古寺を訪ねて	平安時代から鎌倉時代にかけて、当時の貴族や豪族は在地をひらくため各地に仏閣を建立。その後長い時の流れの中で多くの寺院が生まれては消え、消えては生まれた。房総の地に点在する古寺の中で、丸山町にある石堂寺を探訪し、当時の社会背景、寺と人々の生活とのかかわりあいを美しい映像で描く。	昭和50	30分	カラー	0051
A202	ドキュメント・房総昭和 50年の歩み	昭和50年 その時の流れは、千葉県にとっては激動の半世紀であった。戦争への20年は、重苦しい軍国主義と不況と労働争議の連続。戦後、民選知事の誕生とともに臨海工業地帯の造成を中心に経済、社会、文化とあらゆる分野でたくましく変ぼうを遂げた。千葉県の昭和50年の流れをスチールフィルムで構成し紹介する。	昭和50	30分	カラー	0051
A203	衝撃	本県における交通事故死傷者は、全国第1位という悲しい記録をつくった。この原因をみると自動車乗車中の死者が多く「座席ベルトさえしていれば助かっていたのに…」という報告が出されている。ドライバーに対し座席ベルト着用のキャンペーンを図りながら「衝撃と座席ベルトの関係」について、ダミー実験で再現し解説する。	昭和50	30分	カラー	0051
A204	6月定例県議会 話題を追って	昭和50年6月定例県議会は、6月28日に開会、7月12日までの会期15日間にわたり当面する県政全般の問題について審議がくりひろげられた。この定例会全般の模様をダイジェストする。	昭和50	30分	カラー	0051

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ ク ラ イ ム
A205	いのちの詩	横田昌久氏。彼は歌を通じ、体の不自由な子どもたちのために励ましと喜びをくみとってもらうため20年間も福祉音楽を作ってきた人である。 一人の福祉音楽家横田昌久氏の人生のプロフィールを紹介するとともに福祉社会に生きる身障者の人生感や福祉そのものを考えてゆく。	昭和50	30分	カラー	0052
A206	駅前3分停車 シリーズ・その3	駅はその地域の顔 古い顔、新しい顔そしてロマンの顔が様々に展開しながら駅はその地域の人々と生活を結んでいる。人口400万人を越え、たくましく変ぼうとする千葉県の素顔の昨日・今日・明日をその地域の駅をとおして風土記的に描く。今回は、次の各駅をとりあげ夏と自然と人をテーマに描く。(津田沼・茂原・御宿・青堀)	昭和50	30分	カラー	0052
A207	老人・その生きがい	昭和90年代に入ると4人に1人の割合で老人になるという この迫り来る「高齢化社会」の到来に対して老後の対策、老人福祉への考え方はどうなるのだろうか。現代生活の中で老人をとりまく環境は厳しいものがある。経済的な問題、健康の問題など こうした中で老人が持つ様々な問題背景をとおして"生きがい"を考えてゆく。	昭和50	30分	カラー	0052
A208	生活汚水の行方	都市化の傾向が一段と強まる近郊整備地域の中で、既成市街地を流れる都市河川や新興住宅地を背後にもつ湖沼は日々をおって高い汚濁を示している。県では、水質汚濁防止対策として印旛、手賀沼、江戸川左岸等の流域下水道工事やし尿浄化槽の取扱いの指導等を押し進めている。都市河川や湖沼等の汚染の実態をとらえ、対策をインサートして描く。	昭和50	30分	カラー	0052
A209	駅前ひろば 都市整備と商店街	都心からわずか50km圏内の本県各地域は、大規模な宅地開発やニュータウンの建設などによる人口の急増地帯である。こうしたことから総武線沿線の各駅前ひろばは常に自動車や通勤客で混雑、中には機能を失った駅前ひろばも出てきた。現在事業施工中の津田沼駅北口土地区画整理事業にスポットをあて、この事業のメリットについて解説する。	昭和50	30分	カラー	0053
A210	ふるさと市場 勝浦の朝市	勝浦市の中央、高照寺の門前通りには夜明け前から手ぬぐいをかぶったおばさんたちが勢ぞろい、野菜・魚などを手ぎわよく並べる 勝浦の朝市のはじまりである。勝浦の朝市は、300年以上もにぎわってきたふるさと市場。歴史をほこる勝浦の朝市をひもときながら様々な人々の姿をユーモラスなタッチで描く。	昭和50	30分	カラー	0053

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A211	水資源	<p>急速な人口増加、工業化そして農業生産の拡大をもたらした千葉県は、水資源の供給能力をはるかに上回る水需要を生み、将来への絶対的な水不足が予測されている。</p> <p>この映画では、県政の重要な課題となっている水資源の確保問題、生活と産業とのかかわり合いを長期ロケーションで描く。</p>	昭和50	30分	カラー	0053
A212	農業の機械化	<p>豊かな土壌と温暖な気候に恵まれた千葉県は全国第三位の農業生産を誇り、様々な分野で機械化、装置化、システム化が進められ、土地生産性、労働生産性を高めようとしている。</p> <p>この映画では、本県農業の現状と将来の農業を興味深く解説する。</p>	昭和50	30分	カラー	0053
A213	ある青春 警察学校物語	<p>千葉県警察は昭和49年で近代的な警察制度が生まれ100年を迎え、県民の生命と財産を守るため日夜活躍している。そうした中で、警察学校では若い警察官を県民に信頼される警察官として指導育成している。</p> <p>この映画では、警察官の警察学校での半年を様々な角度からとらえドキュメンタ的に描く。</p>	昭和50	30分	カラー	0054
A214	9月定例県議会 話題を追って	<p>昭和50年9月定例県議会は、9月29日に開会、10月13日までの会期15日間にわたり当面する県政全般の問題について審議がくりひろげられた。この定例会全般の様子をダイジェストする。</p>	昭和50	30分	カラー	0054
A215	房総ロマンのふるさと 富山	<p>おだやかな山容を形づくるらくだの背のような山 富山。富山は、わが国最長編小説「南総里見八犬伝」の舞台となったところで、伏姫と妖犬八房が籠ったという洞穴や犬塚なども存在、今なお息づいている。数々の謎と歴史を秘めたロマンのふるさと"富山"を散策するとともに周辺に点在する寺社も描く。</p>	昭和50	30分	カラー	0054
A216	明日への活力 くらしと食生活	<p>経済の発展とともに私たちの食生活は恵まれてきている。しかし、加工食品のはんらん、モータリゼーション、オートメーションの発達健康を阻害しているという。健康をつくり維持するためには、栄養・運動・休養の三つの柱を調和させることが必要だ。くらしの知恵=食生活と健康をルポ的に描く。</p>	昭和50	30分	カラー	0054

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A217	駅前3分停車 シリーズ・その4	駅はその地域の顔 古い顔、新しい顔 そしてロマンの顔が様々に展開しながら 駅はその地域の人々と生活を結んでい る。人口400万人を越え、たくましく変ぼ うする千葉県の素顔の昨日・今日・明日 をその地域の駅をとおして風土記的に描 く。今回は、次の各駅をとりあげ房総の 歴史を探訪する。 (木更津・佐倉・大多喜)	昭和50	30分	カラー	0055
A218	漁船	三方を海に囲まれた本県は、古くから 漁業が発展し様々な漁業開拓と漁法改良 が行われてきた。とくに漁船は、漁の足 として漁にふさわしい型が様々に生みだ されてきた。 この映画では、遠洋、沖合、沿岸漁業 の様々な分野で活躍する漁船を漁ととも に紹介、さらに漁船の歴史もふり返っ てみる。	昭和50	30分	カラー	0055
A219	県政の主なできごと	県人口400万人を突破して迎えた昭和50 年には、第8回統一地方選挙による川上知 事の誕生、ウォーターガーデンのオープ ン、六価クロム禍、習志野高校の2度目の 全国制覇、異常干ばつ、スト権ストなど 様々なできごとがあった。この一年間の 県政の主なできごとをダイジェストした もの。	昭和50	30分	カラー	0055
A220	交番日記 犯罪のない街づくり	一般に「交番」と呼ばれている「警察 官派出所」は、市民の生活と財産の安全 を守るため幅広い警察活動をしている。 家出人の捜査・地理案内・犯人逮捕・交 通違反の取締りなどはほんの一部であ る。犯罪傾向が凶悪化、複雑化してい く現代社会の中で活躍するある派出所を通 し、様々な活動を紹介しながら犯罪の未 然防止をキャンペーンする。	昭和50	30分	カラー	0055
A221	12月定例県議会 話題を追って	昭和50年12月定例県議会は、12月12日 に開会、12月22日までの会期11日間にわ たり当面する県政全般の問題について審 議がくりひろげられた。この定例会全般 の模様をダイジェストする。	昭和50	30分	カラー	0056
A222	ドキュメント・オムニバ ス 三つの灯 福祉に捧げる 人々	都市化の進む市川市の中で福祉に取り組 み「美しい灯」をとともすボランティア活動 をする人々がいる。 その1...成人重度身障 者のつどい「あじさいの会の勉強会」その2 ...車イスが頼りという体の不自由な人た ちの"足"となる「福祉タクシー」その3...目 の不自由な幼児のための「さわってみる絵本 を作る会」この3つの福祉テーマをオムニバ ス形式でその活動を追いながら「福祉」を 考える。	昭和50	30分	カラー	0056

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A223	もし!!大地震がおきたら 災害への心構え	最近、地震に関する話題が多いが、もし!!今、本県に大地震がおきたらどうなるだろう?。石油コンビナート地帯の爆発、交通マヒ等パニック状態になり、さらに自然災害が加わり平和な街や村が阿鼻叫喚の渦になるかも知れない。大地震に備えて、心構えを中心に地震災害のこわさを描く。	昭和50	30分	カラー	0056
A224	駅前3分停車 シリーズ・その5	駅はその地域の顔 古い顔、新しい顔そしてロマンの顔が様々に展開しながら駅はその地域の人々と生活を結んでいる。人口400万人を越え、たくましく変ぼうする千葉県の素顔の昨日・今日・明日をその地域の駅をとおして風土記的に描く。今回は、次の各駅をとりあげ冬の房総をスケッチする。 (我孫子・安食・佐原・上総一宮・安房小湊・安房天津)	昭和50	30分	カラー	0056
A225	現代社会と精神衛生	現代社会はスピード、猛烈、自己PR時代といわれ、働く人々にとっていや応なしに競争させられる時代である。そこで何よりも健康を大切にしなければならない。 保健所の精神衛生相談員の活動を中心に、精神障害者の社会復帰の道、心の健康管理の大切さ等を描き精神衛生の問題を考えてゆく。	昭和50	30分	カラー	0057
A226	魚の旅 生鮮食料品と流通	最近、生鮮食料品の物価上昇は著しいものがある。中でも水産物の値上りについては、私たちの食生活の主柱だけに与える影響は大きい。ところで、魚は水揚げからどのような経路で消費者に届けられるのか。流通経路を追跡しながら解説を加えてゆく。	昭和50	30分	カラー	0057
A227	伝統をまもる 「刀匠」備前昭房の記録	人とハガネが命を燃焼させながら火花を散らす伝統芸術刀 相伝備前流を研究、刀かじ一筋に生きる「刀匠」石井昌次氏がいる。彼の作品は、重花丁字乱れで切れ味、品格もすばらしく現代の名刀として評価されている。石井氏の人間像を浮ばりにし、備前昭房のできあがっていく過程も克明に映像化する。	昭和50	30分	カラー	0057
A228	ある訪問教師の記録	心身の障害のために学校教育を受けられない子供が県下に約400人もいる。「すべての子供に教育を」という社会的要請で、訪問指導制度が設けられて7年、45名の教師が訪問指導に当たっている。こうした訪問教師の姿を通して、福祉問題や教育のあるべき姿を描いてゆく。	昭和51	30分	カラー	0057

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A229	2月定例県議会 話題を追って	昭和51年2月定例県議会は、2月27日に開会、25日間にわたって、昭和52年度予算案等の重要な案件の審議をくりひろげた。この定例会の様子をダイジェストする。	昭和51	30分	カラー	0058
A230	東京湾に生きる 漁師たちの日々	戦後、沿岸の工業地帯造成によって、大きく変ぼうした東京湾。漁業を捨てていった人の多い中で、今も東京湾の漁業を守る漁師をとりあげ、その生活をドキュメント風に追いながら、かつての潮干狩や海水浴等の風物詩を折り込んで描く。	昭和51	30分	カラー	0058
A231	野良の唄が聞える	千葉県農業の中心の一つ、北総台地は、新東京国際空港の誕生を契機に、大規模なニュータウンの造成、内陸工業団地の建設等、大きく変わろうとしている。この北総台地に伝わる農作祈願の祭や民唄、芸能を折りまぜながら、そこに働く農民の姿を描いてゆく。	昭和51	30分	カラー	0058
A232	食品の安全を求めて	私たちの食生活を彩るさまざまな食品、そのかげに、時として人命さえ奪う、粉ミルク事件等、食品による事故や、最近話題になっている食品添加物の安全性の問題等がある。食品衛生の監督・取締りの第一線で活躍する食品衛生監視機動班にスポットをあてながら、食品の安全を考える。	昭和51	30分	カラー	0058
A233	房総の女シリーズ・その 1 九十九里浜黒潮とオッ ペシ	九十九里浜に漁港のない時代、船を出すオッペシは女の仕事であった。女たちは心の動揺を押し大波に立ち向かったという。オッペシの回想に九十九里浜の詩情を綴りまぜながら、素朴で働き者の女を通し、ふるさと房総を見直す。	昭和51	30分	カラー	0059
A234	こんにちは赤ちゃん 母子保健推進員の活動	核家族化の進展、女性の職場進出等、最近の社会情勢は、妊産婦の健康管理や育児の点で、母と子にとって厳しいものがある。こうした中で、地域のお母さん方の育児相談の相手になるとともに、育児健康診断等行政とのパイプ役を果している「母子保健推進員」を追って、その活動を描く。	昭和51	30分	カラー	0059

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A235	音楽隊員の青春	県民と警察との音楽によるかけ橋づくりを目的に、昭和45年再スタートした県警音楽隊は、千葉市内の公園でコンサートを続けたり、施設での慰問演奏等を行っている。若い一人の隊員を通して、音楽隊と県民との交流をエピソードを交えて紹介する。	昭和51	30分	カラー	0059
A236	そだてる力 千葉県の栽培漁業	全国有数の生産を誇る千葉県漁業も、獲る漁業から育てる漁業への転換がはかられている。古い歴史をもつノリ養殖も栽培漁業の一つだが、更にアワビ、ハマチ等の高級魚介類の養殖が課題となっている。その研究・開発に努力している、水産試験場、海士グループ等を紹介しながら、育てる漁業を考える。	昭和51	30分	カラー	0059
A237	6月定例県議会 話題を追って	6月30日開会された、昭和51年6月定例県議会は、15日間にわたって大規模開発の見直し等、県政の当面する諸問題について論戦を繰り広げた。この模様をダイジェストする。	昭和51	30分	カラー	0060
A238	にわとり	酪農・養豚とともに、養鶏は千葉県の畜産を支えている。経営の拡大・合理化によって、物価の優等生といわれてきた鶏卵だが、消費の伸び悩み、悪臭等の環境問題、飼料の安全性等、かかえる問題は少なくない。県養鶏試験場を紹介しながら、こうした問題を考える。	昭和51	30分	カラー	0060
A239	ムダの集積 ゴミ処理を考える	大量消費時代、家庭からも大量のゴミが出され、ゴミ処理の義務を負う市町村は、大きな負担を強いられている。ゴミ減量キャンペーンを展開する行政の姿やゴミ問題に自主的に取り組み、空カン回収、ゴミ減量運動を進める市民団体等を紹介しながら、ムダとゴミについて考える。	昭和51	30分	カラー	0060
A240	房総の女シリーズ・その 2 海女	海女と燈台と花の町 白浜。ここには現在も約450人の海女がいて、沿岸漁業の担い手となっている。男達を助けたくましく生きる海女の、果たしてきた役割、海と陸の生活、あるいは歴史を、彼女たちの回想を交えながら描き、ふるさと房総を紹介する。	昭和51	30分	カラー	0060

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A241	大雨に備えて	近年、県下ではガケ崩れ、中小河川の出水等、大雨による災害が少なくない。昭和46年千葉県を襲った台風25号の爪跡、都市河川の出水による被害の模様を描きながら、雨量観測テレメーター、非常時の無線通信システムや水防計画等、県のさまざまな対策を紹介する。	昭和51	30分	カラー	0061
A242	青年の船	千葉県洋上青年教養大学、「青年の船」は各種青年団体の中堅リーダー養成を目的として、毎年実施されている。青年団の副団長として、いろいろな悩みをかかえながら活動している一女性を通して、この青年の船の模様をルポしながら、その成果をもとに新しい活動に取り組むまでを描く。	昭和51	30分	カラー	0061
A243	千葉県新総合5か年計画 ひずみなき千葉県をめざして	日本経済の転換によって、これまでの総合5か年計画が見直されることになった。ひずみなき千葉県をめざして、51年策定された新総合5か年計画について、その目的、施策の概要を12大プロジェクトを中心に映像化し、県民の理解と協力を求める。	昭和51	30分	カラー	0061
A244	鬼来迎	匝瑳郡光町虫生の広齊寺で、毎年お盆に行われる鬼来迎(鬼舞)は、異色な芸能として知られ、国の重要無形民俗文化財に指定された。地獄の恐ろしさと、有り難い地藏菩薩の救いを教えるこの芸能を紹介するとともに、地区ぐるみでこの芸能を伝えてきた人々の苦勞と現在の生活を描く。	昭和51	30分	カラー	0061
A245	体力づくり	現代社会には生活環境の変化によって、運動不足、精神的ストレスの増大、アンバランスな食生活等、健康を阻害する要因が少なくない。日常生活の中に運動をとり入れ、実践している例を紹介しながら、運動の必要性を訴え、健康と体力づくりを考える。	昭和51	30分	カラー	0062
A246	交通事故の原因を追って	千葉県内の交通事故発生件数は、依然全国の上位を占めている。スピードの出し過ぎ、飲酒運転といった原因の他、最近の事故分析の結果、速度とすれ違いビームという新しい原因が着目されてきた。交通事故の原因を解説して、ドライバーに安全運転を呼びかける。	昭和51	30分	カラー	0062

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A247	風物詩 ふるさとの味	三方を海に囲まれた房総の地は、海の幸はもとより、山の幸、野の幸に恵まれている。養老溪谷の山菜料理・川魚料理、白浜の磯料理、八街のピーナッツ料理等、レポーターが探訪しながら紹介し、ふるさとの味を通して房総を見てゆく。	昭和51	30分	カラー	0062
A248	9月定例県議会 話題を追って	昭和51年9月定例県議会は、9月29日から18日間にわたって開かれた。今度策定された新総合5か年計画、低温による水稲被害等、当面する県政の諸問題について論議された模様をダイジェストする。	昭和51	30分	カラー	0062
A249	植木	植木生産全国一の千葉県には、伝統を誇る東金・八日市場のほか、各地に新興産地が形成されている。公園・道路等の公共緑化用樹木生産を主とする新興産地は、不況による需要減少が微妙な影響を与えている。主な植木産地の経営実態とともに、成田市にある県花植木センター等を紹介し、植木生産の現況と対策を探る。	昭和51	30分	カラー	0063
A250	まちのおとしより	平均寿命の伸びによる社会の高齢化、老年を迎えた人々に影を落す戦後の大きな社会変化等、老人問題は今大きくクローズアップされている。地域社会の中で積極的に奉仕活動に取り組んでいる老人クラブ員を紹介し、老人大学校・タートリンピックの模様を点描しながら、老人の生き方について考える。	昭和51	30分	カラー	0063
A251	都市と公園	急速な都市化の進展に伴い、憩いの場や緑を確保するための公園・緑地の必要性が叫ばれ、県・市町村とも公園・緑地の造成、整備に努めている。機能、目的から見た県内の公園や緑地を紹介するとともに、利用、管理の面の問題をとりあげ、公園を考える。	昭和51	30分	カラー	0063
A252	よみがえれ東京湾 水質調査船「きよすみ」	東京湾浄化が叫ばれて久しいが、排水の規制強化等によって、近年ようやく水質汚濁の漸減を見るようになった。県では水質調査船「きよすみ」を竣工させ、更に東京湾の浄化を進める積極的な姿勢を示している。「きよすみ」の活動を紹介しながら、東京湾浄化の努力と今後の方策を描く。	昭和51	30分	カラー	0063

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ ク ロ
A253	県政の主なできごと	昭和51年の県政にもさまざまなできごとがあった。 新総合5か年計画の策定、暮れの総選挙...、昭和51年を振り返って、県政の動きとともに、県内でおこった大きな事件、主な行事等をダイジェストして紹介する。	昭和51	30分	カラー	0064
A254	房総の女シリーズ・その3 花に生きる	大栄町の農家の三人姉妹の長女に生まれ、普通高校に進学しながら、農業後継者の道を選んだ一人の若い女性。未知の施設鉢花経営に情熱を傾け、家族の理解と協力もあってようやく軌道に乗せ、地域に新しい息吹きを与えた彼女のプロフィールを、回想を交えながら描く。	昭和51	30分	カラー	0064
A255	12月定例県議会 話題を追って	12月10日から11日間にわたって開かれた昭和51年12月定例県議会は、財政問題等、県政の当面する諸問題について審議が繰りひろげられた。その模様をダイジェストする。	昭和51	30分	カラー	0064
A256	ワクチン	千葉県血清研究所は、昭和21年の事業開始以来ワクチン等生物学的製剤の、研究・製造を続けるユニークな公営企業として知られている。予防行政の一翼を担うこの血清研究所のワクチン製造過程等を紹介しながら、ワクチンの効用を説く。	昭和51	30分	カラー	0064
A257	湯の郷を訪ねて	千葉県には、温泉法に定める温泉が43か所あるが、温泉街のイメージから遠く、余り知られていない。昔ながらの湯治場の面影を残す温泉、近隣の人々で賑っている温泉等、6か所の温泉を訪ねて紹介する。	昭和51	30分	カラー	0065
A258	苦難をこえて 身障者と職業	障害者の福祉増進を図るには、障害者が働く場を得て社会的経済的活動に参加し、そこに生きがいを見出すことが必要である。しかし社会全体の理解は十分とはいえない。障害というハンディキャップを負いながら働いている飛田さんの厳しい生活を追いながら、障害者と職業の問題を考える。	昭和51	30分	カラー	0065

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A259	40歳代からの健康	脳卒中・がん・心臓病等、いわゆる成人病の死亡率は高い。社会でも、家庭でも大黒柱である40歳代以上の成人の病気が増加していることは大きな社会問題でもある。成人病への関心を高め、正しい知識を普及するとともに早期発見・早期治療や自主的な健康管理の必要性を訴える。	昭和51	30分	カラー	0065
A260	汀(みぎわ)	海と人間とのかかわりは古くそして深い。海に生産を求め、海が交通路となっている汀は海と人間との親しみある接点であったが、近年この海と人間との関係は変わってきた。変化に富む千葉県海岸を紹介しながら、海と人間とのかかわりを、汀を通して考える。	昭和51	30分	カラー	0065
A261	春を迎える 房総の祭	その昔正月に春を迎える喜びのあったことは、今日の正月行事からもうかがうことができる。正月から三月にかけて行われる民俗行事には、豊凶を占い、豊作への祈りがこめられていた。房総の各地に今も伝えられるこうした民俗行事を紹介して、先人の春を迎える心を探る。	昭和51	30分	カラー	0066
A262	千葉県の農業	私たちの豊かな食生活も食料輸入に支えられている。全国第3位の生産を誇る千葉県の農業も、土地や後継者等の問題をかかえている。自然の理法と農業者の努力の上に成り立っている農業の姿を紹介しながら、農業の大切さを訴え、県民の理解を求める。	昭和51	30分	カラー	0066
A263	非行 ある少年の回想	少年の非行を年齢別に見ると、15・16歳が約半数を占めるという低年齢化の傾向を示し、内容は万引・乗物盗など遊びの色彩の濃いものが多い。 一人の少年の回想を描きながら非行の原因は何か、その対策として家庭は、学校は、社会は、何をしなければならないか……。様々な問題をひきおこしている非行の実態を考えてゆく。	昭和52	30分	カラー	0066
A264	2月定例県議会 話題を追って	昭和52年2月定例県議会は、2月28日から3月28日までの29日間にわたって52年度の予算案を中心に論議が繰りひろげられた。この模様をダイジェストする。	昭和52	30分	カラー	0066

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A265	いのちの絆	交通事故や労働災害などの増加によって多量の輸血用血液が必要になってきている。血液は医学の発達した今日でも、代わるものを造ることはできず、献血以外に確保する方法はない。しかし、自分は自分、他人は他人といった現代の社会状況では献血に対する意識は希薄である。こうした不足する血液の現状を訴え、献血の重要性をキャンペーンする。	昭和52	30分	カラー	0067
A266	のばせ愛の手 ボランティア	ボランティア活動。特別な人だけがやるものではない。その地域に生活する人すべてが力を合わせて人間らしい生き方を求めて行こうとするもの。当り前の事を当り前に行うことである。大網白里町にある救護施設「房総平和園」の人々とボランティア活動を続ける高校生たちの心のふれあいを描く。	昭和52	30分	カラー	0067
A267	坂東巡礼の旅	鎌倉時代の中期に設けられたといわれる坂東33か所の巡礼の礼所。千葉県には、このうち7か寺が「観音の道」として現在する。しかし、こうした観音信仰がどんな意味をもって人々の間に生きてきたのか、知る人は少ない。何故こんなにも長い間、観音信仰が人々の間にあつく信仰されつづけてきたのか。それを問いながら、「観音の道」にかかわる房総の人々の人情と風土を描いてゆく。	昭和52	30分	カラー	0067
A268	県政30年の歩み	昭和22年5月、新憲法とともに施行された地方自治法によって、5月27日に初の県議会が開かれた。こうして新しい県政の第一歩が踏み出され、30年経過した千葉県は、それまでの農林水産業県から、工業県へ脱皮し、飛躍的發展をとげた。激しく移り変わってきた県政の30年間をふり返り、その歩みを紹介する。	昭和52	30分	カラー	0067
A269	野ら犬	毎年、犬の放し飼い、あるいは野犬による事故があとを絶たない。特に5月から6月にかけては事故の件数が急激に増加している。そして、幼児やこどもが痛ましい事故の犠牲になり、大きな社会問題にもなっている。 千葉県ドッグセンターの仕事を紹介しながら、犬の正しい飼い方について解説する。	昭和52	30分	カラー	0068
A270	変わりゆく北総農業	広大な台地に古くから農業が発達してきた北総。この北総台地に、大規模なかんがいを行うため、北総東部用水成田用水工事が進められ、さらに東総用水、北総中央用水も計画されている。 この大規模用水計画の概要を紹介しながら、北総農業の明るい未来を描いてゆく。	昭和52	30分	カラー	0068

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A271	まちの中の工場	千葉県における都市化の進展は、住宅と工場との混在化を著しく進行させている。この住工混在化の解消を図るため県では、資金の融資、移転先の斡旋等を行い工場の移転を促進している。しかし、この対象となる中小企業者にとっては、資金の問題、従業員の問題等があり、実施にふみきる会社は少ない。移転を進めているある工場を描きながら住工混在地域と工場再配置の問題を考える。	昭和52	30分	カラー	0068
A272	このかけがえのない自然を	環境庁が行った"緑の国勢調査"ともいわれる「自然環境保全調査」(昭和48年)によると、本県は全国第6位の緑の破壊された県となっている。自然環境保全地域指定の費用負担の問題、あるいは地元の要望との調整などいろいろな難しい問題をかかえながら残された貴重な房総の自然を守ることに努力する県の姿勢を紹介する。	昭和52	30分	カラー	0068
A273	1 房総の旅シリーズ・その山を歩く	豊かな自然に恵まれた房総。この房総にも新しい県民が増え、次第にふるさと感がすれつつある。房総の秘境といわれる清澄山、三石山、麻綿原高原などの新緑に映える山々を歩きながらそれらの地にまつわる歴史や伝説あるいは文化や風物などを詩情豊かに描いてゆく。	昭和52	30分	カラー	0069
A274	6月定例県議会 話題を追って	昭和52年6月定例県議会は、7月13日招集、7月28日までの16日間にわたって新東京国際空港問題、異常寒波によるびわ被害対策問題などについて論議が繰りひろげられた。この模様をダイジェストする。	昭和52	30分	カラー	0069
A275	松を守る まつくい虫防除作戦	従来、松が枯れるのは、松くい虫が松を食い荒らすためと考えられていたが、そうではなく松くい虫が運ぶ害虫が原因とわかった。そこで県では房総の緑を守るため6月・7月にかけて薬剤の散布を実施し、一日も早く松の緑をよみがえらせようと努力している。貴重な森林資源である松を守るため松くい虫防除作業にたずさわっている人々の姿を通して、本県が進めている対策について紹介する。	昭和52	30分	カラー	0069
A276	漁港	千葉県は古くから恵まれた漁場と銚子港を始めとする数多くの漁港があり全国屈指の水産県として知られており、その施設は全国的にみても進んでいる。しかし、近年漁船の増加、水産物流通の多様化などの問題が起きている。このような情勢を背景に、国の第6次漁港整備計画に基づき整備工事が進む港や関連施設と、期待の目で工事を見守る漁民の姿を描く。	昭和52	30分	カラー	0069

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A277	鑑識	今日の犯罪は、都市化に伴い広域化、凶悪化、巧妙化の傾向をみせている。こうした中で、犯罪の解決に活躍する県警鑑識機動班は証拠物件の収集、指紋の確認等捜査の裏方として重責を果たしている。ある切盗事件を舞台に、鑑識機動班が地味で根気のいる指紋照合などで事件を解決していく過程を描く。	昭和52	30分	カラー	0070
A278	第二の人生 仕事・その生きがい	わが国は、世界に例のない急速なテンポで高齢化社会へと突入しようとしている。こうした状況を反映して企業では、定年延長等の対策が考えられている。高年齢者の雇用促進に努めている高年齢者、パートタイマー職業相談室や人材銀行の活動を追いながら高年齢者の就職問題を考える。	昭和52	30分	カラー	0070
A279	消費生活を考える	最近では消費者保護もさることながら商品や経済、あるいは消費生活など知識の普及や啓発などといった消費者教育がより必要になってきた。 この映画では、消費生活相談や消費生活リーダー講座、生活教室、また"暮らしの科学車"を使っての出張教室などを行っている消費生活センター職員の活動を紹介する。	昭和52	30分	カラー	0070
A280	9月定例県議会 話題を追って	昭和52年9月定例県議会は9月28日から10月17日までの20日間にわたって救急医療問題やモノレール問題などについて活発な論議が繰りひろげられた。この模様をダイジェストする。	昭和52	30分	カラー	0070
A281	くすり	漢方薬や健康食品に対する過大な期待が一部消費者の間に見受けられ、薬に対する不信や不安感を持っている人が意外と多い。 薬事アドバイザーが薬に関する相談や苦情の処理に活躍している姿、衛生研究所等での薬品の検査、分析などを描きながら薬品についての認識と正しい使い方を呼びかける。	昭和52	30分	カラー	0071
A282	千葉県の道路	昔から道は、私たちの生活と密接な関係にあった。初めは、家と家とを結ぶ里の道であり生活の道であった。しかし都市化に伴い自動車が増え交通渋滞、交通事故の多発等の問題がおきている。私たちの生活をささえる縁の下の力持ちである「道」の歴史や役割を描きながら、あわせて本県道路の現状と未来を描く。	昭和52	30分	カラー	0071

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A283	房総のわらべ唄	古来、子供たちが日常生活や年中行事の中に唄い継いできたわらべ唄。いつの時代でも子供たちとともにあり大人には心のふるさともある。このわらべ唄も激変する社会において次第に失われようとしている。今でもわらべ唄を折りにふれ口ずさんでいる老婆と現代の子供達を対比させながら、遊ぶ時、子守りをする時、唄われるわらべ唄を抒情的に描いてゆく。	昭和52	30分	カラー	0071
A284	むらぐるみ農業	新総合5か年計画において農林地の確保と利用、農業経営者間の連携そして生活環境整備等の推進を図り「村づくり、人づくり、土づくり」の総合対策 むらぐるみ農業推進対策 を展開する。この映画では、「むらぐるみ農業推進員」に選ばれた人々の活動を追いながらむらぐるみ農業の考え方、推進の仕方を描いてゆく。	昭和52	30分	カラー	0071
A285	12月定例県議会 話題を追って	昭和52年12月定例県議会は12月8日から12月22日までの15日間にわたって、米の減反転作問題や成田用水事業問題などについて論議が繰りひろげられた。この模様をダイジェストする。	昭和52	30分	カラー	0072
A286	秋の祭り	秋に行われる様々な民俗行事。それは、その年の収穫を祝い、神に感謝の気持ちを捧げる村人たちの心の表れである。県内最大のもといわれる佐原市香取神宮の大饗祭や団碁祭の神事を中心に、東金市の北之幸谷獅子舞、茂原市の北塚の神楽など農民の間での収穫の祭礼を織り混ぜながら五穀豊饒を感謝する人々の心を描く。	昭和52	30分	カラー	0072
A287	健やかな成長を願って 児童福祉士的一天	親から虐待される子どもたち、親の犠牲になる子どもたち、そして簡単に死を選んでしまう子どもたち 近年の人口急増、核家族化傾向など社会情勢の変動に伴い、児童問題も複雑化している。子どもたちが健やかに育つよう願いながらいろいろな問題に取りくんでいる児童福祉士の姿を描きながら児童問題について考える。	昭和52	30分	カラー	0072
A288	下水道	人々の都市集中心化による生活排水の増大と急速な経済成長に伴う工場排水の増大は河川や湖沼などの水質汚濁をはじめ生活環境の悪化など様々な問題を引き起こしている。これらの問題を解決するには、下水道が整備されなければならない。下水道の役割と現状を描きながら今後の課題について考えてゆく。	昭和52	30分	カラー	0072

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A289	房総の畜産	千葉県の畜産は牛乳生産で全国第2位、豚肉についても第2位の生産を確保し、首都圏における重要な食糧基地としての役割を果たしている。このように発展した畜産も畜産農家の減少、公害、飼料の高騰など多くの問題をかかえている。この映画では、消費生活の中での畜産の役割と現状を描きながら今後の問題について考えてゆく。	昭和52	30分	カラー	0073
A290	房総の女シリーズ・その4 伝統工芸を守る女たち	長い間、家庭を、そして男たちを支えてきた房総の女たちが今も守り続けている伝統工芸。 勝浦の藁ぞうり、山武の矢筒、館山の唐棧織を紹介しながら、伝統工芸を次代に引き継ごうとがんばっている女たちの姿を追う。	昭和52	30分	カラー	0073
A291	房総の旅シリーズ・その2 海・花・人々	一足早い南房総の春は「キンセンカ」や「カーネーション」が美しく咲き乱れ寄せ返す太平洋の波も春を迎えて一段と躍動する。 南房総の海岸線をたどりながら花と海と人々とのふれあいを詩情豊かに描いてゆく。	昭和52	30分	カラー	0073
A292	2月定例県議会 話題を追って	昭和53年2月定例県議会は2月28日から3月28日までの28日間にわたって成田空港周辺の諸問題や富津沖埋め立て問題などについて論議が繰りひろげられた。この模様をダイジェストする。	昭和53	30分	カラー	0073
A293	技術を学ぶ	近年の社会情勢に伴い中学校、高校を卒業して技術を身につけたい、あるいは、中高年齢者の再就職や転職をする人たちが技術を修得したいという傾向が増大している。県立技術専門学校で技術を身につけようと訓練に励む生徒たちの姿を追う。	昭和53	30分	カラー	0074
A294	千葉港	千葉港の歴史は古く鎌倉時代にさかのぼる。千葉港がどんな特色を持ち、現在の千葉港が県民とどのようなつながりを持っているのか。また今後どのように発展していくのか、港湾事務所や信号所の職員など、そこで働く人々とともに描いてゆく。	昭和53	30分	カラー	0074

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A295	中小企業は今 不況・円高の中で	千葉県総事業所数の99.8%を占める中小企業は、本県経済の重要な役割を果たしている。ここ数年来の不況と円高のため、厳しい経営をしいられている中で、経営の安定を図るにはどうすればよいのか、中小企業がかかえる問題点を指摘しながら県の対策等を紹介し、明日の中小企業の指針を探る。	昭和53	30分	カラー	0074
A296	6月定例県議会 話題を追って	昭和53年6月定例県議会は、6月29日から7月17日までの19日間にわたり、5月20日に開港した成田国際空港に関連する諸問題を中心に論議が繰りひろげられた。この模様をダイジェストする。	昭和53	30分	カラー	0074
A297	青空のもとで	生活環境や健康に大きな影響を与える大気汚染は、都市化、工業化の著しい京葉臨海工業地帯とその周辺に集中している。この大気汚染の監視に携わる人々の姿を追いながら、大気汚染の発生原因、動植物に与える影響等を描きながら、監視体制、監視機器等を紹介する。	昭和53	30分	カラー	0075
A298	水と緑と太陽と 県民の遊び場	美しい自然は、私たちにレクリエーションの場を提供し、日常生活に豊かな潤いと変化を与えてくれる。この美しい自然を生かしたレクリエーション施設"県民の森"や"海のこどもの国"等を紹介する。	昭和53	30分	カラー	0075
A299	緑を育てる	森林が私たちに果たす役割は非常に大きなものがある。しかし、千葉県にある森林は無秩序な開発等により減少しつつある。この森林を守り育てる林業家の研究グループと林業指導改良員の活動する姿を描きながら、千葉県の林業の現状と将来について考える。	昭和53	30分	カラー	0075
A300	9月定例県議会 話題を追って	昭和53年9月定例県議会は、9月28日から10月17日までの20日間にわたり、財政、空港、教育問題等を中心に論議が繰りひろげられた。この模様をダイジェストする。	昭和53	30分	カラー	0075

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A301	みなおそう千葉の米	米の需要と消費のアンバランスをなくすため、昭和44年から米の生産調整が実施されたが、相変わらず米の生産過剰の状態が続いている。そこで昭和53年に、米の生産を計画的に調整しながら水田の転作を進めようと水田利用再編対策が打ち出された。この水田利用再編対策や最近の米需要の動向、米の栄養価の問題等を解説しながら米の消費拡大を啓もうする。	昭和53	30分	カラー	0076
A302	ある加害者の告白	悲惨な交通事故は、被害者やその家族に苦しみと悲しみを与えるだけでなく、加害者の精神的、肉体的苦しみもはかりしれないものがある。市原市の交通刑務所には数多くの交通事故加害者が服役しており、彼らは二度と交通事故を起こさないと訴える。この交通刑務所に服役する一青年の証言をもとに、交通加害者が事故により引き起こした悲惨さを描き、交通事故撲滅を訴える。	昭和53	30分	カラー	0076
A303	海に生きる若者たち	近代化、合理化が進む千葉県漁業に取り組む若い後継者たちは、さまざまな悩みや問題をかかえている。この悩みや問題に真剣に立ち向かう海に生きる若者たち、特に御宿町岩和田、大原、太東漁業協同組合の青年の姿を描きながら200カイリ時代の千葉県漁業を考える。	昭和53	30分	カラー	0076
A304	房総の天然記念物	開発が進む首都圏の中で、千葉県は群馬県に次いで多くの天然記念物が現存している。しかし、大切な天然記念物も台風などの自然災害や開発等によって消えてゆくものがある。この映画は、千葉県に残っている代表的な天然記念物、天津小湊町の鯛の浦タイ生息地や神崎町の大クス(ナンジャモンジャの木)などを紹介する。	昭和53	30分	カラー	0076
A305	12月定例県議会 話題を追って	昭和53年12月定例県議会は11月29日から12月11日までの13日間にわたって長期計画、道路交通、医療、教育問題等に論議が繰りひろげられた。この模様をダイジェストする。	昭和53	30分	カラー	0077
A306	災いと戦う ある消防士の日	多くの人命や財産を奪う火災は年々増加する傾向にある。この恐しい火災から人命等を守るため、消防士は厳しい訓練を続ける。又、各家庭を訪問し消火機器の検査や安全指導も行う。この映画は、一人の若い消防士の活動を通して、火災の恐しさや避難の心得等を紹介する。	昭和53	30分	カラー	0077

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A307	みんなですすめる救急医療	県民がいつでも安心して受けられる救急医療体制の整備が積極的に進められている。しかし、救急医療体制を推進するには単に施設を整備するだけでなく、県民1人1人の医療に対する十分な理解が必要である。そこで千葉県の救急医療体制の現状を描きながら救急医療情報センター等を紹介する。	昭和53	30分	カラー	0077
A308	あしたに向けて	現在、心身に障害をもち、義務教育年齢に達している子供は盲・ろう学校、養護学校、特殊学級等に在学している。しかし、昭和54年度から養護教育が義務化されたため、このような子供たちは彼らに適した教育が受けられるようになった。この映画は、養護学校で学ぶ生徒と指導にあたる先生の姿を描きながら養護教育に対する理解と協力を求める。	昭和53	30分	カラー	0077
A309	老人大学校 充実したとき	お年寄りがより充実した生活を送るためには、自らすすんで新しい知識を身につけ、社会活動に参加することが大切である。この一助とするため、県では各地に老人大学校を建設している。この映画は、老人大学校で学ぶお年寄りたちのほつらつとした姿や生き方、又、学んだことを地域活動として実践している姿を紹介しながら明日の老人福祉を考える。	昭和53	30分	カラー	0078
A310	2月定例県議会 話題を追って	昭和54年2月定例県議会は、2月16日に開会、3月5日に閉会。会期18日間にわたり、昭和54年度の県政の指針となる昭和54年度当初予算を中心に論議が繰りひろげられた。この模様をダイジェストする。	昭和53	30分	カラー	0078
A311	五線譜に夢を託して	生活水準の向上や自由時間の増大等に伴い、心の豊かさや潤いを求めて文化活動に参加する人々が増えている。こうした人々の活動を銚子市の市民交響楽団をはじめ、さまざまなサークルを通して紹介し、文化活動のすばらしさを描く。	昭和53	30分	カラー	0078
A312	ローカル線沿線考	クルマ社会の出現で地方ローカル鉄道が廃線の憂き目を見ている中で、地域住民や観光客に愛され、親しまれながらきょうも走り続ける流山(流山～馬橋)、小湊(五井～上総中野)のローカル鉄道。この2つのローカル鉄道を取りあげて、その沿革や沿線を紹介しながら住民との結びつきを描いてゆく。	昭和54	30分	カラー	0078

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ ク ロ
A313	空からこんにちは 新しい千葉県	人口450万人を突破し、あらゆる分野で発展を続ける千葉県は日に日にその姿を変えてゆく。この新しい千葉県を空と陸から立体的にとらえて紹介する。	昭和54	30分	カラー	0079
A314	空からこんにちは 美しい房総	青い海、緑の山々等、房総は美しい自然に恵まれている。こうした美しい房総を、海、山、川、湖沼やそこで生活する人々の姿を、空撮をふんだんに取り入れ、立体的に紹介する。	昭和54	30分	カラー	0079
A315	6月定例県議会	昭和54年6月定例県議会は、6月20日から7月5日までの16日間にわたり、長期構想の策定、教育問題、水稲の転作問題等を中心に論議が繰り広げられた。この模様をダイジェストする。	昭和54	30分	カラー	0079
A316	三石山	雄大な山波が続く清澄山系の北端に位置する三石山。この頂上には三つの巨石があることから三石山と呼ばれ古くから観音尊が祭られており、海運と縁結びの神として、多くの人々の信仰を集めている。この地で生活する人々や、訪れる信者、観光客の姿を周辺の美しい自然とともに描く。	昭和54	30分	カラー	0079
A317	幼児の目と交通事故	幼児の交通事故の原因はなにか。幼児と大人の視聴覚能力や判断力を比較しながら、その能力の相違が悲惨な交通事故につながることを解明し、ドライバーや大人たちに、幼児の交通事故防止を訴える。	昭和54	30分	カラー	0080
A318	大地震その時	いつ大地震が起きても不思議ではないといわれる房総半島。もし、大地震が起きた時に、その被害を最小限に食い止めるにはどうしたらよいか。地震の恐ろしさを知ってもらうと同時に、地震に備えて対策をたてている人々の姿や県の地震対策を紹介しながら、地震に対する準備や心構えの必要性を訴える。	昭和54	30分	カラー	0080

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A319	房総の海 その美しい海中	三方を海に囲まれ、400kmにおよぶ海岸線を持つ千葉県。この海の中はどのようなになっているのか。岩礁地帯や砂地等、変化に富んだ海中を、館山、白浜、鵜原の3地域にとらえ、そこに生息する生物とともに紹介する。	昭和54	30分	カラー	0080
A321	あなたもわたしもスポーツマン	運動不足による肥満や体力の衰え、また、運動不足に起因するさまざまな病気が発生しており、この解消のために、いつでもどこでも、また、年齢に関係なく、だれにでも手軽にできる軽スポーツが盛んに行われるようになった。この軽スポーツを紹介するとともに、スポーツの必要性を呼びかける。	昭和54	30分	カラー	0081
A322	九十九里	波と砂がはてしなく続く美しい弓なりの浜、九十九里。この広大な九十九里浜は独特な文化を育て、その風土は多くの文化人に愛されてきた。今は多くの人々が安らぎ求めて訪れる。こうした九十九里の姿を描きながら、九十九里の持つ厳しさ、やさしさ、美しさを探る。	昭和54	30分	カラー	0081
A323	9月定例県議会 話題を追って	昭和54年9月定例県議会は10月11日から10月26日までの16日間にわたり、長期構想、教育問題等を中心に論議が繰り広げられた。この模様をダイジェストする。	昭和54	30分	カラー	0081
A324	美しさとの出逢い	房総に伝わる数々の彫刻や絵を紹介するとともに、新しい美しさを求めて、陶芸や絵画等に創作意欲を燃やすアマチュア芸術家たちの姿を描きながら、芸術とのふれあいを求める心の大切さを訴える。	昭和54	30分	カラー	0081
A325	交流の輪を広げて あるボランティアの活動	地域ぐるみの福祉。その芽が県内の各地で芽生えている。八日市場市でも、体の不自由な人々と音楽を楽しむ「ワタボウシコンサート」が行われた。このコンサートに参加したさまざまな職業のボランティアの姿を描きながら、人と人とのふれあい、助け合いの大切さを訴える。	昭和54	30分	カラー	0082

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A326	新ふるさと探訪	近代的な都市。こうした街の中にも、古くから伝えられた神社や仏閣、昔ながらのたゞずまいを見せる商家をみることができる。こうしたものにふれた時、幼い頃の郷愁や心の安らぎを覚える。忙しい現代の生活の中で、ともすれば忘れがちな、こうした古くから伝えられたものと人々の係わりあいを描きながら、都市化の進んだ街の中にも、ふるさとがあることを訴える。	昭和54	30分	カラー	0082
A327	12月定例県議会 話題を追って	昭和54年12月定例県議会は12月7日から12月19日までの13日間にわたり、交通教育、農政などの諸問題を中心に論戦が繰り広げられた。この模様をダイジェストする。	昭和54	30分	カラー	0082
A328	みんなで進めよう省エネルギー	各家庭でできるエネルギーや資源の節約方法、また、省資源省エネルギー運動を地域に広げて行くにはどうしたらよいのか等を、これらに真剣に取り組んでいる人々の姿を通して、具体的にわかりやすく描きながら、省資源、省エネルギーの必要性について訴える。	昭和54	30分	カラー	0082
A329	ふるさとの玩具	房総には、多くの素朴な郷土玩具が残されている。こうした玩具には、祖父母や父、母たちが子供に伝えたいまた、受け継いでもらいたい生活の知恵や信仰等を探ることができる。房総の各地に伝えられてきた素朴な郷土玩具を紹介しながら、房総のふるさとを探る。	昭和54	30分	カラー	0083
A330	房総と黒潮	黒潮は房総に温暖な気候とさまざまな恵みや文化をもたらしてくれる。房総の地をはぐくんできた黒潮と房総の係わりあいを今に伝える神社や寺、遺跡、また、行事や人々の生活等を描きながら、黒潮とともに生きる房総の人々の姿や気質を探る。	昭和54	30分	カラー	0083
A331	土に生きる若者たち	本県農業は、所得の伸び悩みや生産コストの上昇、後継者の減少等、さまざまな問題をかかえている。このような問題に取り組み、豊かで魅力ある農村社会をつくりあげようとしている若い農業者たちを描きながら、明日の千葉県農業の可能性を探る。	昭和54	30分	カラー	0083

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A332	困難を乗り越えて 就職へのみち	体の不自由な人々を取り巻く社会環境は厳しく、就職の機会も少ないのが現状である。体の不自由な人々がさまざまな困難を乗り越えて、それぞれの職場で活躍している姿を描くとともに、これらの人々が就職する場合の職業訓練や職業相談、また、彼らを受け入れるために努力している企業を紹介する。	昭和54	30分	カラー	0083
A333	2月定例県議会 話題を追って	昭和55年2月定例県議会は、2月29日から3月26日までの27日間にわたり、昭和55年度当初予算、長期構想等を中心に論戦が繰り広げられた。この模様をダイジェストする。	昭和54	30分	カラー	0084
A334	自然との出会い	波や風、川の流れ等、大自然の営みによってつくりあげられてきた房総は、変化に富んだ美しい姿をみせてくれる。こうした自然がつくりあげた海岸、島、奇岩、渓谷等の美景奇景を、それらにまつわる伝説や民話等とともに紹介する。	昭和54	30分	カラー	0084
A335	野鳥	生活にうるおいと安らぎをもたらしてくれる野鳥の美しい姿とその生態を干潟や沼、川、海岸、溪流、森林等にとらえ、四季の変化とともに描く。	昭和55	30分	カラー	0084
A336	万葉の旅 房総	万葉集には、房総の地で詠まれた歌が、数多く載せられている。 房総にゆかりのある歌を基に、今に万葉集の時代を偲ばせる遺跡や自然、また、山部赤人にまつわる伝説等を紹介する。	昭和55	30分	カラー	0084
A337	私の小さな旅 房総	変化に富んだ美しい自然に恵まれた房総は、海・山・川に、多種多様のレジャーを楽しむことができる。 手軽に楽しめる房総の旅を、自然の中で憩う家族づれや若い人々の姿とともに紹介する。	昭和55	30分	カラー	0085

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A338	漁村の人々	房総には、黒潮の流れとともに、黒潮に抱かれながら魚や貝を捕り続けた人々がいる。 勝浦市大沢漁港で、沿岸漁業に生きる漁民のたくましい姿を、その地の自然や風土とともに紹介する。	昭和55	30分	カラー	0085
A339	古墳を訪ねて	房総には数多くの古墳がある。これらは豪族の権威と富を象徴する遺跡であり、房総は大和朝廷の時代から東国の中心的存在であったことを物語っている。房総の代表的な古墳を紹介しながら、ここから出土した服飾品や武具、また、埴輪等を通して、古くから栄えた房総とその文化を探る。	昭和55	30分	カラー	0085
A340	6月定例県議会 話題を追って	昭和55年6月定例県議会の審議風景をダイジェストして紹介する。	昭和55	30分	カラー	0085
A341	房総の車内スケッチ	街の中から山間部、また、海岸線に沿って走る電車。この電車には、車窓の変化とともに、さまざまな人々が乗ってきて、また降りてゆく。 この電車の中で織りなされる人と人とのふれあいや出逢いなど、さまざまな人間模様を描く。	昭和55	30分	カラー	0086
A342	印旛沼の集落	豊かな自然に恵まれた印旛沼の周辺には、昔ながらのたたずまいをみせる集落や長い歴史の中で培われた風俗風習が残っている。 印旛沼の周辺で行われる昔ながらの行事や祭、また、風物詩等を人々の生活とともに描く。	昭和55	30分	カラー	0086
A343	ふるさとの民唄	房総には仕事の唄、祝いの唄、童唄など、数多くの民唄が残されている。これらは、人から人へと唄い継がれてきた貴重なふるさとの財産である。 房総の民唄を紹介しながら、素朴で人情味豊かな歌詞や節回しの中から、人々の気質や生活の歴史等を探る。	昭和55	30分	カラー	0086
A344	わたしたちの海と川	急激な都市化や工業化により、大きく変わってしまった東京湾の自然を取りもどそうと、さまざまな努力が行われています。 これらの人々を紹介しながら、自然の大切さを訴える。	昭和55	30分	カラー	0086

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A345	第1回六都県市合同防災訓練	広域的な防災体制の確立を図るため、6都県市合同の防災訓練が9月1日に行われました。この訓練の様相を記録して、紹介する。	昭和55	30分	カラー	0087
A346	忍びよる魔の手 覚せい剤	全国で潜在的乱用者が約30万人にのぼり、大きな社会問題になっている覚せい剤。その実態について、覚せい剤中毒に陥った人の実例を再現することで、覚せい剤の恐ろしさとその撲滅を訴える。	昭和55	30分	カラー	0087
A347	浮世絵の創始者 菱川師宣	浮世絵は、江戸時代、日本人が創りあげた世界の美術史の上からも優れた芸術である。その浮世絵の生みの親、鋸南町出身の菱川師宣を、彼の作品やその生い立ちとともに紹介する。	昭和55	30分	カラー	0087
A348	9月定例県議会		昭和55	30分	カラー	0087
A349	民俗芸能を守る	その土地に伝わり、その土地の人々によって守られてきた房総の民俗芸能を紹介するとともに、次代へ受け継ぐ人々の姿を描く。	昭和55	30分	カラー	0088
A350	これからの農業 乾田化へのみち	農産物の生産を高めるため、県内の8割を占める湿田を改良し、作物の必要性に応じた水の管理を可能にする乾田化事業を、実際に乾田化に成功し、農業に従事している人を通して紹介する。	昭和55	30分	カラー	0088
A351	ヘッドライト	擬人化した自動車の目から見た、道沿いの景色の中からドライバー、歩行者の交通ルール、マナー全般について、注意点を指摘し事故防止を訴える。	昭和55	30分	カラー	0088

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A352	里見一族の興亡	関東征覇に夢を燃やし続けた里見一族10代、180年に及ぶ歴史を一族のたどった土地、史跡、古文書等を交えながら探ってゆく。	昭和55	30分	カラー	0088
A353	12月定例会議		昭和55	30分	カラー	0089
A354	都市を支える人々	警察の夜間パトロール、電報電話局、電力会社、消防署、水道・ガス工事など夜の町に都市の生活を支える人々の姿を、擬人化した人形の目を通して描いてゆく。	昭和55	30分	カラー	0089
A355	東京湾ものがたり	幾多の地殻変動、堆積、浸食等を繰り返かし、また、さまざまな開発により、その形を変え東京湾は現在の姿になった。 この映画では、東京湾の誕生から現在までの姿を、地学的な面から描いてゆく。	昭和55	30分	カラー	0089
A356	海の子山の子	館山小学校と群馬県水上小学校の6年生の児童が、夏は海、冬は山でスキーと互いに地元で交歓会を開き、生徒同志の友情が深まっていく様子を描いてゆく。	昭和55	30分	カラー	0089
A357	2月定例会議		昭和55	30分	カラー	0090
A358	房総の釣り	東京湾のハゼ釣り、外房の豪快な磯釣りなど、三方を海に囲まれた本県は、様々な釣りが楽しめる。 この映画では、房総の釣りの魅力を、その釣り方、マナーを交えて紹介する。	昭和55	30分	カラー	0090

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A359	さよなら桜が丘育成園	千葉リハビリテーションセンターの完成により、20年の歴史を閉じることになった「桜が丘育成園」の1年を卒園生の思い出を交えながら紹介する。	昭和55	30分	カラー	0090
A360	干潟の四季	市川市行徳の鳥獣保護区は、後楽園球場の10倍の面積をもつ広大な干潟である。 この干潟に生きる生き物の生態を、春から冬まで四季を通して追ってゆく。	昭和55	30分	カラー	0090
A361	ゆがんだ青春 暴走族	暴走族の実態について、暴走族の若者自身、その被害者、取り締まる警察、それぞれにインタビューしながら問題を取り上げ県民総ぐるみの暴走族追放を呼びかける。	昭和55	30分	カラー	0091
A362	6月定例県議会		昭和56	30分	カラー	0091
A363	波と闘う	明治から現在まで、100年間で最大400mも波で侵蝕された屏風ヶ浦。 その波と人間との闘いを、鎌倉時代までさかのぼり、歴史的に紹介する。	昭和56	30分	カラー	0091
A364	空からこんにちは 江戸川に沿って	生活の場として見慣れた風景も、少し視点を変えると新鮮な表情が現われるものである。 ここでは、習志野から船橋、市川、松戸、野田と、江戸川に沿ってその街の特徴や造形美を紹介する。	昭和56	30分	カラー	0091
A365	空からこんにちは 千葉から北総台地	県都千葉を起点として、八千代、佐倉、成田と長い歴史をもち、これからも大きく発展し続ける北総台地の街や施設を空から訪ね、町全体の姿や造型美を紹介する。	昭和56	30分	カラー	0092

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A366	調和ある発展をめざして 内陸工業団地	地元で雇用の場を確保し、地域経済の発展を促す県内70ヶ所の内陸工業団地を地域住民との関わりを交えながら、その役割とともに紹介する。	昭和56	30分	カラー	0092
A367	第2次新総合5か年計画	豊かで暮らしよい自立千葉県をめざして、第2次新総合5か年計画が策定された。 この計画の概要や県民との結びつきを紹介し、県民の理解と協力を求める。	昭和56	30分	カラー	0092
A368	房総の灯台	三方を海に囲まれた本県は、古くから海とのかかわりあいが高く、生活の糧や文化を運ぶ重要なルートであった。 この海上交通の道標となった県内の灯台の役割と歴史を地域とのかかわりを探りながら紹介する。	昭和56	30分	カラー	0092
A369	もう1つの青春 白球を追って	働きながら学ぶ定時制、通信制の高校野球の球児たち。彼らの「もう1つの甲子園」、神宮球場で行われる全国大会までの熱戦の模様を、練習風景、インタビューを交えながら紹介する。	昭和56	30分	カラー	0093
A370	9月定例県議会		昭和56	30分	カラー	0093
A371	山野の味覚	山野という自然には、四季折り折りの様々な味覚が育ち実ってゆく。その房総の山野に出向いて、山野草、木の実、きのこなどの山野の味覚を見つけ、味わってみる。	昭和56	30分	カラー	0093
A372	房総丘陵を行く	太平洋を見下ろす嶺岡浅間から、東京湾を一望する富山まで、嶺岡山系に属する300m級の房総丘陵の山歩きを楽しみながら、その人々の生活、まつりなどの風物を紹介する。	昭和56	30分	カラー	0093

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	スペース コード
A373	実測地図の礎 伊能忠敬	江戸時代後期、現代の地図とほとんど変わらない正確な地図を作り上げた房総の偉人、伊能忠敬のあまり知られていない一生を描いてゆく。	昭和56	30分	カラー	0094
A374	12月定例県議会		昭和56	30分	カラー	0094
A375	住みよい街づくり	土地区画整理事業は、道路、公園、上下水道など健康で文化的な市民生活が送れるよう区域内の施設、土地等を整備する事業である。 この事業の内容について、実例を交えながらわかりやすく紹介する。	昭和56	30分	カラー	0094
A376	木原線の走るまち	外房線、大原駅を起点として夷隅町、大多喜町と木原線沿線の町々を訪ね、日常の生活、史跡、風物等を詩情豊かに紹介してゆく。	昭和56	30分	カラー	0094
A377	房総の伝説を訪ねて 頼朝の20日間	石橋山の戦いに敗れ、相模国から安房国にわずかな兵と共に小舟で上陸した源頼朝の房総各地での20日間の行動を、数多くの史跡、社寺などに残る伝説をたどりながら探ってゆく。	昭和56	30分	カラー	0095
A378	房総の滝	安房、上総を中心に70余りある房総の滝のいくつかを四季の変化とともにとらえ、その滝にまつわる伝説や、地域の人々とのかかわりあいを変えながら紹介する。	昭和56	30分	カラー	0095
A379	2月定例県議会		昭和56	30分	カラー	0095

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A380	林道	林道、養老線を訪ね、山で働き、山とともに生きる人々の姿、いきいきと学び遊ぶ山の小学校の子供たちの様子をとらえながら、林道と人々とのかかわりあいを描く。	昭和56	30分	カラー	0095
A381	非行の芽 ツツパリ	非行予備群ともいえるツツパリ少年・少女たちの行動心理を本人たちへのインタビュー、専門家の意見を聴きながら探り、非行を防ぐには、家庭、学校、地域はどうあるべきかについて考える。	昭和56	30分	カラー	0096
A382	安全な日々を願って	高速道路の整備拡充や自動車の普及に伴い、犯罪のスピード化、広域化が進んでいる。こうした状況の中で、県内全域にわたってパトロールカーによるパトロールなど、各警察署の手薄な面をカバーしている千葉県警察本部自動車警ら隊の活動を追う。	昭和57	30分	カラー	0096
A383	6月定例県議会		昭和57	30分	カラー	0096
A384	水の道	健康や生活を守ってくれる水道水、水田や畑をうるおす農業用水、産業を育くみ豊かな生活を保証する工業用水と、水は人々にとってかけがえのないものである。これら、水のたどる過程等を描きながら水の大切さを訴える。	昭和57	30分	カラー	0096
A385	沼は訴える	手賀沼の周辺は、宅地化が激しく家庭雑排水等により手賀沼の水はアオコにおおわれ日本でワースト1の汚れた湖沼となっている。この手賀沼を20年前のきれいな水に戻すための浄化活動を紹介しながら汚濁防止を呼びかける。	昭和57	30分	カラー	0097
A386	房総海水浴事情	房総の海水浴場は、県内をはじめ関東一円からの海水浴客で賑いを見せる。ここでは、海水浴客が十分楽しめるよう砂浜の清掃、海の家修理、水難事故の監視などの様子をとらえながら、房総の海水浴場を紹介する。	昭和57	30分	カラー	0097

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ ク ロ
A387	生きている民話 印旛沼を訪ねて	利根川や印旛沼周辺の北総台地は、豊かな水資源に恵まれ栄えてきたと同時に、水との戦いの歴史でもあった。この印旛沼周辺にいまも残る「松虫姫物語」、「雨を降らせた龍」などの民話をその風土と人々の生活とともに紹介する。	昭和57	30分	カラー	0097
A388	ワンワン奮闘記	人間と犬は深い愛情で結ばれ、長い間苦楽をともにしてきた。ここでは、人間のペットとしてだけでなく、麻薬犬、盲導犬、警察犬など社会のいろいろな分野で活躍する犬を紹介しながら正しい飼い方と呼びかける。	昭和57	30分	カラー	0097
A389	手軽にきたえる	各年代にふさわしい運動を紹介しながら、健康づくりに欠かせない運動の実践を呼びかける。	昭和57	30分	カラー	0098
A390	9月定例県議会		昭和57	30分	カラー	0098
A391	笑顔のふれあい 老人家庭奉仕員	急速に高齢化社会を迎えようとしている最近、ひとり暮らしの老人や寝たきり老人をかかえた家庭を訪問し、お年寄りが少しでも暮らしやすいよう手助けをする老人家庭奉仕員の仕事を紹介する。	昭和57	30分	カラー	0098
A392	御成街道 その謎をたずねて	徳川家康が鷹狩りのために、わずか25日間で船橋から東金までほぼ直線に造らせた御成街道。この街道に残る様々な謎を探りながら、その全貌を紹介する。	昭和57	30分	カラー	0098
A393	浜辺の今昔	海と陸との境をなす海岸線が約490キロにも及ぶ千葉県。その海辺の風景は、自然の力により、また人の力によって大なり小なりその姿を変えている。その風景を、そこで繰り広げられる人間模様を交えて紹介する。	昭和57	30分	カラー	0099

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A394	12月定例県議会		昭和57	30分	カラー	0099
A395	自立への道 障害を乗り越えて	社会に参加できる技能を身につけ、自立への道を歩む身体障害者訓練校の授業、訓練風景を、訓練生の姿を通して追う。	昭和57	30分	カラー	0099
A396	サケよ帰れ 南限に挑む	昭和52年以来進められているサケの稚魚放流事業を、昭和57年春のサケの稚魚放流、秋の捕獲、採卵、授精作業の様子を紹介しながら、サケの回帰に挑む人々の姿を描く	昭和57	30分	カラー	0099
A397	2月定例県議会		昭和57	30分	カラー	0100
A398	留学生日記	21世紀を目前にして、国際間の協力がいっそう望まれる今日、千葉県でも昭和45年から本県出身の海外移住者の子弟の留学生援助を行っている。この映画では、千葉大学教育学部で特殊教育を学んでいるブラジルの女子留学生の生活ぶりを紹介する。	昭和57	30分	カラー	0100
A399	房総の詩	短歌、小説、童話などに描かれているおおらかな房総の自然を、詩情豊かに紹介する。	昭和57	30分	カラー	0100
A400	農村に生きる技	創意、工夫と汗で取り組んできた農業の時代は終わったが、農業を営む心、自然の恵みを祈る心は変わっていない。千葉の風土に応じた農村に生きる技を紹介する。	昭和57	30分	カラー	0100

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A401	この道に生きる	年々増加するがん患者に対して、高度の内容をもつ専門施設として設立されたがんセンターで働く看護歴10年の看護婦さんの生き方を、彼女へのインタビュー、働きぶりを通して紹介し、看護の道への理解を深める。	昭和57	30分	カラー	0101
A402	もう一つの交通安全 交通安全施設	交通事故防止のためには、運転者、歩行者だけの注意だけでなく、交通安全施設による力も大きなものである。 歩道、ガードレール、標識、交通管制システムなど安全に対する理解と協力を呼びかける。	昭和58	30分	カラー	0101
A403	房総農業の先覚者たち	農業粗生産額全国第三位を誇る千葉県農業。 このような千葉県農業の礎となった農業指導者たち、大原幽学、青木昆陽、穴沢松五郎、牧野万右衛門、金谷総蔵、間宮七郎平、松戸覚之助、金木精一の偉業、人となりを紹介する。	昭和58	30分	カラー	0101
A404	6月定例県議会		昭和58	30分	カラー	0101
A405	石仏は語る	道ばたや寺院・神社の境内などに残る石造物には、人々のさまざまな気持ちが託されており、地域の歴史と文化を知る上で貴重なものです。 この映画では、石造物にスポットをあて、石造物が伝える歴史や文化、信仰を紹介し、文化財としての石造物について再認識してもらおう。	昭和58	30分	カラー	0102
A406	房総の民家	昔から家は住む人の生業によって建て方を異にしてきました。 現在では失われつつある特徴を持つ古い農家、漁家、商家を訪ね、そこに生かされた知恵を探る。	昭和58	30分	カラー	0102

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ ク ラ ス
A407	房総沖巨大地震にそなえて	房総沖巨大地震の代表的なタイプで、沿岸に大きな津波被害を与えた元禄地震の記録や資料を紹介し、その教訓を通して近い将来、発生の可能性が予測されている房総沖大地震に備えようというもの。	昭和58	30分	カラー	0102
A408	古樹	長年の風雪に耐え、大地にしっかりと根を張り、空を覆うように枝を広げる古木。 清澄の千年杉、神崎の大楠など県内に残る古木の数々を訪ね、それにまつわる伝説とともに紹介する。	昭和58	30分	カラー	0102
A409	9月定例県議会		昭和58	30分	カラー	0103
A410	500万人への道のり 房総を担った先人たち	58年9月12日、千葉県人口は500万人を突破しました。 千葉県誕生から、500万人県民が住むにふさわしい千葉県になるまでのあゆみを2回に分けて紹介する。この映画は千葉県誕生から第二次大戦まで、千葉県の礎を作った先人たちを千葉県のあゆみとともに紹介する。	昭和58	30分	カラー	0103
A411	500万人への道のり 戦後のあゆみ	千葉県誕生から500万人が住むにふさわしい県へ発展を遂げた本県の、戦後から現在までのあゆみを、県政の動き、産業、文化の変遷などを中心に紹介する。	昭和58	30分	カラー	0103
A412	12月定例県議会		昭和58	30分	カラー	0103

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A413	東京湾ノリ物語	千葉県ノリ養殖は、漁場が減ったとはいえず、今なお5億5000万枚も出荷している。 このノリ養殖業の歴史を、収穫作業に従事する人々の姿をまじえて紹介する。	昭和58	30分	カラー	0104
A414	成人病予防への道 脳卒中	死亡順位のトップをがんに譲ったとはいえ依然として高い脳卒中の死亡率。 脳卒中の正しい認識の普及を図るとともに、早期発見・早期治療、自主的な健康管理の必要性を呼びかける。	昭和58	30分	カラー	0104
A415	房総地名考	地名の発生や命名は、地形、伝説、歴史などに由来する場合が多くある。県内にも、黒潮文化の伝播の跡とされるもの、明治の開墾順につけられた地名など、数多く残されている。生きた文化遺産ともいわれる地名を手がかりに、その由来や歴史を紹介する。	昭和58	30分	カラー	0104
A416	房総女性史 教育に捧げた人々	広い見識と知性ある女性を世に送り出そうと、津田塾大学を創設した津田梅子、女子美術大学の基礎を築いた佐藤しづ、助産婦教育の母ともいわれる高梨ちせ、みずみずしい感受性をもって人間教育を推し進めた平野婦美子4人の女性教育者をオムニバス形式で紹介する。	昭和58	30分	カラー	0104
A417	2月定例県議会		昭和58	30分	カラー	0105
A418	利根川早春賦	延々322キロメートル、上越国境の山々の水を集め、関東平野をゆうゆうと流れる利根川。県内の流路は100キロメートル余りもあり、流域の人々の生活にさまざまな影響を与えてきた。 早春の利根川流域を訪れ、そこではぐくまれた文化、風物、歴史などを、人々の生活をまじえ、詩情豊かに描く。	昭和58	30分	カラー	0105

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ ク ロ
A419	涼の演出家	<p>高温多湿でくらしにくい日本の夏。この季節をいかに快適に過ごすか、昔から人々はいろいろな工夫をしている。</p> <p>風を送る「うちわ」、直射日光を防ぎ風を通す「よしず」「すだれ」「花火」など、夏の風物詩を演出する職人たちの姿を追う。</p>	昭和58	30分	カラー	0105
A420	<p>生きている民話 上総地方を訪ねて</p>	<p>昔から人々の間で語り継がれている民話には、その地域特有のものの方や考え方が息づいている。</p> <p>上総地方の各地に残されている民話をもとに、風土や自然を紹介する。</p>	昭和59	30分	カラー	0105
A421	橋	<p>橋は、対岸と対岸を物理的に結ぶだけでなく、両岸の人々の生活と文化の橋わたしの役割ももっている。山本有三の真実一路にちなんで付けられた「一路橋」、ブロンズ像のある八千代市の「村上橋」、洲に板を渡して橋を造った名残を残す市川市の「つぎ橋」、村民の寄付によって造られた白浜町の「めがね橋」など、歴史とロマンを秘めた橋を紹介する。</p>	昭和59	30分	カラー	0106
A422	6月定例県議会		昭和59	30分	カラー	0106
A423	<p>房総の清流を訪ねて 湊川</p>	<p>高宕山、鹿野山、愛宕山から流れ出る支流を集め富津市湊で東京湾に注ぐ湊川は、上流部は渓谷美を誇り、下流部は古くから物資輸送に利用されてきた。</p> <p>長い歴史の中で湊川の果たしてきた役割を、渓谷を訪れる人々や流域の人々の生活の中に追いながら、湊川を紹介する。</p>	昭和59	30分	カラー	0106
A424	よみがえれ手賀沼と印旛沼	<p>58年の汚濁度一位と二位という不名誉な記録を残した手賀沼と印旛沼は、生活系排水による汚染が大きな原因となっている。</p> <p>沼に生息する植物や魚介類を紹介しながら県民一人ひとりの水質浄化への協力を呼びかける。</p>	昭和59	30分	カラー	0106

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
A425	駅前風物詩 房総の夏	夏の房総各地の駅は、レジャーや休養を求める人で大いににぎわいをみせる。ディズニーランドをかかえる浦安駅、房総丘陵の山々の自然と美しさを求め集まる養老溪谷駅、海水浴と観光のメッカとしての外房の御宿駅、そして内房の館山駅。この四駅とその周辺を散策し、夏の房総のイメージを色彩豊かに描き紹介する。	昭和59	30分	カラー	0107
A426	技術新時代の千葉県工業	工業立地条件に恵まれた千葉県は、臨海部はもとより国際空港をもつ成田地域などの内陸部にも工業団地が整備され、各種の企業が進出しはじめている。21世紀に向けての本県工業のあるべき姿を、千葉新産業三角構想などをまじえながら紹介する。	昭和59	30分	カラー	0107
A427	ちば・ふるさと賛歌 産業	温暖な気候と豊かな自然に恵まれた千葉県は、人々が生活する上で最も適しており、また、農業、漁業、工業のいずれも発展にふさわしい条件を兼ね備えている。千葉県が全国に誇れる産業をとらえ、そこで働く人々の姿をまじえ紹介する。	昭和59	30分	カラー	0107
A428	ちば・ふるさと賛歌 自然と歴史	農林水産や商工業の産業をはじめ、豊かな自然と数々の歴史を秘めた千葉県。この各分野で全国に誇るナンバーワンがある。千葉県が全国に誇る美しい自然の姿を、歴史や文化を交えて紹介する。	昭和59	30分	カラー	0107
A429	9月定例県議会		昭和59	30分	カラー	0108
A430	蒼穹を駆けぬけた男たち 房総民間航空史	明治45年5月に、房総の地、稲毛には、遠浅の海岸を利用して、日本で初めての民間飛行場が開設された。そこは、大空を飛ぶことをひたすら求め続けた多くの人々が集まり、民間航空史の一ページの幕開けの地となった。民間航空史の先駆者、伊藤音次郎を中心に、当時大空へ情熱を注いだ男たちの姿を、時代背景とともに描く。	昭和59	30分	カラー	0108

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ク ラ ス
A431	12月定例県議会		昭和59	30分	カラー	0108
A432	ポチの大冒険	犬は、一万年も前から最初の家畜として飼いならされ人間にとって最も親しみのある動物ですが、最近では、飼い主の安易さから捨てたり、処分したりと、犬にとっては不幸な状況になっている。犬の習性や飼い主が守らねばならない事からを、わかりやすく紹介する。	昭和59	30分	カラー	0108
A433	房総探訪・ふるさとの味	食生活は、生きるものすべての原点。人と人と集まるところには、さまざまな食生活文化が生まれ育つ。千葉県は、海の幸、山の幸、里の幸と豊かな自然の産物に恵まれ、それを生かした味が各地に生まれ育っている。潮の香りが漂う海岸線を探訪し、その地域の素朴な味を求め紹介する。	昭和59	30分	カラー	0109
A434	2月定例県議会		昭和59	30分	カラー	0109
A435	心のきずなを結ぶ 母子福祉推進員	都市化がますます進む現代社会の中で、社会環境の変化とともに、離婚による母子家庭が急増し、厳しい社会状況のもと、経済的な面に限らず、社会的にも、精神的にも、多くの問題を抱えている。母と子の支えとなるべく活動する母子福祉推進員A子さんの一日を追い、母子家庭の問題点、母子寡婦福祉資金貸付制度の概要などを描く。	昭和59	30分	カラー	0109
A436	ふるさと・ちば 四季	房総の	昭和59	30分	カラー	0109

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ ク ロ
A437	日本見聞録 ドン・ロドリゴと御 宿・大多喜	今から370年前、メキシコに向かう「サンフランシスコ号」が暴風雨に遭い、現在の御宿沖で難破した。海岸に漂着したドン・ロドリゴら乗組員の命を救ったのは、村人たちであった。 ロドリゴ自身が記した「日本見聞録」をもとに、当時の御宿と大多喜を紹介する。	昭和59	30分	カラー	0110
A438	小櫃川	房総第二番目の高さを誇る清澄山を源とする小櫃川。その流域には、渓谷美をみせる不動滝や城下町として知られる久留里、さらには古代の人々の営みをしのばせる菅生遺跡など変化に富んだ風景がみられる。新緑に映える小櫃川を流域の史跡や豊かな自然とともに紹介する。	昭和60	30分	カラー	0110
A439	利根運河 その歴史と姿	利根川と江戸川を結ぶ利根運河は明治23年に完成、流山、野田、柏の3市を横切り全長8.3キロにも及び日本土木史上最大の歴史遺産である。 利根運河の生みの親、オランダ人ムルデルを通して、運河が果たしてきた役割などを紹介する。	昭和60	30分	カラー	0110
A440	一茶の房総行脚	江戸時代の俳人 小林一茶。彼が当時東葛飾、内房をはじめ、東端の銚子、南端の千倉など房総の各地に足を運び数々の俳句を残しているのはあまり知られていない。 一茶が房総を俳諧行脚して残した俳句や日記をもとにその足跡を追いながら一茶の人となりを描く。	昭和60	30分	カラー	0110
A441	わざ 下総の伝統工芸	豊かな房総の大地には、各地域で長い間はぐくまれてきた伝統的工芸品が数多くある。 昔から受け継がれてきた伝統工芸の技術の中から、下総地域の「技」を取り上げ、職人たちの人となりとともにその「技」を紹介する	昭和60	30分	カラー	0111
A442	6月定例県議会		昭和60	30分	カラー	0111

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A443	房総の捕鯨	江戸時代から房総は、紀伊などと並ぶ捕鯨基地を持ち近海での捕鯨が盛んに行われてきた。なかでも鋸南町勝山の捕鯨家醍醐新兵衛は、洋式の近代技術を導入しわが国の捕鯨の発展に大きく貢献した。 房総で唯一和田町に残る捕鯨の模様や醍醐新兵衛の業績を追い、房総での捕鯨の歴史を紹介する。	昭和60	30分	カラー	0111
A444	伝説の海 勝浦・天津小湊	千葉県の変化に富んだ海岸線は、訪れる人々の目を楽しませてくれる。 この映画は、「房総の海シリーズ」第一回として、外房海岸の雄大な景観をみせる勝浦市から天津小湊町までの海岸線を訪ね、おせんころがし、官軍塚などの愁いを秘めた史跡とともに伝説や歴史を紹介する。	昭和60	30分	カラー	0111
A445	安全を願って 高速道路交通警察隊	昭和60年9月の道路交通法の改正により、高速道路等でのシートベルト着用が義務づけられた。 この映画では、高速道路の利用者の生命を守る高速道路交通警察隊の活動を追いながら、交通事故の悲惨さやシートベルト着用の大切さを訴える。	昭和60	30分	カラー	0112
A446	走れ木原線	昭和56年、特定地方交通線に指定され存続が危ぶまれている国鉄木原線。沿線ののどかな田園風景や史跡と、駅員や利用者など鉄道をささえている人々の姿を通して木原線の魅力を紹介する。	昭和60	30分	カラー	0112
A447	9月定例県議会		昭和60	30分	カラー	0112
A448	房総の味 太巻ずしのルーツ	温暖な気候と豊かな自然に恵まれた千葉県は、豊富な海の幸、山の幸を生かした食文化が根づいている。 その一つ、千葉独特の色鮮やかな模様の太巻ずしの作りかた楽しみかたを、ずしの歴史を探りながら紹介する。	昭和60	30分	カラー	0112

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
A449	ふるさとに緑を 第9回全国育樹祭	昭和60年11月、富津岬で皇太子同妃両殿下を迎えて全国育樹祭が開催された。この映画は、育樹祭の模様を記録するとともに、千葉県の実業後継者の姿をおりまぜながら、森林保護の大切さを訴える。	昭和60	30分	カラー	0113
A450	12月定例県議会		昭和60	30分	カラー	0113
A451	黒潮との語らい 九十九里浜	大自然が作りあげた地形美、九十九里浜。ここはまた江戸時代から地引網を中心としたイワシ漁が盛んにおこなわれた。この映画は、九十九里浜の美しい自然の姿とともに、独特のイワシ文化やその歴史を紹介する。	昭和60	30分	カラー	0113
A452	房総新時代への出発 ふるさと千葉5か年計画	21世紀に向けての長期ビジョン「2000年の千葉県」にもとづく最初の総合5か年計画・ふるさと千葉5か年計画が昭和61年にスタートする。この映画は、6プロジェクトで構成される5か年計画の目標と施策を描き県民の理解と協力を呼びかける。	昭和60	30分	カラー	0113
A453	2月定例県議会		昭和60	30分	カラー	0114
A454	近代医学への道 蘭医・佐藤泰然	めざましい進歩を遂げている日本の医学。この礎を築いた先人の中に一人の偉大な西洋医、佐藤泰然がいる。佐倉に日本初の私立病院「順天堂」を創設し、優れた医療を行うとともに多くの医学者を輩出し近代医学の第一歩をしるした佐藤泰然の人物像を描く。	昭和60	30分	カラー	0114

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ ク ロ
A455	東京湾賛歌	浦安市から富津市に至る東京湾沿岸一帯は、埋め立てによって大きく変貌する一方、干潟など自然の宝庫も残されている。 この映画では、埋め立てにより、著しく変化した浦安から富津までの海岸線の姿を全編空撮で紹介する。	昭和60	30分	カラー	0114
A456	私の小さな旅 南房総バス紀行	南房総、大原の朝市、御宿の月の砂漠、養老溪谷、館山、鋸山などの観光地、風物等を路線バス等で巡りながら、意外に楽しめるバス旅行を紹介する。	昭和61	30分	カラー	0114
A457	6月定例県議会		昭和61	30分	カラー	0115
A458	古街道を行く 鮮魚街道、御成街道、 成田街道	房総各地には、江戸時代に発達した旧街道が数多く残っている。その中から、銚子でとれた鮮魚を大消費地江戸に運ぶ鮮魚街道、家康が鷹狩りのために作らせたという御成街道、成田山参りの人々でにぎわった成田街道の3街道を取り上げ紹介する。	昭和61	30分	カラー	0115
A459	明けゆく千葉港	千葉港は、千葉ポートタワーをシンボルとした千葉ポートパークの建設など人々に親しまれる港として整備を進めている。県民の日会場としての人々とのふれあいや工業港から商業港へとその機能を変える同港を紹介する。	昭和61	30分	カラー	0115
A460	9月定例県議会		昭和61	30分	カラー	0115

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ ク ロ
A461	伝統の技 日本情緒の演出者	房総には、その豊かな風土に育まれた伝統的工芸品が数多くあり、今も継承されている。ここでは、市川市の「行徳神輿」としょう油の町、野田市の「野田和樽」を取りあげ、これらの歴史や職人たちの技について、伝統行事、祭礼、婚礼などとともに紹介する。	昭和61	30分	カラー	0116
A462	12月定例県議会		昭和61	30分	カラー	0116
A463	2月定例県議会		昭和61	30分	カラー	0116
A464	房総詩情 わらべ歌の旅	野田市が発祥の地といわれる「かごめかごめ」を始め、本県を舞台につくられたわらべ歌を、その地方特有の郷土料理や自然の景観、風土、そして人々の表情等を交えて詩情豊かに紹介する。	昭和61	30分	カラー	0116
A465	まちを守るのはあなた 自主防災組織	地域住民による自主的な防災活動や自主防災組織の普及をとらえることにより、県民の防災意識の高揚を図るとともに、企業における自主防災体制について紹介する。	昭和61	30分	カラー	0117
A466	新・産業県千葉	本県の工業団地と、そこに立地する稼働中の先端技術産業、将来計画を解説し、日本のリーダー基地をめざす本県の工業のあり方について紹介する。	昭和61	30分	カラー	0117

## 県広報映画：テレビ放送用映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ ク ラ イ ブ
A467	体にいいことしてる？	毎日の暮らしの中で、積極的に自分の健康を管理している職場のスポーツ活動、老人の健康クラブ、障害者の健康体力づくりなど自分自身のために体にいいことをしているグループを紹介する。	昭和61	30分	カラー	0117
A468	千葉県の姿	自然、産業、文化、国際化等、今日の千葉県の姿を、新産業三角構想、東京湾横断道路などの将来の本県の姿とともに紹介する。なお、この作品は、英語版のナレーションでも制作し、本県を訪れる外国人を対象に千葉県の姿を知ってもらい、国際交流の一助とする。	昭和61	30分	カラー	0117
A468	千葉県の姿 CHIBA PREFECTURE	英語版	昭和61	30分	カラー	0118

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	フィルム
B001	千葉県政ニュース	千葉県自治会館落成、一日里親、房総めぐり展、海のGメン、のびゆく京葉工業地帯	昭和27	10分	モノクロ	0119
B002	千葉県政ニュース	ゆたかな地下資源、町から村から、待望の電力導入、あわびとてんぐさ、手から口へ、大利根用水	昭和27	10分	モノクロ	0119
B003	千葉県政ニュース	県立公園、500万円のレーキー号、あすへの希望、魚供養、パトロールカー、かがり火をかこんで	昭和27	10分	モノクロ	0119
B004	千葉県政ニュース	15万ボルト、もりあがる生活改善運動、水防演習、道路建設と碎石工場、稲の大敵二化めい虫、木更津と千葉市の港祭り	昭和27	10分	モノクロ	0119
B005	千葉県政ニュース	空から見た県都、ただひとつの金メダル、全国にさきがけて、新しい議長、秋まつり、防火の守り、畑地かんがいと供出米	昭和27	10分	モノクロ	0119
B006	千葉県政ニュース	知事新代議士を招く、供出米折衝、港湾建設、健康を守る人々、林道開設と木炭生産	昭和27	10分	モノクロ	0120
B007	千葉県政ニュース	力をあわせて、農業共進会、のりの生産	昭和27	10分	モノクロ	0120
B008	千葉県政ニュース	新春を迎えて、春にさきがけて、消防演習、働く人々のために、あけゆく開拓地	昭和27	10分	モノクロ	0120
B009	千葉県政ニュース	成人の日を迎えて、農業協同組合、おやつ、これはやかんです、べっちゃん、飛雪をあびて	昭和27	10分	モノクロ	0120

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	形式
B010	千葉県政ニュース	せつぶん、ネズミ退治、県政懇談会、若人ブラジルへいく、橋の改築、のどじまん大会	昭和27	10分	モノクロ	0120
B011	千葉県政ニュース	帰国者に暖かい手を、28年度予算成立、植樹祭(タイトルのみ)	昭和28	10分	モノクロ	0121
B012	千葉県政ニュース	60年ぶりの弁天まつり、新しい村へ、子どもを幸福に、あなたの一票、房州よいとこ	昭和28	10分	モノクロ	0121
B013	千葉県政ニュース	両陛下県内御巡幸、けいさつ学校、県町村会総会、あっぱれ赤ちゃん、希望あらたに、すだて	昭和28	10分	モノクロ	0121
B014	千葉県政ニュース	新しい漁場へ、水郷をたずねて、房州のびわ、千葉港に第一船	昭和28	10分	モノクロ	0121
B015	千葉県政ニュース	水道、いこいの家、よい歯は健康のもと、海のトラクター	昭和28	10分	モノクロ	0121
B016	千葉県政ニュース	水魔にそなえて、みんな幸せに、シルク生産、おまつり	昭和28	10分	モノクロ	0122
B017	千葉県政ニュース	めずらしいかんがい、農協学園、ブタのよめいり、海山の幸からカルシウムを	昭和28	10分	モノクロ	0122
B018	千葉県政ニュース	凶作をこえて、あくまの針、あつ、あぶない!	昭和28	10分	モノクロ	0122

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	フィルム 番号
B019	千葉県政ニュース	あさもやついて、栄養の学校、千葉もめん、明るいはげみ	昭和28	10分	モノクロ	0122
B020	千葉県政ニュース	海のギャング、カマスの改良、むだのない生活、冬にいどむ	昭和28	10分	モノクロ	0122
B021	千葉県政ニュース	南の海から5万貫、婦人消防隊、予算県議会を開く、オートレース	昭和28	10分	モノクロ	0123
B022	千葉県政ニュース	わが子をすこやかに、秩父宮妃お成り、ある日の木更津基地、神幸祭	昭和29	10分	モノクロ	0123
B023	千葉県政ニュース	夏の衛生、松毛虫、はかりと生活、お田植祭	昭和29	10分	モノクロ	0123
B024	千葉県政ニュース	第25回都市対抗野球大会南関東大会、すだて、金魚、郷土の建設	昭和29	10分	モノクロ	0123
B025	千葉県政ニュース	垣をこえて(市町村合併)、両総用水、農業、なつきたる、高血圧調査	昭和29	10分	モノクロ	0123
B026	千葉県政ニュース	かますづくり腕くらべ、夏にきたえる、水難救助、養蚕教室、千葉神社大祭	昭和29	10分	モノクロ	0124
B027	千葉県政ニュース	できあがった新增田橋、供米すすむ、たちあがる人々	昭和29	10分	モノクロ	0124

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	フィルム 番号
B028	千葉県政ニュース	人形劇、ローカル号、原種農場、干潟八万石	昭和29	10分	モノクロ	0124
B030	千葉県政ニュース	火の用心、がんの早期発見、あらたなはげみ、村の放送局、花ぞの列車	昭和29	10分	モノクロ	0124
B031	千葉県政ニュース	選ばれた人々(県会議員選挙)、新生活序章、春がきた浜に町に	昭和30	10分	モノクロ	0125
B032	千葉県政ニュース	いこいをもとめて、議員大会、出水期をひかえて、さば漁	昭和30	10分	モノクロ	0125
B033	千葉県政ニュース	総合職業訓練所、10月1日、牛乳と強化米、新生活第2章	昭和30	10分	モノクロ	0125
B034	千葉県政ニュース	豊年だ・満作だ、南米へ房総丸、ケーブル、国体に輝く千葉	昭和30	10分	モノクロ	0125
B035	千葉県政ニュース	年頭のあいさつ、健康グループ、婦人大会、建設進む京葉工業地帯、中国のお客さん、土地改良	昭和30	10分	モノクロ	0125
B036	千葉県政ニュース	伸びゆく千葉県(第1集)	昭和31	10分	モノクロ	0126
B037	千葉県政ニュース	伸びゆく千葉県(第2集)	昭和31	10分	モノクロ	0126
B038	千葉県政ニュース	伸びゆく千葉県(第3集)	昭和31	10分	モノクロ	0126

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	フィルム 番号
B040	千葉県政ニュース	すいどう	昭和31	10分	モノクロ	0126
B041	千葉県政ニュース	お互いに親切にしましょう	昭和31	10分	モノクロ	0126
B042	千葉県政ニュース	たべもの	昭和32	10分	モノクロ	0127
B043	千葉県政ニュース	皇太子殿下のお成り	昭和32	10分	モノクロ	0127
B044	千葉県政ニュース	力をあわせて	昭和32	10分	モノクロ	0127
B045	千葉県政ニュース	千葉県の道路	昭和32	10分	モノクロ	0127
B046	千葉県政ニュース	知事ヴェネズエラへ出発、基地を守る人たちに新しい仕事を、草牧と牛、農山漁村青年建設隊	昭和32	10分	モノクロ	0127
B047	千葉県政ニュース	知事中南米の視察から帰る、結婚相談所、治山砂防、流感予防の備え	昭和32	10分	モノクロ	0127
B048	千葉県政ニュース	ベトナム医療班、香取神宮、がんの集団検診、2600年祭	昭和33	10分	モノクロ	0128
B049	千葉県政ニュース	施設のこども楽しい一日、干害と塩害、新代議士招待会	昭和33	10分	モノクロ	0128
B050	千葉県政ニュース	活動する千葉畜産工業、身体障害者のためのしい家、農村への巡回健康相談、台風期にそなえて	昭和33	10分	モノクロ	0128

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	フィルム 番号
B051	千葉県政ニュース	選ばれた知事、育ちゆく里親制度、台風 の被害70億円、改正された交通規則	昭和33	10分	モノクロ	0128
B052	千葉県政ニュース	千葉県の土地改良	昭和33	10分	モノクロ	0128
B053	千葉県政ニュース	五井地区の工場建設はじまる、みのって きた新生活運動	昭和33	10分	モノクロ	0128
B054	千葉県政ニュース	千葉県の漁業	昭和34	10分	モノクロ	0129
B055	千葉県政ニュース	青少年をすこやかに	昭和34	10分	モノクロ	0129
B056	千葉県政ニュース	交通安全	昭和34	10分	モノクロ	0129
B057	千葉県政ニュース	県営水道	昭和34	10分	モノクロ	0129
B058	千葉県政ニュース	地下資源	昭和34	10分	モノクロ	0129
B059	県民の窓 千葉県政ニュース	新しい農業	昭和35	10分	モノクロ	0130
B060	県民の窓 千葉県政ニュース	火の用心	昭和35	10分	モノクロ	0130
B061	県民の窓 千葉県政ニュース	私たちの結婚相談	昭和35	10分	モノクロ	0130
B062	県民の窓 千葉県政ニュース	私たちの道路	昭和35	10分	モノクロ	0130

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
B063	県民の窓 千葉県政ニュース	私たちの道路	昭和35	10分	モノクロ	0130
B064	県民の窓 千葉県政ニュース	小児まひ	昭和36	10分	モノクロ	0131
B065	県民の窓 千葉県政ニュース	職業訓練	昭和36	10分	モノクロ	0131
B066	県民の窓 千葉県政ニュース	房総の無形文化財	昭和36	10分	モノクロ	0131
B067	県民の窓 千葉県政ニュース	みんなでなくそう交通事故	昭和36	10分	モノクロ	0131
B068	県民の窓 千葉県政ニュース	明るい生活のために	昭和36	10分	モノクロ	0131
B069	県民の窓 千葉県政ニュース	建設進む京葉工業地帯	昭和37	10分	モノクロ	0132
B070	県民の窓 千葉県政ニュース	火災への備え	昭和37	10分	モノクロ	0132
B071	県民の窓 千葉県政ニュース	千葉県の漁港	昭和37	10分	モノクロ	0132
B072	県民の窓 千葉県政ニュース	第1線に働く人々	昭和37	10分	モノクロ	0132
B073	県民の窓 千葉県政ニュース	県政はみんなのもの	昭和37	10分	モノクロ	0132
B074	県民の窓 千葉県政ニュース	みんなの県政	昭和38	10分	モノクロ	0133
B075	県民の窓 千葉県政ニュース	東京湾に橋をかけよう	昭和38	10分	モノクロ	0133

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	フィルム 番号
B076	県民の窓 千葉県政ニュース	もうかる農業への道	昭和38	10分	モノクロ	0133
B077	県民の窓 千葉県政ニュース	あかるく元気に	昭和38	10分	モノクロ	0133
B078	県民の窓 千葉県政ニュース	内職で楽しい暮らしを	昭和38	10分	モノクロ	0134
B079	県民の窓 千葉県政ニュース	私は道路	昭和38	10分	モノクロ	0134
B080	県民の窓 千葉県政ニュース	農協合併	昭和38	10分	モノクロ	0134
B081	県民の窓 千葉県政ニュース	みんなで郷土を美しく	昭和38	10分	モノクロ	0134
B082	県民の窓 千葉県政ニュース	わたしの選んだ道	昭和39	10分	モノクロ	0135
B083	県民の窓 千葉県政ニュース	県民の歌	昭和39	10分	モノクロ	0135
B084	県民の窓 千葉県政ニュース	漁業の開発	昭和39	10分	モノクロ	0135
B086	愛の献血	私たち人間の生命の源である血。そして血は私たち人間の連帯の絆であり、献血とはこうした崇高な人間性によるものである。この映画では、横芝町青年団の愛の献血運動が町ぐるみの献血運動にまで発展するプロセスを中心に描き献血の重要性を訴えてゆく。	昭和40	10分	モノクロ	0136
B087	明日を明るく	県には身体障害者が大ぜいいる。これらの人たちが施設に収容され、その施設の中でいろいろと訓練され、社会復帰を旨ざして頑張っている。	昭和40	10分	モノクロ	0136

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	フィルム 番号
B090	住みよい郷土	産業が発展し生活が豊かになった反面、産業公害が次第に私たちの健康を脅やかすようになり、これまで美しい緑と太陽に恵まれていた郷土も次第に汚染されようとしている。この映画では、県の公害防止対策とそれにとり組む調査員の活躍を中心にその方向性を描いてゆく。	昭和41	10分	カラー	0137
B091	体力づくり	文明が高度に発展し、生活が便利になってゆくとつれ私たちは歩くことを忘れ、次第に体力を失いつつある。また合理化された生産組織のなかで精神的、肉体的に疲労を蓄積し健康を害している。この映画では、県内の体力づくりに励む人々の姿を明るいテンポで描いてゆく。	昭和41	10分	モノクロ	0137
B092	火魔を追っばらえ	一瞬の油断から多くの人命と財産を焼き尽くす火災は人口が増加するにつれますます増えてゆく傾向にある。県と消防署ではこれまでの火災の教訓から幾つもの対策を重ねてきているが、この映画では、防火対策を中心に描きながら県民に防火思想をひろめてゆく。	昭和41	10分	モノクロ	0137
B093	つちおと	首都圏が膨張し、産業と文化が集積されるにつれて急速な人口増を経験する本県では、住宅需要がうなぎのぼりに増加し、根本的な住宅建設が急務とされている。この映画では、県の住宅政策の現状と将来のビジョンを中心にたくましい住宅建設のつちおとを描いてゆく。	昭和41	10分	モノクロ	0137
B094	未来へはばたけ	明日の社会の担い手である青少年には、何よりも健全な身体と精神のかん養が必要である。この映画では、こうした未来へはばたく青少年の育成をめざす学校教育、社会教育の現状を中心に今後の指針を探る。	昭和42	10分	カラー	0138
B095	新しい農業	昭和30年代にはじまる高度成長経済のカゲに転換をせまられていた農業は効率化、合理化をめざしていま大きく変化しようとしている。この映画では、農業改善のテーマを主眼に、協同作業、協同出荷、協同購入、いわゆる三協運動の現況を探る。	昭和42	10分	モノクロ	0138
B096	明日への道路	京葉臨海工業地帯の本格的な稼働、そして産業、文化、人的交流の拡大にともなって道路はますますその機能を高め、高速道路の建設、道路舗装などが急務とされている。この映画では、躍進をつづける千葉県の新しい交通網の整理計画をプロフィールしてゆく。	昭和42	10分	カラー	0138

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	フィルム 番号
B097	技術者をめざして	かつては農業、水産が産業の中心であった本県も臨海工業地帯の造成とともに工業化が進み、それにしたがって工業技能者の需要も高まってきた。この映画では、産業開発の担い手である技能労働者の問題を職業訓練所を通して描いてゆく。	昭和42	10分	モノクロ	0138
B098	追放	悲惨な交通事故が相次ぐ今日である。この映画は、交通事故のなまなましい事実を描きながら、県が積極的に取りくむ事故防止の諸対策、交通環境の整備、交通安全の思想高揚をPRすると共に少しでも県民を交通事故から守るために、交通社会の協力を願う。	昭和43	10分	カラー	0139
B099	すすむ公害対策	県内では、ますます大規模で複雑な公害問題が発生している。こうした公害の実態をとらえながら、県が対処する公害対策をPRすると共に、企業側の積極的な公害防止の技術開発と取り組む姿を描いてゆく。	昭和43	10分	カラー	0139
B100	おそろべきシンナー乱用	シンナー、接着剤の乱用は、全国の青少年の間で急激に拡がり、大きな社会問題となっている。ここでは、シンナー、接着剤の有害性と乱用と実態(再現)を描き、現実を県民に再認識させて乱用の防止を訴える。	昭和43	10分	カラー	0139
B101	住みよい街づくり	急速な工業化、都市化のなかで、私たちの生活環境は悪化する一方である。この映画では、県内の宅地造成の実状を紹介しながら、特に都市化の激しい地区にもスポットをあて、公共用地の確保に貢献したモデル地区を通して県民に区画整理事業を認識してもらう。	昭和43	10分	カラー	0139
B102	千葉県の水	近年、都市用水需要は急激に増加している。これらの需要を満たすため県では積極的に水資源の開発に取りくんでいる。この映画では、水資源の開発と既得利水の合理化、将来の水需給体制をキャンペーンする。	昭和44	10分	カラー	0140
B103	若い力	千葉県の産業の驚異的な発展には、進出企業の工業開発に負うところが大きい。しかし工業の発展にともない新しい問題が出てきた。若年労働者の不足である。この映画はこうした工業開発にいとむ若い力の姿と問題をとらえながら、工業化へのプロフィールを描く。	昭和44	10分	カラー	0140

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	フィルム 番号
B104	明るく元気に	経済的、精神的、肉体的に苦しんでいる老人にとって老人福祉施設への依存度は高い。県では、こうした老人対策を社会福祉の一環として、老人の環境づくりに諸施策をほどこしている。それと共に、敬老精神をキャンペーンする。	昭和44	10分	カラー	0140
B105	豊かな漁業へ	千葉県の漁業は大きく変わり、現在は近代漁業への転換期にあるが、沿岸漁業への依存度は昔も今も変わらない。そこで、県では漁場造成や栽培漁業への脱皮を図っている。ここでは漁業の振興を図る諸対策をPRし、漁業が当面している課題を提示し協力を得るテーマで描いてゆく。	昭和44	10分	カラー	0140
B106	エキスポ'70千葉県の日	1970年大阪千里丘陵を舞台に開催された、世界の祭典、日本万国博。開催期間中6月3日から6日までは「千葉県の日」であった。この映画は、「EXPO'70」と「千葉県の日」をレポートしたものである。	昭和45	10分	カラー	0141
B107	われら社会の護り	県民の生命と財産を守るため日夜活躍をつづける警察官は、多くの危険のなかでその職務の重さを自覚している。この映画では、県民生活と密接なつながりをもつ警察官の活躍を警察学校での若い警察官の姿を中心に描いてゆく。	昭和45	10分	カラー	0141
B108	房総の海と山と	千葉県は美しい海と緑の山に恵まれた観光資源の豊かな地である。夏の雄大な九十九里浜、そして春から秋にかけて様々な装いをみせる嶺岡山系の美しさ…。この映画は房総の海と山を感動的に描き、県の観光開発の方向性を解説する。	昭和45	10分	カラー	0141
B109	かしこい消費者	大量消費時代を迎えた今日、消費者はみせかけの商品に戸惑わされることなく、商品の内容、品質をみきわめる知識をもつことが必要だ。この映画では、婦人学級や生活学級で学習する婦人たちの姿を紹介しながら、かしこい消費者への条件を考える。	昭和45	10分	カラー	0141
B110	太陽がいっぱい	県内のレクリエーション地、南房パラダイス、県民の森、そしてこどもの国。そこにはさんさんとふりそそぐ太陽と緑がいっぱい。この映画では、明るい房総のレクリエーション地で自然との対話を楽しむ人々の姿を中心にその施設を紹介してゆく。	昭和46	10分	カラー	0142

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	フィルム 番号
B111	移りゆく東京湾	浦安市から富津市までの東京湾の海岸線は京葉臨海工業地帯の造成によってその姿を大きく変えた。この映画では、昔から県民の心をいやし楽しませてきたノリ、すだて、潮干狩り、金魚売りなど消えようとする姿と巨大な団地、工場、工業港などの新しい姿を紹介してゆく。	昭和46	10分	カラー	0142
B112	房総の林業	千葉県は3分の1が森林である。山林は木材としてばかりでなく、水資源のかん養、治山、やすらぎとうるおいを支える生活環境など、その役割は大きい。さらに都市化、工業化の進展とともに木材資源の需要は増大している。この映画では、林業の振興をはかる県の施策を紹介してゆく。	昭和46	10分	カラー	0142
B113	明日への農業	都市化、工業化が進む本県では稲作転換など農業そのものの体質改善が急務とされている。この映画では、将来における本県の農業が対応する土地基盤の整備、成長作物の選択的拡大、農業構造の改善などの問題について県の施策を解説する。	昭和46	10分	カラー	0142
B114	千葉県の道路	産業の急速な成長は、千葉県の道路事情を大きく変えた。そして、それに対応する道路建設、道路整備が重点的に推進されている。この映画では、県民生活の基盤である道路をとりあげ、道路概況、道路建設事業等を紹介する。	昭和47	10分	カラー	0143
B115	新しい街づくり	膨張する首都圏のなかで、千葉県は工業化、都市化へのテンポを早めている。とくに人口の集中は激しく、県下の住宅、宅地の問題が大きくクローズアップされてきた。この映画では、都市計画の問題として、土地区画整理事業、ニュータウン建設、再開発などの現状を紹介する。	昭和47	10分	カラー	0143
B116	成功させよう若潮国体	昭和48年、本県で開催される若潮国体。この若潮国体をめざして関係者、選手の準備や調整が進み、また県民運動も盛りあがってきている。この映画では、鹿児島での第27回"太陽国体"の模様を描くとともに、県民運動、会場整備の現況を紹介する。	昭和47	10分	カラー	0143

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ナイス ク ラ ス
B117	冬の南房総 花いっぱい	近代農業をめざしすばらしい躍進を続ける千葉県。なかでも南房総の美しいお花畑や、ハウスを舞台にくり上げられる「花の栽培」は全国的な規模と水準を誇っている。この映画では、集団産地の造成、共販体制など合理化、近代化への道を歩む千葉県の園芸を紹介する。	昭和47	10分	カラー	0143
B118	みどりの房総	日ごとに自然が失われていく今日、あらためて自然と人間生活の調和が叫ばれている。千葉県は首都圏に残された貴重な「緑と太陽の空間」である。千葉県のあらゆる空間であらゆる条件を克服して緑を守り、緑を創り出す努力が続けられている。美しい自然を背景に、「みどりの房総」への歩みを紹介してゆく。	昭和48	10分	カラー	0144
B119	夏のちびっ子天国	ちびっ子たちがまちに待った夏。ちびっ子たちの人気を集めた「横芝海のこどもの国」「富津公園ジャンボプール」「千葉海のこどもの国・わんぱくランド」。スリル満点のスライダープール、ゆるやかな水の流れる流水プール、大波・小波がやってくる造波プールに歓声があがる。夏の「海の子どもの国」の活況を紹介する。	昭和48	10分	カラー	0144
B120	若潮に踊る 国体ハイライト	「輝く心、輝く力、輝く太陽」をスローガンに第28回国民体育大会(若潮国体)が昭和48年、千葉県で開催された。水の精鋭たちによって熱戦がくりひろげられた夏季大会・県陸上競技場を中心に県下60の会場で行われた秋季大会。千葉県は念願の総合優勝をなし遂げた。国体の模様をダイジェストしたもの。	昭和48	10分	カラー	0144
B121	黒潮に幸を求めて 冬の漁業	真冬の房総の海に踊る銀鱗。漁師たちの勇壮な海との闘いが続く房総沖。サバ、サンマ、イワシ、そしてイナダ、漁師たちの網を引く手に力が入る。一方、活発な水揚げが続く銚子港は、東洋一の漁港づくりをめざし着々と工事が進んでいる。厳しい冬の海を背景に漁師たちのかぎりない海との闘いを描く。	昭和48	10分	カラー	0144
B122	あなたも違反者	交通事故はちょっとした心のゆるみから。その一瞬の不注意が貴重な生命を奪い、永遠に消えることのない悲しみを生み出す。ドライバーや歩行者は正しく交通法規を守っているだろうか。ドライバー、歩行者の様々な行動を追いながら、交通ルール遵守をキャンペーンする。	昭和49	10分	カラー	0145

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	クレジット
B123	公害パトロール	急速な工業化、都市化に伴い、大気汚染、水質汚濁、地盤沈下などの公害現象が県民生活を脅かし、さらに光化学スモッグや二次汚染など新しい現象の発生は重大な環境問題となっている。公害監視体制、発生源規則など、県の公害対策について解説する。	昭和49	10分	カラー	0145
B124	湖沼の秋	晩秋の印旛沼・手賀沼に漂うしめやかな気配。美しい自然に恵まれたこの地は多くの文人たちに愛された。またこの沼は古くより漁業が発達し、静かな湖面では豊富な魚類を求めて小船がくり出している。印旛沼・手賀沼の秋の詩情を綴りながら、変ぼうする周辺の様相を描く。	昭和49	10分	カラー	0145
B125	フライト房総'75	人口400万人を突破し、あらゆる分野でたくましく発展を続ける千葉県。海に陸に、房総は刻々とその姿を変えてゆく。空撮による立体的な映像を用いながら、房総の自然と人々の様々な表情を描き、その中に流れるエネルギーな力と詩情を映像化する。	昭和49	10分	カラー	0145
B126	房総民謡の旅	房総には、多くの人々に口づたいに受け継がれてきた多くのふるさとの民謡(うた)がある。それは房総の先人たちが海に、山に、田に労働の詩として、あるいは生活の詩として唄ったものである。この映画では、自然と人々の生活を詩情的に描きながら民謡とその背景を紹介してゆく。(やんさ節・房総追分・田植唄)	昭和50	10分	カラー	0146
B127	山のガードマン 林業改良指導員の一日	房総は美しい海と山に恵まれた自然の宝庫である。ここ房総の屋根ともいわれる西部鹿野山付近は豊かな森林資源に恵まれている。この資源を守り育てる林業改良指導員が今日も活躍している。夷隅支庁に勤務する林業改良指導員君塚善利氏を通して、本県の林業についてルポ的に解説する。	昭和50	10分	カラー	0146
B128	江戸川詩情 矢切の渡し	徳川時代から代々受け継がれ歴史を誇る「矢切の渡し」。この渡し場付近には、豊かな田園風景がひろがり、散策、釣り、サイクリングにと人々の憩う姿が絶えない。この渡しは、作家伊藤左千夫の小説「野菊の墓」の舞台ともなり、今なお情緒をかもしだしている。この映画は、秋の江戸川詩情を格調高く描く。	昭和50	10分	カラー	0146

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	アクセス 番号
B129	手描き友禅に生きる	優雅で格調高い友禅染。この道60年一筋に生きる友禅模様師富塚善吉氏がいる。富塚氏の作品は、宮崎友禅の創案による流れをくみ「花鳥・山水の文様」を写実的に豊富な色彩で染める。この映画は、友禅に魅せられて生きる一人の友禅模様師を詩的な映像フィーリングで描く。	昭和50	10分	カラー	0146
B130	人形ひと筋に生きる	ぼっちゃんした肉づき、真白な肌、愛らしい目鼻だちの御所人形。伝統的な人形製作を続けて65年、原米州氏はその胡粉仕上の技法が国の文化財に指定されている。人形づくりの姿を通して、原氏のプロフィールを描く。	昭和51	10分	カラー	0147
B131	駅前自転車考	バイコロジーブームと、駅から遠い宅地の造成によって、駅前の自転車放置が問題になっている。東葛地域を中心に、駅前自転車の起す波紋と市や町の対応を描きながら、この問題を考える。	昭和51	10分	カラー	0147
B132	史跡を歩く 房総風土記の丘	利根川と印旛沼にはさまれた台地は、千葉県でも古くから文化の栄えた地域で、多くの古墳と県内で最も古い仏像で知られる竜角寺がある。この地を散策しながら、そこにオープンした「房総風土記の丘」を紹介する。	昭和51	10分	カラー	0147
B133	水	工業化の進展・人口の急増にともない、千葉県の水需要は大きく増加し、県内中小河川の利用にも限界がある。水がただでないこと、更には、これからは金さえ出せば水は自由になる時代ではないという考え方に立って水の無駄使いの具体的な例を紹介しながら千葉県の水資源問題を考える。	昭和52	10分	カラー	0148
B134	白い粉の恐怖	白い粉 覚せい剤は暴力団などの"魔の手"をとおして主婦、学生、サラリーマン、少年にまで浸透している。その結果、家庭が破壊され職を失い、学業から脱落するものが増えている。中毒患者の実態や暴力団の汚染拡大の手口など、人間の体と心をむしばむ白い粉の恐ろしさをドラマチックに描く。	昭和52	10分	カラー	0148

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	クレジット
B135	房総の伝統工芸	千葉県には、陶器、織物、竹細工、貝細工、刀剣など各種の伝統工芸品があるが、その存在は意外と知られていない。郷土の数多い工芸品の中から船の進水式や正月の儀式などにしか使われなくなった銚子の大漁旗、昔、舟大工が使っていた江見の安房鋸、竹の素材を生かした佐倉の竹細工、日本古来の芸風に近代的造形美が加味された陶器 鎌ヶ谷の真朱焼を紹介する。	昭和52	10分	カラー	0148
B136	歪んだ青春 タバコと少年	昭和52年に非行で補導された少年少女の半数以上は、喫煙によるものである。特に中・高校生の間に喫煙する者が増加しており、見逃すことのできない問題となっている。この映画は、喫煙と非行との結びつきを少年少女の非行グループを通して描くとともに、発育期の少年に与える健康上の問題について考える。	昭和53	10分	カラー	0148
B137	鋸山 石仏を訪ねて	清澄山・鹿野山と並び房総の三名山として知られる鋸山。ここに名僧行基の開山として伝えられる日本寺があり、千姿万態の千五百羅漢が訪れる人々に何かを語りかけてくれる。この鋸山と日本寺の秋の一日を诗情豊かに描きながら地域の人々とのつながりを通し、日本寺の昔の面影を探る。	昭和53	10分	カラー	0148
B138	房総の海 外房	三方を海に囲まれ、自然に恵まれた房総、400kmに及ぶ海岸線は荒磯、広大な砂丘、数多くの入江などと変化に富んでおり、この美しい自然の造形美は訪れる人々の旅情を誘う。雄大で美しい外房を空から紹介する。	昭和53	10分	カラー	0148
B139	利根川 その美しき流れ	群馬県の大水上山に源を発し、関東平野をゆうゆうと流れる利根川は、延々322kmにも及び銚子で太平洋に注ぐ。坂東太郎とも呼ばれるこの利根川は、昔から多くの人々の生活とかかわりをもってきた。交通機関として、農業用水として、飲料水として...。 この利根川の豊かな表情を、そこに生活する人々の歴史をたどりながら诗情豊かに描く。	昭和54	10分	カラー	0149
B140	シンナー・危険な青春	青少年の間でシンナーを乱用するものが増えており、大きな社会問題となっている。特に、毒物及び劇物取締法が昭和47年に施行されたのに伴い、手に入れるのがむずかしくなり、さまざまな犯罪を引き越している。この映画は、シンナー乱用によって健康がむしばまれる状態やその幻覚によって起こす犯罪を描きながらシンナー乱用の恐ろしさを訴え、乱用防止を呼びかける。	昭和54	10分	カラー	0149

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
B141	房総の山々 その美しさ自然と人	清澄山、鹿野山などに代表される房総の山々は、自然の宝庫として、また、史跡、景勝の地として知られ、古くから多くの人々に親しまれてきた。この映画は、清澄山を起点に東京湾岸の鹿野山まで途中の名所や史跡をたどりながら横断し、その雄大な自然をそこに生活する人々の姿をまじえ詩情豊かに描く。	昭和54	10分	カラー	0149
B142	ふるさとの民話 「安房」	温暖な気候と豊かな風土に育まれてきた千葉県。その中でも、特に安房地方は、房総半島の最南端に位置し、海流の影響から冬でも暖かい。この映画では、安房地方に親から子そして孫へと伝えられている三芳村の「落人伝説」や丸山町の「仁王様の蛭退治」などの民話を紹介する。	昭和55	10分	カラー	0150
B143	私たちは今 もり上げよう公衆道徳	明るく住みよい社会をつくるためには、1人1人が守らなければならないルールがある。しかし、自分1人だけならとの考えから、空き缶、タバコの投げ捨て、列の割り込みなどマナーを守らない人が多い。ここでは、社会生活に必要な公衆道徳の必要性を身近な例をあげて紹介する。	昭和55	10分	カラー	0150
B144	山の子音楽隊 「君津市福野小学校」	君津市福野小学校は、生徒数12名の山の中の小さな学校である。この小学校の音楽活動の歴史は古く、またさかんで51年9月、全日本器楽合奏大会で優秀賞を受賞した。その練習風景と日常の学校生活を、山の子音楽隊の演奏をバックに紹介する。	昭和55	10分	カラー	0150
B145	廃船物語	限りない自然美にみちた九十九里浜は、かつて日本一のイワシの漁場でもあった。しかし広大な砂浜で漁に生きるためには、遠浅の海に船を押し出すために、オッペシと呼ばれる浜の女たちの苦労があった。ここでは、かつて出漁し、今では砂にうずもれている廃船から、昔の漁と浜の女たちの姿をしのび、併せて現在の漁風景とともに紹介する。	昭和56	10分	カラー	0151
B146	心の灯	弱い立場の人たちに真心をもって接しているボランティアの人々の姿を通して、人と人とのふれあい、地域の連帯の大切さをインタビューを交えて紹介する。	昭和56	10分	カラー	0151

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
B147	東京湾風物詩	木更津に残る正月行事「ぼんてん立て」、富津のノリ養殖漁業、国際港千葉港の活気あふれる港風景など、大きく変ぼうした東京湾一帯の姿と、ここで繰り広げられる新旧の風物を紹介する。	昭和56	10分	カラー	0151
B148	空き缶エレジー	空き缶を主人公にして、ゴミの行方を追い人間のモラルの低さを風刺しながら、空き缶のポイ捨て防止を人々に呼びかけ、併せてゴミのリサイクルについて紹介する。	昭和57	10分	カラー	0152
B149	飲んだら乗るな	飲酒運転による引き逃げ事故を起こした人の回想をもとに、加害者の苦悩、補償問題などによる家族の変ぼうなどを紹介しながら、交通事故の恐しさを訴える。	昭和57	10分	カラー	0152
B150	春を迎える	丸山町で大みそかに行われる「大火」と言われる火祭り、山武町に伝わる「どんど」と呼ぶもち焼き、八千代に残る「大杉神事」など房総各地に息づく正月行事を紹介しながら、房総人の心を探る。	昭和57	10分	カラー	0152
B151	養老川水流記	清澄山系に源を発する養老川。その上流、新緑の養老渓谷で自然に親しむ人々、大きく蛇行した川筋の水田地帯に残る水との戦いの跡、川船輸送の中継基地として栄えた牛久のかつての面影など、その流域の産業、生活の変せんをその自然とともに紹介する。	昭和58	10分	カラー	0153
B152	久留里線を行く	木更津から上総亀山まで房総丘陵を走る久留里線。その沿線、久留里城下の街並みと人々の暮らし、三石山、亀山ダムなどの観光地などを、地域の人々とのかわりとともに紹介する。	昭和58	10分	カラー	0153
B153	はたらくよろこび シルバー人材センター	高齢者の生きがいと社会参加を目的とするシルバー人材センターが千葉県には8か所ある。ここでは、佐倉市のシルバー人材センターを通して地域社会に貢献している高齢者の活躍ぶりを紹介しながら、働く喜びとは、生きがいとはについて考える。	昭和58	10分	カラー	0153

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
B154	房総の岬	千葉県は、三方を海に囲まれ、長い海岸線は変化に富んだ美しい景観を見せている。中でも岬は、人々を魅了する特有の自然、歴史、文化がある。ここでは、富津岬、洲崎、八幡岬、刑部岬の4つの岬を空と陸から訪ね、詩情豊かに紹介する。	昭和59	10分	カラー	0154
B155	童謡の里	人々を郷愁の世界、ロマンの世界へいざなう童謡。軽快なリズムにのって狸が登場する「証誠寺の狸囃」、しみじみとした哀感のただよう「浜千鳥」、夢とロマンに満ちた「月の砂漠」そして、ふるさとの郷愁を感じる「里の秋」と房総が舞台となっている童謡の素晴らしさを自然や風土をまじえ、詩情豊かに紹介する。	昭和59	10分	カラー	0154
B156	房総の冬鳥	山々を色鮮やかに染めあげた木の葉が落ち、木枯らしが吹きぬける冬は、温暖な房総にも訪れる。冬のひととき、干潟や沼、そして海や山にと休息の地を求めて房総に飛来する冬鳥の生態などを、美しい景観とともに紹介する。	昭和59	10分	カラー	0154
B157	十返舎一九の房総道中記	東海道中膝栗毛で知られる江戸時代の戯作者、十返舎一九。一九は膝栗毛のほか、現代の漫画や劇画のルーツ「諸国道中金草鞋二十四編」を書いている。その中には行徳を振り出しに、内湾から小湊、大多喜、江戸に至る房総道中記が含まれている。この作品をもとに、房総人の気質や生活の歴史等を紹介する。	昭和60	10分	カラー	0155
B158	守ってますか 交通ルール	加害者、被害者を問わず大きな不幸を招く交通事故。県内の交通事故発生状況を見ると、死亡事故は全国的に見ても不名誉な記録を残している。この作品では、主に歩行者、自転車の運転者に対する交通事故防止を訴え、交通安全思想の高揚を図る。	昭和60	10分	カラー	0155
B159	築こう育てよう房総文化	本県は、美しく広大な県土を有し、歴史的風土に根ざした心豊かな文化や恵まれた自然、バランスのとれた産業と限りない可能性と、今後の飛躍が期待されている。こうした中で、11月3日の文化の日に、房総文化憲章を制定し、文化県千葉を目指して施策を展開している。ここでは先人たちから受け継がれた貴重な文化や自然、躍動する産業、500万県民のふれあいを紹介し、房総文化の推進に県民の理解と協力を呼びかける。	昭和60	10分	カラー	0155

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
B160	ふれあいの港 千葉ポートタワー	京葉臨海工業地帯の造成とともに発展してきたわが国有数の国際貿易港千葉港。その現状と役割を、昭和61年6月15日の県民の日に同港のシンボルとして開設した千葉ポートタワーや人工海浜とともに取り上げ、親しまれる港に変わりつつあることを認識してもらう。	昭和61	10分	カラー	0156
B161	21世紀へ架ける橋 東京湾横断道路	本県は、首都圏の東側を担う県として社会、経済面において急速な発展を遂げてきたが、半島という地理的な条件もあり、袋小路性の解消が課題となっている。この映画では、現在、県が21世紀に向けて推進している「千葉新産業三角構想」という都市づくりに大きく関連する「東京湾横断道路」について、その建設の概要、役割、効果等を県民に理解してもらう。	昭和61	10分	カラー	0156
B162	ストップ交通死亡事故	社会経済の発展に伴い、車は生活をしていくうえで必要不可欠のものとなった。この車の増加により交通事故も多発し、本県でも昭和62年には452人もの尊い命を失った。 この映画は、死亡事故を起こしてしまった加害者の反省の様子に焦点を当てるとともに交通事故発生要因を紹介し、交通事故防止を呼びかけるものである。	昭和62	10分	カラー	0156
B163	豊かな老後を迎えるために	人生80年代といわれる今日、本県でも21世紀初頭には65歳以上のお年寄りが現在の2倍に達することが見込まれている。このように高齢化が急速に進む中、高齢者を取り巻く様々な社会問題が提起されてきた。 この映画では、ある家庭の会話をもとに関連する問題を取り上げながら、誰もがやがて迎える老後をいかに豊かなものにするか、もう一度見つめ直してもらうために制作したものである。	昭和62	10分	カラー	0157
B164	房総の魅力	首都圏の東側を担う地域としてめざましい発展を遂げてきた本県は、さらに21世紀に向かって千葉新産業三角構想や東京湾横断道路の建設など益々発展していくことが期待されている。一方、房総には豊かな自然が残されており、古くから受け継がれ、育まれてきた伝統文化や豊富な特産物など素晴らしい宝がたくさんある。 この映画では、房総の良さ、素晴らしさを再認識していただくために制定した「房総の魅力500選」を中心に素晴らしい房総の魅力を紹介し、郷土を愛する心を醸成していただくために制作したものである。	昭和62	10分	カラー	0157

## 県広報映画：県政映画

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル 番号
B165	新しい国際都市幕張	国際交流、文化、産業、研究、教育、住宅など、種々の都市機能を備え、世界と結ぶ新たな拠点として発展が期待される幕張新都心。21世紀に生きる都市として地域冷暖房、中水道システム、コミュニケーションネットワーク、スカイウェーなど未来型国際都市にふさわしい新しいシステムも導入される。ここでは、幕張メッセのオープンに併せて、建設の進む幕張新都心の都市づくりについて紹介する。	昭和63	10分	カラー	0157

## 県広報映画：議会だより

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
C001	わが党の抱負を語る	昭和22年4月、新しい地方自治制度に基づく選挙が行われてから、数えて7回目の選挙が行われた。今回の県議会議員選挙にあたって、各党は選挙民に何を公約したのか、また今後の新しい体制のもとでいかに議会活動を推進してゆこうとしているのか、各党の幹事長、書記長より話を聞く。	昭和46	20分	カラー	0171
C002	新議会の成立	県議会は県民の代表として選ばれた議員で組織され、政治の方針を決定する議決機関である。そして私たちは、4年に1度代表を議会に送る。カメラは、昭和45年4月11日に行われた県議会議員選挙(告示、選挙戦中の表情、投票所、開票所のようす)をふり返り、新しい議会が成立するまでを追う。	昭和46	20分	カラー	0171
C003	千葉県議会の移り変わり	昭和21年新憲法が制定され、この中に地方自治に関する基本的な事項が定められた。同時にあたらしい地方制度も制度化された。そして昭和22年4月新制度による議会議員選挙が行われ60人が誕生した。この第1期議員による議会の発足から30年までの主な出来事を紹介する。	昭和46	20分	カラー	0171
C004	6月定例会県議会 話題を追って	統一地方選挙後、はじめての定例会県議会は6月29日から15日間にわたって行われた。昭和46年6月定例会県議会での焦点は、環境保全条例、公害防止条例、土採取条例などの制定であった。これらを中心に6月定例会の様子をダイジェストする。	昭和46	20分	カラー	0171
C005	公害と県議会	経済の高度発展に伴い、公害は姿、形をかえて発生している。この公害を未然に防止し、あるいは最小限に食い止めるための最上の公害対策は何か、自然と開発の調査は。公害克服の対策を打ち立てようと努力している千葉県議会の姿を紹介する。	昭和46	20分	カラー	0171
C006	委員会の調査活動(その1)	議員さんたちは、常に千葉県の現状あるいは行政の執行状況を把握し、県民期待のよりよい方策を見出そうと努力している。昭和45年6月定例会県議会終了後、所管事項の調査のため、県内各地を視察する委員会の活動を(その1)として紹介する。	昭和46	20分	カラー	0172
C007	9月定例会県議会 話題を追って	昭和46年9月定例会県議会は、9月29日から10月16日までの18日間にわたり行われた。今後の定例会で焦点となったのは空港、公害問題であった。こうした点を中心に代表質問、一般質問、常任委員会(商工労働、農林水産)などの審議風景をダイジェストする。	昭和46	20分	カラー	0172

## 県広報映画：議会だより

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
C008	委員会の調査活動(その2)	8月下旬から9月上旬にかけて各委員会は、所管事項調査のため県内各地を視察した。その中から、総務企画(君津、安房地方)、警察水道(柏井浄水場、成田署)、社会衛生(血清研究所、ドッグセンター)、農林水産(集中豪雨の被害地)常任委員会の活動を(その2)として紹介する。	昭和46	20分	カラー	0172
C009	12月定例県議会 話題を追って	昭和46年12月定例県議会は暮れもおしせまった12月7日に開会、当面する県政全般の問題について質問戦と審議が行われた。特に焦点となったのは、重油によるノリ被害問題、財政問題などであった。この点を中心に、代表質問、一般質問、常任委員会(土木都市、文教)などの審議風景をダイジェストする。	昭和46	20分	カラー	0172
C010	請願	議員を通して、県民の希望や意見を行政に反映させる方法として請願がある。提出された請願書は議会事務局において、どのような手続きをとり議会に提出されるのか。また、請願とはどのような性格をもつのか。依頼方法やその歴史について紹介する。	昭和46	20分	カラー	0172
C011	各党の要望をきく 47年度当初予算	ドルショックによる経済状態の悪化によって、不況は一段と強まっている。こうした中で、どのようにして県民生活を向上させてゆこうとしているのか。47年度当初予算の編成にあたって、各党がどのような点を重点において要望書を知事に提出されたのか、この内容について各党の代表者の方々から話をきく。	昭和46	20分	カラー	0173
C012	2月定例県議会 話題を追って	昭和47年2月定例県議会は2月29日に開会、3月28日までの会期29日間にわたり、47年度当初予算などを中心に活発な質問戦と審議がくりひろげられた。これらを中心に、代表質問、常任委員会などの姿を紹介する。	昭和47	20分	カラー	0173
C013	わが党の抱負	社会福祉、財政問題など現在県政が当面している課題は多い。これらの諸問題を1日も早く解決しようと努力する議員さんたちは、新年度を迎え、どのように議会活動を推進していこうとしているのか。各党の代表者からその抱負をきく。	昭和47	20分	カラー	0173
C014	交通対策を考える	一瞬にして尊い人の命を奪う交通事故は、あらゆる英知と努力を結集して防止しなければならない。千葉県議会では交通対策特別委員会を設置し、道路網の整備や交通安全体制の確立に努力している。そこで、この問題について各党の代表者からその対策について話をきく。	昭和47	20分	カラー	0173

## 県広報映画：議会だより

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ファイル番号
C015	海外視察報告	県議会では社会福祉、都市開発、農業、公害問題などの点で先行しているヨーロッパ各国を、昭和47年4月26日から約1か月間にわたって視察した。 この実情調査をして帰った議員さんたちに、環境保全、社会福祉、農業問題などについて話をきく。	昭和47	20分	カラー	0173
C016	6月定例県議会 話題を追って	昭和47年6月定例県議会は6月28日から16日間にわたり、当面する県政全般の問題について活発な審議をくりひろげた。その代表質問、一般質問、それに正副議長および各常任委員等の改選の模様をダイジェストする。	昭和47	20分	カラー	0174
C017	9月定例県議会 話題を追って	昭和47年9月定例県議会は9月27日から10月13日までの会期17日間にわたって開かれた。その代表質問、一般質問を中心に定例会の審議風景をダイジェストする。	昭和47	20分	カラー	0174
C018	12月定例県議会 話題を追って	昭和47年12月定例県議会は12月13日に開会、会期11日間にわたり当面する県政全般の問題について審議がくりひろげられた。その代表質問、一般質問にスポットをあて、定例会の模様をダイジェストする。	昭和47	20分	カラー	0174
C019	委員会の調査活動 農林水産	現在、千葉県議会には八つの常任委員会があって、県民期待のよりよい施策の実現をめざして活動を続けている。 この映画では、農林水産常任委員会による市原、君津、安房地区の視察の模様を紹介する。	昭和47	20分	カラー	0174
C020	委員会の調査活動 警察水道	警察水道常任委員会は、千葉中央警察署、成田警察署、茂原警察署、木更津警察署および北総浄水場等を視察した。 この映画では、各警察署の状況聴取やダンプ取締状況聴取のために現地におもむく警察水道常任委員会の姿を紹介する。	昭和47	20分	カラー	0174
C021	委員会の調査活動 文教	文教常任委員会は、北総および東総地域にある県立高等学校、銚子市立養護学校、東金青年の家および東総地方教育センターの現況調査のため現地を訪問した。 この映画では、各校を熱心に視察する文教常任委員会の姿を紹介する。	昭和47	20分	カラー	0175

## 県広報映画：議会だより

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	ク 番 号
C022	委員会の調査活動 土木都市	土木都市常任委員会は所管事項調査のため、日本住宅公団の梨香台団地、県道(我孫子～佐原線)の我孫子市新木地先、手賀沼、印旛沼両流域下水道工事現場等を視察した。 この映画では、各現場を視察し、関係者や地元住民から実情をきく土木都市常任委員会の姿を紹介する。	昭和47	20分	カラー	0175
C023	委員会の調査活動 商工労働	商工労働委員会は所管事項の調査のため、成田総合職業訓練校、成田ニュータウン、与田浦荘を視察した。 この映画では、各施設の関係者や地元住民から実情をきき、明日の千葉県を築こうと努力する委員会の姿を紹介する。	昭和47	20分	カラー	0175
C024	2月定例県議会 話題を追って	昭和48年2月定例県議会は2月28日に開会、3月26日までの会期27日間にわたり、当面する県政全般の問題について質問戦と審議がくりひろげられた。その代表質問、一般質問等にスポットをあて定例会の様子をダイジェストする。	昭和48	30分	カラー	0175
C025	6月定例県議会 話題を追って	昭和48年6月定例県議会は6月19日開会、会期13日間にわたり当面する県政全般の問題について質問戦と審議がくりひろげられた。その代表質問、一般質問等にスポットをあて、その様子をダイジェストする。	昭和48	30分	カラー	0175
C026	9月定例県議会 話題を追って	昭和48年9月定例県議会は10月22日開会、19日間にわたって当面する県政全般の問題について活発な質問戦をくりひろげた。その代表質問の様を中心にその審議風景をダイジェストする。	昭和48	30分	カラー	0176
C027	12月定例県議会 話題を追って	昭和48年12月定例県議会は、12月13日招集、22日までの10日間にわたり、論議をくりひろげた。その代表質問、一般質問に焦点をあて、定例会の様子をダイジェストする。	昭和48	30分	カラー	0176

## 県広報映画：県民の広場

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
D001	予算のゆくえ	第3次5ヶ年計画の2年目をむかえた46年度予算はどのように使われるのか。 県民の大切な税金が、無駄なく配分され、使われる様子をわかりやすく財政課長をはじめ、関係部課長より解説してもらう。	昭和46	20分	カラー	0177
D002	交通道徳を守ろう	新聞に交通事故の記事がでない日はない。毎日何処かで誰かが死んでいる。春ともなり、学校をはじめ各職場では新入生を迎え、心もうきうきしている。特にこの時期には事故が多く発生しやすい。交通事故をなくすには歩行者やドライバーの注意と交通道徳を守ろうという意識が大切である。この問題について話し合う。	昭和46	20分	カラー	0177
D003	母子福祉を語る	母子家庭における母親は家の柱を失ない、経済的にも精神的にも苦勞を背負って子どもたちの養育に努力している。これら女性たちの多くは技術が未熟であり、また経験も浅く、そのため賃金や労働条件が悪く苦慮している。こうした問題をどう解決していったらよいのか関係者の方々に話し合ってもらおう。	昭和46	20分	カラー	0177
D004	公害の現状と対策	公害問題は、今や国際的な課題となっている。千葉県においても近年、いちじるしい工業化に伴なって公害が発生、これにどう対処するのが重要な課題となった。 公害のない郷土をどう取りもどしたらよいのか、県公害対策局長より現状と対策についてきく。	昭和46	20分	カラー	0177
D005	われら食糧供給隊	J R成田線を利用して野菜やたまごを消費地東京に運び商いしている婦人たちがいる。 また、本県は、江戸の昔から食料の供給地として栄え、現在まで続いてきた。この映画ではこの婦人たちの商いの風景や家での生活をルポする。	昭和46	20分	カラー	0177
D006	海の後継者	浅海漁業の荒廃や、伸び悩む沿岸漁業などとあいまって、後継者の問題がクローズアップされてきた。 こうしたなかで、漁業を志す若者に技術や知識を身に付けさせようと開校された漁業教室を中心に、今後の沿岸漁業と後継者の問題について考える。	昭和46	20分	カラー	0178

## 県広報映画：県民の広場

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
D007	中高年齢層の再就職	<p>新規卒業者の減少と進学率の向上によって若年層を中心とする労働力不足はいちだんと強まった。</p> <p>しかし、中高年齢者の就職については年ごとに向上しているもののまだまだ問題を残している。</p> <p>中高年齢層の再就職では、何が問題となるのか話し合ってもらおう。</p>	昭和46	20分	カラー	0178
D008	あの悪夢から1年	<p>昭和45年7月1日、朝から降りだした雨は記録的となり、このため君津、夷隅、市原を流れる川は増水し、各地で堤防の決けいや洪水が続出した。</p> <p>それから1年、これらの市町村がどのような復旧状態であるのか、各地の人々の意見や対策会議の様子をおりませ紹介する。</p>	昭和46	20分	カラー	0178
D009	若者の季節	<p>夏休みを迎えた若者たちは、海や山にレジャーを求めて集まってくる。</p> <p>この夏休みを、青少年がどのように過ごせばよいのか青少年の夏休みがいかにあってほしいか、また、青少年の非行を防ぐにはどうしたらよいのかアドバイスする。</p>	昭和46	20分	カラー	0178
D010	働きざかりの病気	<p>近年、がん、脳卒中、心臓疾患など、いわゆる成人病で死亡する人たちが大変多く、また死亡率の最も高い恐ろしい中年期の病気として、その対策がいそがれている。この恐ろしい成人病の症状はどのようなのか。また、住民検診や早期治療がいかにか大切であるのか関係者の方々から話を聞く。</p>	昭和46	20分	カラー	0178
D011	土に生きる	<p>あすの農業をささえる後継者の育成と振興をはかるために、千葉県農村青年研修館の中に農業高等学園が設置されている。</p> <p>この学園の生活を通して、農村青少年が農業経営や生活改善にどう取り組んでいるか紹介する。</p>	昭和46	20分	カラー	0179
D012	祭りと村人	<p>1,200年という歴史をもち、いまなお村人の間に生きつづけている安房郡千倉町の「白間津祭り」を紹介しながら、祭りがかかえるさまざまな問題、民俗学的な評価、現在生活と祭り、祭りの移り変わり、文化財の保護などについて考える。</p>	昭和46	20分	カラー	0179

## 県広報映画：県民の広場

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
D013	千葉ニュータウンと地主さん	<p>地域開発の拠点都市として船橋市など、1市2町2村の区域の約2,900ヘクタール、人口約34万人を収容する千葉ニュータウンが建設されている。</p> <p>この事業が始まったために、土地を手放し転業した人々が、その後どのような生活をしているか紹介する。</p>	昭和46	20分	カラー	0179
D014	海女	<p>海女は日本にだけ存在する婦人の職業である。その由来は古く、その分布もひろい。今日、海女は観光の対象くらいにしか考えられていないが、立派な沿岸漁業の従事者である。</p> <p>カメラは、白浜町で海女をする人々の生活を追う。</p>	昭和46	20分	カラー	0179
D015	過疎と老人	<p>国民総生産第2位を誇る経済大国日本。だが老後の生活は、まだまだきびしい。ましてや、若者が町をすて、都会へ出て行く過疎地帯では、若者が減るにつれ生活保護を受ける老人が増えている。</p> <p>この映画は、過疎の中にとり残された老人の実態をルポし、そこに根ざす問題をさぐる。</p>	昭和46	20分	カラー	0179
D016	集中豪雨再び県下を襲う	<p>46年9月6、7日の秋雨前線ならびに台風25号による異常気象によって、千葉県は昨年についでまたもや集中豪雨に見舞われ、たいへんな被害をだした。</p> <p>台風が本県に接近した7日夜半から8日を中心に被害をうけた地域の状態と、その復旧作業や悲しみにくれる人々の姿を描く。</p>	昭和46	20分	カラー	0180
D017	まかり通るダンプカー	<p>横暴なダンプカーに悩まされている住民の苦情や、ダンプ対策と取り組む印西警察署、市町村、それに川砂、山砂採取業者、沿道住民にスポットを当て、45年10月に施行された土砂運搬適正化対策要綱などから、ダンプ公害の現状と対策について考える。</p>	昭和46	20分	カラー	0180
D018	米の生産調整と転作	<p>戦後、農業技術の進歩と農薬の発達により、米の生産量は増大した。このため、45年度から生産調整事業を行わなければならなくなった。生産調整に対して集団転作地や穀倉地帯の農家の人々がどう受けとめているのか率直な声を聞き、また転換期を迎えた農業政策について県の施策をプロフィールする。</p>	昭和46	20分	カラー	0180

## 県広報映画：県民の広場

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ ク番
D019	サラリーマンと精神衛生	最近、急激に変化しかつ複雑化する社会環境の流れに適応できず、ノイローゼ、そううつ病、精神分裂病などにかかる人が多くなってきた。 こうした病気の予防、発生、治療、後保護などに関して、専門医の方々や患者をかかえた家族の方々に話し合ってもらおう。	昭和46	20分	カラー	0180
D020	生活とゴミ	わが国の経済発展に伴なって生活様式は変化した。このため、家庭から排出されるゴミの量は年々増加し、その質も多様化している。本県でも、人口の増加に伴ないゴミの量はうなぎのぼりで処理の限界に達し、その対策に頭をいためている。このゴミにスポットを当て、県下のゴミの事情をルポする。	昭和46	20分	カラー	0180
D021	食品添加物	わたしたちの毎日の生活に一日として欠かすことのできない食べ物には、食品添加物が入っている。 この食品添加物の役わりや安全性について、食品衛生監視員と消費生活センターの活動を通しながら考えてゆく。	昭和46	20分	カラー	0181
D022	植木と盆栽	都市化と工業化が進展するにしたがい、公共緑化や公害防止が要求されて樹木の需要は急速に伸びてきた。一方、盆栽は庶民のささやかないこいとして、今静かなブームを巻き起こしている。 この植木や盆栽づくりに精をだす人々の姿を描く。	昭和46	20分	カラー	0181
D023	団地と交通	千葉県には現在大きな団地が続々と誕生しようとしている。そして、その多くが交通問題で悩んでいる。 各団地がかかえる交通事情の実態をとらえながら、そこに住む人々や、バス会社、日本住宅公団などの関係者から生の声を聞き、その対策について考える。	昭和46	20分	カラー	0181
D024	文化の森 秋の芸術祭	県民の文化の向上と振興を目的として造られた「あのはな公園 文化の森」を紹介しながら、この中心的存在である文化会館の役割と活動を46年秋の芸術祭とともに描いてゆく。	昭和46	20分	カラー	0181

## 県広報映画：県民の広場

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
D025	火魔を追っばらえ	最近では都市の高層化に伴った消火設備や消防力の貧弱さ、農漁村部の都市化、工業化に伴う消防団員の不足など防災対策に数々の問題をもつ。 こうした問題をどう解決していったらよいのか、防火に尽力する第一線の専門家から話をききながら、本県の消防体制を考える。	昭和46	20分	カラー	0181
D026	栽培漁業に挑む人びと	三方を海にかこまれた千葉県の漁業は資源の限られた「獲る漁業から育てる漁業へ」と大きく転換しようと努力している。 栽培漁業(ノリ、アワビ、ニシキゴイ、ウナギ等)と取り組む人々の生活を紹介しながら、栽培漁業の問題点や未来について考える。	昭和46	20分	カラー	0182
D027	駅前24時間	総武線と東西線の乗り換え駅として、朝夕通勤客で賑わいをみせる西船橋駅と、47年秋の完成をめざして複々線工事が進む津田沼駅は休む暇なく活動している。それらの駅は時間によりいろいろな表情をみせている。その様子を追う。	昭和46	20分	カラー	0182
D028	ことしの県政を語る	均衡と調和のとれた秩序ある発展をはかり、県民ひとりひとりが明るく豊かな生活を実現させるため「量的発展より質的充実」を基本課題として、第3次5ヶ年計画が45年にスタートした。それから3年目の本年、当面する県政の課題は何か、またどんな抱負をもっているのか、3人(岩城千葉銀行頭取、高杉千葉日報会長、友納千葉県知事)の方々に話し合ってもらおう。	昭和46	20分	カラー	0182
D029	成人	成人を祝う「成人式」が1月15日、全国各地で一斉に行なわれた。この式を終えたばかりの若者たちが、現在何を考え、また何に目標をおいて生きてゆこうとしているのか、それぞれの立場の違った職場(農業、商業、サービス業)を通して、彼らの忘たんのない意見や考え方をきく。	昭和46	20分	カラー	0182
D030	出初式	出初式は消防活動に従事する関係者が、日ごろ訓練に励む姿を市民に披露し、また自分たちの士気高揚と一般住民に対する消防活動のPRをねらいとして行なわれる。今年行なわれたなかから、千葉市、市川市、船橋市、三芳村の出初式をルポし、消防活動やその任務について考える。	昭和46	20分	カラー	0182

## 県広報映画：県民の広場

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
D031	準備進む若潮国体	国民体育大会は広く国民の間にスポーツを普及し、国民健康増進と体力の向上を図り、国民生活を豊かにしようとして行なわれる。 千葉県でも昭和48年の開催にそなえ、準備が急ピッチで進んでいる。この準備状況について関係者から話をきく。	昭和46	20分	カラー	0183
D032	おそろべきシンナーの乱用	シンナーや接着剤の乱用によって悲惨な事故はあとをたたず、青少年の肉体と精神はむしばまれている。この映画は、シンナーや接着剤、いわゆる有機溶剤のおそろべき有害性を実験をもって立証し、関係者の話しをおりませながら、その恐ろしさを訴える。	昭和46	20分	カラー	0183
D033	房総乗物史	乗物は、かご、馬、船、自動車、飛行機と次第に移り変わり、なかでも明治27年、本県に初めて開通した鉄道は大きく交通路を変えた。その影響によって各町や村も変化をよぎなくされてきた。明治以降の乗物の変遷はどうであったのか当時のおもしろいエピソードをおりませ語りあってもらう。	昭和46	20分	カラー	0183
D034	喜びも悲しみもともにある訪問教師	訪問、派遣教師制度は、心身障害児に対して能力適正に応じた教育を児童、生徒に受けさせるため昭和44年実施された。この教育に情熱をかたむけ、児童とともに喜びや悲しみをわけあって生活している先生と児童の姿を克明に描く。	昭和46	20分	カラー	0183
D035	つきんぼ船	房総半島の南端千倉町に古くから伝わる"つきんぼ漁"一つの船に7、8人が乗りこみ、銚で大型の魚をつくという原始的な漁法である。この道40年という保田老人を中心に、豪快なつきんぼ漁ととりくむ人々の生活を描く。	昭和46	20分	カラー	0183
D036	長寿村をたずねて	館山市西岬地区は長寿の村として知られ、5人に1人が60才以上の老人である。この地方は房総の最南端にあるため、霜もほとんど降りることなく、また海草、魚もあり余り、大へん住みよいところだ。カメラはこの村をたずね、のどかな日ざしを浴びながら生活する老人たちの姿をえがく。	昭和46	20分	カラー	0184

## 県広報映画：県民の広場

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
D037	新入学児童と交通事故	<p>事故絶滅の願いもむなしく、相変わらず交通戦争が続く。</p> <p>過去数年間の統計が示すように、毎年4月になると幼児や小学児童の事故が急増する。これは入学児童が通学に、遊びに、親の手元をはなれてとびだしてゆくためにおこる事故だ。入学を前に、幼児や児童の安全教育と事故対策について考える。</p>	昭和46	20分	カラー	0184
D038	予算と県民生活	<p>経済不況というきびしい状況のもとで編成された47年度当初予算。この予算は県民のためにどのように使われてゆくのであろうか。</p> <p>この予算配分についてわかりやすく財政課長から解説してもらおう。</p>	昭和46	20分	カラー	0184
D039	われら社会一年生	<p>4月になり学校を巣立って間もない新卒者たちがどこの職場にも見うけられるようになった。この新しい職場で働くようになった彼らは、ここで何を感じているのであろうか。カメラは彼らの職場をたずね、働くという意義や現在の社会についてどう考えているのか、話をきく。</p>	昭和46	20分	カラー	0184
D040	内湾漁民にきく	<p>内湾漁業は開発が進むにつれて変化をよぎなくされてきた。そのため、数多くの漁師たちが漁業をすて陸にあがった。</p> <p>この映画では漁業権を放棄し転業しようとしている人々や、現在この仕事に従事している人々から、その実態と今後についてきく。</p>	昭和46	20分	カラー	0184
D041	県政への声 社会福祉・環境保全	<p>「環境の保全」「社会福祉の充実」という言葉が今日ほど叫ばれている時代はない。県民はこれらの問題について県政に何を望んでいるのか。県内各地を訪ね、各層の人々からこの二つの問題についての意見、要望、苦情、批判など生の声をきく。</p>	昭和47	20分	カラー	0185
D042	救急24時間	<p>交通事故は休むことなくどこかで起り、また病人も毎日多数発生、これらの人々を運ぶ救急車の仕事は多忙である。</p> <p>この映画では、活躍する救急車の24時間とこの仕事に従事する人たちの生活を追いながら、救急医療体制の問題点について考える。</p>	昭和47	20分	カラー	0185

## 県広報映画：県民の広場

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ ク番
D043	ある町の変せん	かつては小さな散村であった市原市は、30年代から始まった相次ぐ合併と臨海部における工業開発や住宅団地などの建設によっていまや人口17万という一大都市に変ぼうした。その変ぼうの姿と昔の面影を残す史跡などを対比させながら、市原の町の変遷を紹介する。	昭和47	20分	カラー	0185
D044	こどもの国の一日	開園して1年を迎えた千葉県こどもの国は、市原市山倉ダムのたいへん環境のよい場所にあり、「緑と太陽」がいっぱい。 この映画は、この施設を紹介しながら、園内で遊ぶ子どもたちや親子づれの楽しい姿を描く。	昭和47	20分	カラー	0185
D045	県民のうた	昭和39年、県民から広く募集し、完成した千葉県民歌と千葉県民音頭。このふるさとの歌は、ある時は運動会の会場で、またある時は婦人会の集いでうたい踊られている。 この映画では、千葉県民歌、県民音頭を紹介しながらわが郷土について考える。	昭和47	20分	カラー	0185
D046	職場と女性	戦後、家庭をとりまく環境は大きく変わり、女性にとっては相当に自由な時間が生まれ、また一方では、相次ぐ物価の値上がりから生活を守ろうと各職場に女性が進出している。だが、職場で働く女性たちの多くは、女性ゆえに社会生活と家庭生活との間にはさまれ苦しみながら生活している。この映画では、働く女性の姿をとおして、女性の職場を考える。	昭和47	20分	カラー	0186
D047	県政への声 交通・消費者行政	今日、特に問題を多くもつ「交通」「消費者行政」の両問題にスポットをあて、県民が悩んでいる点は何か。また実現を望んでいる所は何か。こうしたことからについて県民の意見をきく。	昭和47	20分	カラー	0186
D048	若潮国体への道 話題を追って	第28回国民体育大会(若潮国体)のリハーサル大会が5月から11月までの7カ月間にわたって県内各競技場で行なわれた。 この映画では、本県の有望種目や500日前の記念行事をルポしながら、現在の準備状況やリハーサル大会を紹介する。	昭和47	20分	カラー	0186

## 県広報映画：県民の広場

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
D049	PCBを探る	最近、新しい公害として話題を呼んでいるPCB(ポリ塩化ビフェニール)は身近なものにも含まれており、その防止対策が急がれている。この映画ではPCBの正体を探りながら、その防止対策、今後の課題について考える。	昭和47	20分	カラー	0186
D050	われは海の子	保田海岸は内湾有数の海水浴場として知られ、県内外の学校や会社の保養所がたち並ぶ。また九十九里のほぼ中央、横芝町にオープンした「海のこどもの国」も水とたわむれる子供たちでいっぱいである。この映画では、保田海岸や海のこどもの国で楽しく遊ぶこどもたちの姿を描く。	昭和47	20分	カラー	0186
D051	観光公害	観光地にやってきたレジャー客は、ゴミなどをあたりかまわずすてたり、開放感のあまり夜通し騒いでいたりして地元民を悩ませる。こうした観光地の実態をルポしながら観光客の道德心について考える。	昭和47	20分	カラー	0187
D052	知事と語る 老人福祉	最近、老人たちの生活は社会環境の急激な変化、健康上の問題等により、きわめて不安定になっている。老人たちがこれらの諸問題を克服して明るい生活を送るようになるには何が必要であるのか、今後の老人福祉問題について話しあう。	昭和47	20分	カラー	0187
D053	ふるさとの味	ふるさとの味はおじいさんからお父さんそして子へと受けつがれた伝統の味であり、親子数代にわたる汗と努力の結晶の味でもある。 この映画では、本県のいくつかの「ふるさとの味」を紹介しながらその仕事に従事する人々の姿を詩情豊かに描く。	昭和47	20分	カラー	0187
D054	県政への声 青少年問題	千葉県に生活している若者たちは社会をどのように受けとめ、どのように関わろうとしているのか。また、大人たちはいまの若者たちの考え方、生き方をどうみているのか、さまざまな階層の人たちから意見をききながら今日の青少年問題の本質を探る。	昭和47	20分	カラー	0187

## 県広報映画：県民の広場

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
D055	くすりの知識	<p>良くきく薬ほどその効果が強いので、適法適量を守らないとききすぎたり、効果がなかったりして、かえって目的に沿わない場合がよくある。</p> <p>薬の正しい使用方法はいかにあるべきか、また保存はどのようにしたらよいか専門家に説明してもらおう。</p>	昭和47	20分	カラー	0187
D056	インスタント食品花ざかり 栄養と食生活	<p>今日、インスタント食品は、私達の周囲にあふれるばかり出回り、それらを利用する人は実に多い。しかし、これらの食品を栄養面から考えると問題がないわけではない。</p> <p>この映画では、こうした問題を通し、栄養と食生活を考える。</p>	昭和47	20分	カラー	0188
D057	釣船八幡丸 観光漁業に生きる	<p>房総半島の沿岸はいたるところ絶好の釣りどころとして、四季をとわず釣り人が訪れ賑わいを見せている。</p> <p>この映画では、勝浦沖の鯛釣りをはじめ、五目釣りなど楽しむ人々やこの仕事に携わる人たちの生活を描く。</p>	昭和47	20分	カラー	0188
D058	新しい街づくり 新しい用途地域について	<p>現在、都市には人口や産業が急激に集中する傾向がみられる。そのため、このままにしておくと、街の中には、さまざまな用途や形態の建物が無秩序に混在し、生活環境を悪化させてしまう。そこで、この対策として、建築基準法が改正され、また新しい用途地域が決定された。この映画では法律の改正と用途地域の制定の目的と内容を解説する。</p>	昭和47	20分	カラー	0188
D059	知事と語る ミス農業	<p>全国第3位を誇る千葉県農業を支える農業後継者たちは、新しい農業経営や生活改善などの近代化に力を入れている。この映画では、農業に生きる若い娘さんたち(ミス農業)から農業に対する考え方、生き方などについて話しをきく。</p>	昭和47	20分	カラー	0188
D060	LPガスの使い方	<p>現在、LPガスを使用している家庭は、全県下世帯数の3分の2を占めている。しかし、この便利なLPガスも使い方を誤ると大変危険なものになってしまう。</p> <p>このLPガスを安全に使うにはどういった点に注意したらよいか。LPガスの性質とともに考える。</p>	昭和47	20分	カラー	0188

## 県広報映画：県民の広場

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
D061	おらが村の診療所	<p>木更津から久留里線に乗って約一時間、山に囲まれた小さな村、君津市松丘地区。ここで市直営上総診療所長をしている石井正三先生は、昭和21年から今日まで地元民の診療や病気予防のために努力してきた。</p> <p>この映画では、診療所の明け暮れと、石井先生と地元住民との美しい心のふれあいを描く。</p>	昭和47	20分	カラー	0189
D062	明るい村づくり 生活改善	<p>千葉は豊かな自然に恵まれて、粗生産額で全国第三位を占める農業県である。しかし、昭和30年代からはじまった高度経済成長は田畑の減少、農業労働力の流出をはじめ、農村社会を大きく変ぼうさせた。</p> <p>この映画では、鴨川のモデル地区を通して、新しい農村づくり、人づくりに努力する人々の姿を紹介する。</p>	昭和47	20分	カラー	0189
D063	若者に聞く 成人式を迎えて	<p>今年もまた1月15日に成人式を迎え、このめまぐるしく移り変わる社会へと仲間入りした若者は千葉県で6万5千人にのぼった。これら新成人たちは、どんな抱負を持って社会人として生きていこうとしているのか、彼等の意見をきく。</p>	昭和47	20分	カラー	0189
D064	がん対策	<p>めざましい医学の進歩にもかかわらず、県内でがんによる死亡者は毎年3,000人を超している。そこで県では、がん対策として早期発見と早期治療をめざしてがん撲滅に取り組んでいる。この恐ろしいがんについて、関係者からその病理、予防、対策などについて話をきく。</p>	昭和47	20分	カラー	0189
D065	県政への声 生活環境	<p>都市化、工業化が進むにつれて、汚され失われていく自然。進みゆく生活環境の悪化について県民はどのように考えているのか、またその保護運動に取り組んでいる多くの人たちはどう思って行動しているのだろうか。彼等の意見をきく。</p>	昭和47	20分	カラー	0189
D066	郷土芸能はぼくらの手で	<p>激しい時代の変せんの中なかで、古くから郷土に伝わる芸能は次々とその姿を消してゆく。このようななかで、若い人たちが郷土芸能を積極的に継承しようとする動きがあちこちで出てきた。</p> <p>この映画では、佐原高校の「佐原ばやし研究会」と九十九里町の子どもたちによる「西の下の獅子舞」を紹介しながら、この問題について考える。</p>	昭和47	20分	カラー	0190

## 県広報映画：県民の広場

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ ク番
D067	知事と語る 県政100年	今日の繁栄する千葉県の姿は誰もが想像しえなかった事かも知れない.....県政100年、それはあまりにも起伏と激動に満ちた歴史の流れでもあった。 いまここに、天恵と先人の苦労の上に発展し築かれた郷土の100年をしずかに振り返るとともに、101年に向けて前進する千葉県を語ってもらう。	昭和47	20分	カラー	0190
D068	農家の嫁さん	新しい生活を求めて嫁いだ農家のお嫁さんは、農村生活の多忙さや古いしきたりなどにより、自分の理想と現実とのギャップのなかで悩み苦しみ生活しているものもある。この映画では、若いお嫁さんたちが生活を楽しみ、人生を豊かにするためにどのような努力をはらっているのか。その姿を紹介しながら、農村社会の問題について考える。	昭和48	30分	カラー	0190
D069	防犯	「犯罪のない住みよい社会」これは誰もが望むところである。しかしながら現実には犯罪が多い。この犯罪もほとんどが各家庭や地域住民の自主的な防犯活動により防止できるという。 この映画では、防犯モデル地区の活動を紹介します。	昭和48	30分	カラー	0190
D070	24時間の守り	市民の尊い生命や財産を災害から守る消防署員や飲料水を供給する水道関係者、海域の保安任務につく海上保安部職員は24時間、その責務遂行のために努力しており、こうした人々の苦労は並たいていものではない。この映画では、消防、水道及び海上保安業務のために日夜を徹して働く人たちの姿をオムニバス形式で紹介する。	昭和48	30分	カラー	0191
D071	県政への声 医療問題	県民の健康を守り、快適な生活を確保するための施策は福祉施策のなかでも最も大切なものだ。だがその中にはまだまだ問題を残すものもある。たとえば急激な人口増加による医療機関の不足等、その対策がいそがれるものも多い。 この映画では、県民がこの問題に対して何を望んでいるのか意見をきくとともに県の対策を紹介する。	昭和48	30分	カラー	0191
D072	ビニールハウス団地	千葉県農業はいま、着々と近代化への道を歩んでおり、高生産と高収入をめざすハウス栽培はその一つとして注目されている。そしてこのハウス栽培は、東総、南総地域を中心に幅広く行われている。 この映画では、旭市にある「谷町場施設園芸組合」を中心に、新しいハウス栽培の方法や従事する人々の生活を紹介します。	昭和48	30分	カラー	0191

## 県広報映画：県民の広場

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
D073	文化財を守る	房総半島で人間が生活するようになったのは、今から数万年前であったといわれる。この古い歴史は、本県にきわめて豊かな文化的遺産を残した。だが貴重な遺産も進む産業開発、宅地造成などでいま破壊の危険にさらされている。 この映画では、先人から受け継いできた文化財をいかにして守っていったらよいか そのあり方を探る。	昭和48	30分	カラー	0191
D074	都市の緑化大作戦	私たちが生きていくために必要な酸素を供給し、そのうえ良好な生活環境をつくってくれる緑は、最近都市部で急速に少なくなっている。この貴重な緑が、私たちの住むこの大地からなくならないようにするにはどうしたらよいか。 この映画では、都市部における県の緑化推進策と緑化に力を入れる人々の姿を描く。	昭和48	30分	カラー	0192
D075	黒潮に生きる 老人船団	房総半島の南端館山市相浜に平均年令70才という老人船団があり、活躍を続けている。団員たち20名は朝早くから3隻の船に乗り獲物を求めて房総沖へと出漁する。 この映画では、この老人船団の人たちの姿を詩情豊かに描く。〔昭和48年度日本テレフィルム奨励賞受賞作品〕	昭和48	30分	カラー	0192
D076	鯨を追って	和田町を中心に江戸時代より行われてきた捕鯨。毎年4月頃から10月頃まで太平洋岸にあらわれる鯨を追って、勇壮な海の男たちの活動がつづく。小型漁船での捕鯨には、すぐれた技術と長い経験に培われた「カン」が必要だ。 この映画では、房総沖で行われるツチクジラの捕鯨を千葉県に唯一残っている第11純友丸の活動を通して描く。	昭和48	30分	カラー	0192
D077	恐るべき食中毒	食中毒は、7月から10月にかけて多く発生する。その原因は魚介類によるものが多く、全体の60%以上を占めている。また発生先は家庭、民宿、旅館などが多く、特に家庭での食中毒予防のための注意が望まれている。 この映画では、食中毒事故防止対策をわかりやすく解説する。	昭和48	30分	カラー	0192
D078	保母さん	共働き世帯の増加、農村における兼業化などによって保育を必要とする児童は増加している。これらの児童を保護者に代って保育する保育所は、県内に423カ所あり、約43,000人の児童が保母さんのもとで生活している。 保母さんと子どもたちの交流をとおして、児童福祉について考える。	昭和48	30分	カラー	0193

## 県広報映画：県民の広場

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ 番号
D079	山の分校	<p>大多喜駅から南西へ22キロメートル、養老川の水源に近い清澄山系の一隅に大多喜町会所部落がある。この部落は戦時中に開拓された所で、その歴史は浅く、ここで生活する人たちは畑作と林業で家計をたててきた。</p> <p>この会所分校の生徒たちの姿を詩情豊かに描きながら、へき地教育について考える。</p>	昭和48	30分	カラー	0193
D080	裏通りの交通事故 生活道路	<p>最近では主要道路が車でいっぱいになり、それをさけて車が裏通りに殺到する。だが一方、ここは子どもの遊び場であったり、自動車置き場であったりする。そのため悲惨な交通事故があとを絶えない。</p> <p>この映画では、遊園地や小公園の周辺道路や裏通りでの交通事故防止対策について考える。</p>	昭和48	30分	カラー	0193
D081	青年の家	<p>青少年たちが規則正しい共同生活を通し、自己をきたえ、友情を深め、よりよい社会人となるための研修の場として青年の家がある。</p> <p>この映画では、東金青年の家で研修に励む青少年たちの姿を追いながら、県の青少年対策について考える。</p>	昭和48	30分	カラー	0193
D082	消費者は自衛する	<p>石油危機を反映し、物価の上昇は著しい。こうした中で、団地自治会、婦人団体など消費者団体は生活共同組合の利用や産地直結による共同購入を実施して自分たちの生活を守ろうとしている。この映画では、現在の物価上昇に対して主婦たちがどう対処しようとしているのか、生協の動きとともに紹介する。</p>	昭和48	30分	カラー	0194
D083	機械の健康診断	<p>経済活動が急速に進むなかで、中小企業が当面する課題は多く、今後、発展していくためには製品の高度化等あらゆる面での努力が望まれる。こうした中小企業の技術相談、指導相手として千葉県機械金属試験場がある。</p> <p>この映画では、試験場で機械金属の技術相談、指導、検査等にあたる人たちの姿を紹介する。</p>	昭和48	30分	カラー	0194
D084	海を守る 犬吠崎燈台	<p>本州の東端、太平洋の怒濤がうちよせる銚子半島の一角、犬吠崎に白亜の燈台がそびえたっている。この燈台は海上を行きかう船舶の安全を守るため明治7年に建設された。</p> <p>この映画では、犬吠崎燈台の100年の歴史をふりかえりながら、海上交通の安全を守るために努力をはらう燈台職員の姿を描く。</p>	昭和48	30分	カラー	0194

## 県広報映画：県民の広場

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	テープ ク番
D085	清澄の煙 炭を焼いて50年	標高250から340メートルの山波が続く清澄山系は、炭の生産場として10年前まで栄えていた所である。近年になって、この炭は電気、ガスなどの燃料にその座をうばわれ、いまでは炭を使用する人はごく一部のものだけである。この映画では、房総の屋根といわれる清澄山のふもとで一心に炭を焼く老人の姿を描く。	昭和48	30分	カラー	0194
D086	房総の年輪 生活民具史	民具は私たちの祖先が過ごしてきた日々の生活を物語る貴重なものであり、同時にわが国の伝統文化の基盤的な特質を示すものである。房総各地に残る民具の歴史をたどりながら、先人たちの生活様式や生活感情などを探る。	昭和48	30分	カラー	0195
D087	消防学校の1日	昭和36年4月、消防職員、団員の教養実技訓練の場として「千葉県消防学校」が設置され、これまで数多くの卒業生を第一線へ送り出してきた。現在学校では、各市町村から入校してきた消防職員が毎日訓練に汗を流している。消防学校での生活を描きながら、県の消防体制について考える。	昭和48	30分	カラー	0195
D088	われら職業訓練生	千葉県立職業訓練校は、市原、船橋、芝山など県内9カ所にあり、およそ1,100人の生徒たちがここで学んでいる。この映画では、自己の適正を生かした技術を身につけようと訓練に励む生徒たちの姿を描きながら、職業訓練校の役割について考える。	昭和48	30分	カラー	0195
D089	ある駐在所	銚子警察署豊岡警察官駐在所に勤務する山崎徳次郎巡查部長は、昭和18年、千葉県警察官となってから今日まで30年余りにわたり駐在所勤務をつづけてきた。この間非番の時は交通整理や指導にあたり、また勤務の余暇を利用してこどもたちの剣道指導も行ってきた。この山崎さんの生活を描く。	昭和48	30分	カラー	0195

## 県広報映画：特別企画作品

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	シリーズ番号
E001	ちば	首都圏の重要な一角を占め、あらゆる分野で飛躍的な発展を遂げつつある千葉県。だが私たちをとりまく社会情勢はいま大きく変わろうとしている。真の意味の豊かさとは何か。真の意味の幸せとは何か。新しい時代の流れのなかで、県と県民が歩むべき未来への道程への展望と条件を考える。	昭和47	32分	カラー	0196
E002	房総の歴史	豊かな水と海の幸 黒潮にのり住みよい土地を求めてやってきた古人たち。阿波国から忌部の人々を引きつれてきた天富命。この地によい麻がとれることから彼らは総の国と名付けたという。そして房総を舞台にくりひろげられた人々の生活と歴史 連綿として綴られたその歴史の中に息づく祖先たちの足跡をたどる。	昭和48	40分	カラー	0196
E003	若潮国体 第28回国民体育大会の記録	数々の思い出と友情の輪をひろげながら成功のうちに幕を閉じた若潮国体。それは記録へ挑戦する選手たちの精一杯競いあった力と技の結晶であり、感動のドラマであったかも知れない。この作品は、若潮国体（夏季・秋季）の公式記録映画である。 〔昭和48年度優秀映画鑑賞会推せん・昭和48年度文部省選定作品。〕	昭和48	64分	カラー	0197
E004	この力の限り 第9回全国身体障害者スポーツ大会の記録	身体の不自由を乗り越え県陸上競技場に集った選手たちの胸には、大いなる感激と希望が満ちあふれている。厳しい訓練とくじけそうになる己れの心と闘い、大会に出場した選手たち。この作品は第9回身障スポーツ大会に力強く展開する選手たちの活躍を記録した公式記録映画である。	昭和48	30分	カラー	0197
E005	若潮の祭典	第1部 催し物、開会式  第2部 選手村オープン、夏季大会、秋季大会、閉会式	昭和48	第1部 44分  第2部 46分	カラー	0198
E006	房総の自然	美しきふるさと 房総。ふるさとの山河は四季をとおして房総の詩情を育み、それは私たちの心をいやし大いなる生の喜びを与えてきた。 長期ロケーションにより房総の自然の生態を詩情豊かに描きながら、かけがえない自然を守り、後世に残していこうとする私たちの役割を考える。	昭和49	30分	カラー	0199

## 県広報映画：特別企画作品

番号	題名	内容	製作年	時間	色彩	フィルム 番号
E007	ガイド・ドキュメンタリー ちば	<p>巨大な臨海工業地帯・内陸工業団地を中心に本県は急速な工業化の道を行ってきた。だが若年労働力は大いに不足しており、その確保が大きな問題となっている。</p> <p>この映画は県外の高校生を対象に、千葉県のガイドと企業の紹介をはかる。</p>	昭和49	16分	カラー	0199
E008	真の豊かさを求めて	<p>昭和26年の千葉県は戦災の跡の消えやらぬがれきの山であったという。首都東京に隣接しながら、かつては関東の袋小路とまでいわれ、農林水産業が中心であった千葉が全国屈指の豊かな工業県として急速な発展をとげることを誰れが想像し得たであろう。</p> <p>この映画は、郷土の礎を築くための軌跡の一端を紹介する。</p>	昭和50	15分	カラー	0199
E009	房総の絵馬	<p>房総の長い歴史の中で人々の信仰の対象として今なお生きつづける「絵馬」がある。絵馬は、民衆の素朴な神への祈りであり、お礼であり、房総の風土の中で脈々と息づいている。映画は、数多くの絵馬をテーマに由来、信仰の美・創作の美を人々の生活のかかわりあいの中から今日的なアプローチで映像化する。</p> <p>〔昭和50年度富士フィルム映画技術賞・奨励賞・日本産業映画奨励賞受賞作品。〕</p>	昭和50	27分	カラー	0199

# テレビ放送用映画分類別索引

自 然			紀 行 ・ 風 俗		
番 号	題 名	ディスク 番 号	番 号	題 名	ディスク 番 号
A109	手賀沼のほとり	0028	A037	利根川	0010
A116	房総の自然 利根川詩情	0029	A045	ふるさとの心	0012
A127	房総の自然 食虫植物	0032	A065	県境	0017
A136	房総の自然 房総の詩	0034	A070	橋 銚子大橋	0018
A148	自然保護への道	0037	A072	九十九里	0018
A156	水と魚と自然と	0039	A087	東洋ドーバーの町 飯岡	0022
A165	干潟の詩	0042	A099	門前町の新しい顔	0025
A260	汀(みぎわ)	0065	A111	十一万石の城下町 佐倉	0028
A314	空からこんにちは 美しい房総	0079	A113	港町 勝浦	0029
A319	房総の海 その美しい海中	0080	A123	房総の海	0031
A322	九十九里	0081	A126	醤油のまち 野田	0032
A334	自然との出会い	0084	A131	木更津今昔	0033
A335	野鳥	0084	A134	房総の祭 秋	0034
A344	わたしたちの海と川	0086	A137	宿場町 船橋	0035
A360	干潟の四季	0090	A142	印旛の春	0036
A371	山野の味覚	0093	A149	房総の民芸品	0038
A378	房総の滝	0095	A154	鯛の浦の町 天津小湊	0039
A423	房総の清流を訪ねて 湊川	0106	A155	山武杉物語	0039
A428	ちば・ふるさと賛歌 自然と歴史	0107	A167	水郷のまち 佐原	0042
A436	ふるさと・ちば 房総の四季	0109	A179	栄華をしのぶ大多喜城 大多喜	0045
A438	小櫃川	0110	A181	房総花物語	0046
A444	伝説の海 勝浦・天津小湊	0111	A182	駅前3分停車 シリーズ・その1	0046
			A186	松と文化の町 市川	0047

番号	題名	ディスク番号	番号	題名	ディスク番号
A195	駅前3分停車 シリーズ・その2	0049	A376	木原線の走るまち	0094
A206	駅前3分停車 シリーズ・その3	0052	A387	生きている民話 印旛沼を訪ねて	0097
A210	ふるさと市場 勝浦の朝市	0053	A408	古樹	0102
A217	駅前3分停車 シリーズ・その4	0055	A418	利根川早春賦	0105
A224	駅前3分停車 シリーズ・その5	0056	A420	生きている民話 上総地方を訪ねて	0105
A230	東京湾に生きる 漁師たちの日々	0058	A433	房総探訪・ふるさとの味	0109
A231	野良の唄が聞える	0058	A446	走れ木原線	0112
A233	房総の女シリーズ・その1 九十九里浜黒潮とオッペシ	0059	A448	房総の味 太巻ずしのルーツ	0112
A240	房総の女シリーズ・その2 海女	0060	A451	黒潮との語らい 九十九里浜	0113
A247	風物詩 ふるさとの味	0062	A464	房総詩情 わらべ歌の旅	0116
A254	房総の女シリーズ・その3 花に生きる	0064	観 光		
A261	春を迎える 房総の祭	0066			
A283	房総のわらべ唄	0071	番号	題名	ディスク番号
A290	房総の女シリーズ・その4 伝統工芸を守る女たち	0073	A007	花・花・花 春の南房	0002
A304	房総の天然記念物	0076	A023	房総の民宿	0006
A312	ローカル線沿線考	0078	A055	花の南房総	0014
A326	新ふるさと探訪	0082	A069	房総旅情	0018
A329	ふるさとの玩具	0083	A147	ホリデー・イン房総	0037
A330	房総と黒潮	0083	A257	湯の郷を訪ねて	0065
A338	漁村の人々	0085	A273	房総の旅シリーズ・その1 山を歩く	0069
A341	房総の車内スケッチ	0086	A291	房総の旅シリーズ・その2 海・花・人々	0073
A342	印旛沼の集落	0086	A298	水と緑と太陽と 県民の遊び場	0075
A343	ふるさとの民唄	0086	A316	三石山	0079
A372	房総丘陵に行く	0093	A337	私の小さな旅 房総	0085

番号	題名	ディスク番号	文化・芸術		
A358	房総の釣り	0090			
A368	房総の灯台	0092	番号	題名	ディスク番号
A386	房総海水浴事情	0097	A006	ふるさとのうた	0002
A425	駅前風物詩 房総の夏	0107	A010	伝統に生きる	0003
A456	私の小さな旅 南房総バス紀行	0114	A090	伝統を守る	0023
教育・青少年			A096	生活のなかの技	0024
			A170	蛙の笛 九十九里の老詩人	0043
番号	題名	ディスク番号	A174	明日をひらく芸術の殿堂	0044
A009	ヤング'71	0003	A176	浜辺の詩	0044
A012	へき地教育に生きる	0003	A177	芝山象嵌	0045
A026	われら高校生	0007	A227	伝統をまもる 「刀匠」備前昭房の記録	0057
A092	わたしは三歳	0023	A244	鬼来迎	0061
A102	鍛える	0026	A286	秋の祭り	0072
A196	白球の青春を追って	0049	A311	五線譜に夢を託して	0078
A228	ある訪問教師の記録	0057	A324	美しさとの出逢い	0081
A242	青年の船	0061	A349	民俗芸能を守る	0088
A263	非行 ある少年の回想	0066	A364	空からこんにちは 江戸川に沿って	0091
A293	技術を学ぶ	0074	A365	空からこんにちは 千葉から北総台地	0092
A309	老人大学校 充実したとき	0078	A398	留学生日記	0100
A356	海の子山の子	0089	A399	房総の詩	0100
A369	もう1つの青春 白球を追って	0093	A406	房総の民家	0102
A381	非行の芽 ツッパリ	0096	A415	房総地名考	0104
			A419	涼の演出家	0105
			A421	橋	0106
			A441	わざ 下総の伝統工芸	0111

番号	題名	ディスク番号	番号	題名	ディスク番号
A461	伝統の技 日本情緒の演出者	0116	A172	ある老人の挑戦 65才のランナー	0043
生 活			A173	ある過疎地域の記録	0044
			A178	消費の知恵	0045
番号	題名	ディスク番号	A187	ハウスの青春 花き栽培に生きる	0047
A008	がんばれ！！ママさん	0002	A188	生活の中のローカル線 銚子電鉄	0047
A014	若ものたち	0004	A199	レッツ・サイクリング	0050
A016	首都圏のなかの340万人	0004	A209	駅前ひろば 都市整備と商店街	0053
A024	消費者は王様か	0006	A216	明日への活力 くらしと食生活	0054
A027	過疎地帯をゆく	0007	A245	体力づくり	0062
A031	体力づくり	0008	A251	都市と公園	0063
A038	都市化とコミュニティー	0010	A259	40歳代からの健康	0065
A049	消費者と生協	0013	A279	消費生活を考える	0070
A050	宅地パトロール	0013	A288	下水道	0072
A058	過疎対策	0015	A321	あなたもわたしもスポーツマン	0081
A063	週休2日制を考える	0016	A328	みんなで進めよう省エネルギー	0082
A085	流域下水道	0022	A354	都市を支える人々	0089
A091	千葉県の公園	0023	A389	手軽にきたえる	0098
A097	暮らしとはかり	0025	A467	体にいいことしてる？	0117
A140	父と子の海	0035	産 業		
A145	若いスクラム	0037			
番号	題名	ディスク番号	番号	題名	ディスク番号
A158	現代都市の課題	0040	A001	25年の成果	0001
A163	港町1番地	0041	A003	京葉臨海工業地帯	0001
A168	花ひらく県民スポーツ	0042	A004	農業水産の現況	0001
A169	統計と生活	0043			

番号	題名	ディスク番号	番号	題名	ディスク番号
A015	農業改良普及員の1日	0004	A119	房総の養蚕	0030
A018	大地をひらく	0005	A124	市場の1日	0031
A028	千葉港	0007	A125	房総の特産物	0032
A030	中小企業の悩み	0008	A132	乳牛育成牧場	0033
A035	魚と流通	0009	A144	明日への農業	0036
A036	波のり道路	0009	A160	経営診断 中小企業の課題	0040
A039	房総の酪農	0010	A161	兼業農家を考える	0041
A040	日本の玄関 成田空港	0010	A175	伸びゆく内水面漁業	0044
A043	京葉臨海工業地帯	0011	A198	明日への北総台地	0050
A044	銚子漁港	0011	A211	水資源	0053
A051	花ひらく大動脈 東関東自動車道	0013	A212	農業の機械化	0053
A052	変ぼうする北総	0013	A218	漁船	0055
A068	過密	0017	A226	魚の旅 生鮮食料品と流通	0057
A071	都市近郊農業を考える	0018	A236	そだてる力 千葉県の栽培漁業	0059
A076	千葉県の林業	0019	A238	にわとり	0060
A078	かつおを追って	0020	A249	植木	0063
A082	千葉県の鉄道網	0021	A262	千葉県の農業	0066
A086	農業に生きる若ものたち	0022	A270	変わりゆく北総農業	0068
A101	海に生きる 海の後継者	0026	A271	まちの中の工場	0068
A103	栽培漁業	0026	A276	漁港	0069
A107	若い力	0027	A284	むらぐるみ農業	0071
A108	千葉県の畜産 養豚・養鶏	0027	A289	房総の畜産	0073
A114	躍進する千葉港	0029	A294	千葉港	0074
A117	新しい時代の農業	0030	A295	中小企業は今 不況・円高の中で	0074

番号	題名	ディスク番号	番号	題名	ディスク番号
A299	緑を育てる	0075	A032	赤い血	0008
A301	みなおそう千葉の米	0076	A033	公害 騒音・振動・悪臭	0009
A303	海に生きる若者たち	0076	A066	緑の散歩道	0017
A313	空からこんにちは 新しい千葉県	0079	A067	バキュームカー	0017
A331	土に生きる若者たち	0083	A074	食品Gメン	0019
A350	これからの農業 乾田化へのみち	0088	A077	不法投棄	0020
A366	調和ある発展をめざして 内陸工業団地	0092	A081	危険がいっぱい 山砂利対策	0021
A380	林道	0095	A084	環境汚染への盛装	0021
A384	水の道	0096	A095	環境Gメン	0024
A396	サケよ帰れ 南限に挑む	0099	A120	姿なき汚染 光化学スモッグ	0030
A413	東京湾ノリ物語	0104	A128	都市河川	0032
A426	技術新時代の千葉県工業	0107	A129	大量消費のかけに ゴミ処理問題	0033
A427	ちば・ふるさと賛歌 産業	0107	A141	公害対策	0036
A455	東京湾賛歌	0114	A143	わたしは看護婦	0036
A459	明けゆく千葉港	0115	A157	産業廃棄物の行方	0040
A466	新・産業県千葉	0117	A164	がんに挑む	0041
環 境 ・ 衛 生			A189	保健婦に生きる	0048
			A192	クリーン房総をめざして	0048
番号	題名	ディスク番号	A208	生活污水の行方	0052
A017	保健婦さん	0005	A225	現代社会と精神衛生	0057
A020	緑と生活	0005	A232	食品の安全を求めて	0058
A022	公害 地盤沈下	0006	A234	こんにちは赤ちゃん 母子保健推進員の活動	0059
A025	公害 水質保全	0007	A239	ムダの集積 ゴミ処理を考える	0060
A029	公害 大気汚染	0008	A252	よみがえれ東京湾 水質調査船「きよすみ」	0063

番号	題名	ディスク番号	番号	題名	ディスク番号
A256	ワクチン	0064	A093	老後のしあわせ 老人問題	0024
A265	いのちの絆	0067	A105	難病と闘う 筋ジストロフィー	0027
A269	野ら犬	0068	A115	子どもの願い 児童福祉	0029
A275	松を守る 松くい虫防除作戦	0069	A130	いち・に・の・さん 精薄者の社会復帰	0033
A281	くすり	0071	A133	キャンバスの詩	0034
A297	青空のもとで	0075	A139	君は何を射るか ある身障者の記録	0035
A307	みんなですすめる救急医療	0077	A151	あるケースワーカーの記録	0038
A385	沼は訴える	0097	A152	心に灯を 手話通訳者	0038
A388	ワンワン奮闘記	0097	A159	かたつむりの詩	0040
A401	この道に生きる	0101	A191	鶴舞に灯ひとつ	0048
A414	成人病予防への道 脳卒中	0104	A205	いのちの詩	0052
A424	よみがえれ手賀沼と印旛沼	0106	A207	老人・その生きがい	0052
A432	ポチの大冒険	0108	A222	トキユメフト・オムニバス 三つの灯 福祉に挑む人々	0056
社 会 福 祉			A250	まちのおとしより	0063
			A258	苦難をこえて 身障者と職業	0065
番号	題名	ディスク番号	A266	のばせ愛の手 ボランティア	0067
A019	老人たちの記録	0005	A278	第二の人生 仕事・その生きがい	0070
A021	明日への願い	0006	A287	健やかな成長を願って 児童福祉士的一天	0072
A047	この子らに愛を 特殊教育の記録	0012	A308	あしたに向って	0077
A062	ホームヘルパーの記録	0016	A325	交流の輪を広げて あるボランティアの活動	0082
A064	ある母子家庭の記録	0016	A332	困難を乗り越えて 就職へのみち	0083
A073	情緒障害児	0019	A359	さよなら桜が丘育成園	0090
A079	ある人生 児童福祉に50年	0020	A391	笑顔のふれあい 老人家庭奉仕員	0098
A089	しあわせの詩	0023			

番号	題名	ディスク番号	番号	題名	ディスク番号
A395	自立への道 障害を乗り越えて	0099	A317	幼児の目と交通事故	0080
A435	心のきずなを結ぶ 母子福祉推進員	0109	A346	忍びよる魔の手 覚せい剤	0087
交 通 ・ 警 察			A351	ヘッドライト	0088
			A361	ゆがんだ青春 暴走族	0091
番号	題名	ディスク番号	A382	安全な日々を願って	0096
A013	人と車	0004	A402	もう一つの交通安全 交通安全施設	0101
A042	パトロールカー	0011	A445	安全を願って 高速道路交通警察隊	0112
A053	後遺症 ある交通事故者の訴え	0014	保 安 ・ 災 害		
A061	交通禍時代	0016			
A075	ある死角 交通事故多発現場	0019	番号	題名	ディスク番号
A088	ひき逃げ	0022	A094	防災への時間割	0024
A110	悲しみの詩	0028	A104	明るい明日をめざして 私は婦人警察官	0026
A122	路上の墓標	0031	A200	恐るべき幻覚 シンナー乱用	0050
A138	自転車考現学	0035	A223	もし!!大地震がおきたら 災害への心構え	0056
A150	若さをかけて ある白バイ警察官	0038	A241	大雨に備えて	0061
A185	悲しみの記録	0047	A306	炎と戦う ある消防士の日	0077
A193	危いと思ったら	0049	A318	大地震その時	0080
A203	衝撃	0051	A345	第1回六都県市合同防災訓練	0087
A213	ある青春 警察学校物語	0054	A363	波と闘う	0091
A220	交番日記 犯罪のない街づくり	0055	A407	房総沖巨大地震にそなえて	0102
A235	音楽隊員の青春	0059	A465	まちを守るのはあなた 自主防災組織	0117
A246	交通事故の原因を追って	0062			
A277	鑑識	0070			
A302	ある加害者の告白	0076			

歴 史			番 号	題 名	ディスク 番 号
			A437	口平兄岡録 ドン・ロドリゴと御宿・大多喜	0110
番 号	題 名	ディスク 番 号	A439	利根運河 その歴史と姿	0110
A166	警察百年の歩み	0042	A440	一茶の房総行脚	0110
A197	房総路をいく 成田道	0050	A443	房総の捕鯨	0111
A201	房総の古寺を訪ねて	0051	A454	近代医学への道 蘭医・佐藤泰然	0114
A202	ドキュメント・房総昭和 50年の歩み	0051	A458	古街道を行く 鮮魚街道、御成街道、成田街道	0115
A215	房総ロマンのふるさと 富山	0054	行 政 ・ そ の 他		
A267	坂東巡礼の旅	0067			
A268	県政30年の歩み	0067	番 号	題 名	ディスク 番 号
A336	万葉の旅 房総	0084	A002	最近の県政	0001
A339	古墳を訪ねて	0085	A005	これからの千葉県	0002
A347	浮世絵の創始者 菱川師宣	0087	A011	県民の顔	0003
A352	里見一族の興亡	0088	A034	千葉丸	0009
A355	東京湾ものがたり	0089	A041	若潮国体をめざして	0011
A373	実測地図の礎 伊能忠敬	0094	A046	夢のかけ橋	0012
A377	房総の伝説を訪ねて 頼朝の20日間	0095	A048	県政の主なできごと	0012
A392	御成街道 その謎をたずねて	0098	A054	百万都市への課題	0014
A393	浜辺の今昔	0099	A056	千葉県の水道	0014
A400	農村に生きる技	0100	A057	成田空港 代執行の記録	0015
A403	房総農業の先覚者たち	0101	A059	外からみた千葉県	0015
A405	石仏は語る	0102	A060	建築Gメン	0015
A410	500万人への道のり 房総を担った先人たち	0103	A080	水資源の開発	0020
A411	500万人への道のり 戦後のあゆみ	0103	A083	首都圏と千葉県	0021
A416	房総女性史 教育に捧げた人々	0104	A098	県政の主なできごと	0025
A430	蒼穹を駆けぬけた男たち 房総民間航空史	0108			

番号	題名	ディスク番号	番号	題名	ディスク番号
A100	レッツ・ゴー若潮国体	0025	A255	12月定例県議会 話題を追って	0064
A106	道路を守る	0027	A264	2月定例県議会 話題を追って	0066
A112	参加しよう！！若潮国体	0028	A272	このかけがえのない自然を	0068
A118	ふさかぜ	0030	A274	6月定例県議会 話題を追って	0069
A121	県政の展望 第4次5カ年計画	0031	A280	9月定例県議会 話題を追って	0070
A135	県政の主なできごと	0034	A282	千葉県の道路	0071
A146	2月定例県議会 話題を追って	0037	A285	12月定例県議会 話題を追って	0072
A153	家畜の健康診断	0039	A292	2月定例県議会 話題を追って	0073
A162	6月定例県議会 話題を追って	0041	A296	6月定例県議会 話題を追って	0074
A171	9月定例県議会 話題を追って	0043	A300	9月定例県議会 話題を追って	0075
A180	県政の主なできごと	0045	A305	12月定例県議会 話題を追って	0077
A183	12月定例県議会 話題を追って	0046	A310	2月定例県議会 話題を追って	0078
A184	余暇時代へのプロローグ	0046	A315	6月定例県議会	0079
A190	土地 その将来への展望	0048	A323	9月定例県議会 話題を追って	0081
A194	2月定例県議会 話題を追って	0049	A327	12月定例県議会 話題を追って	0082
A204	6月定例県議会 話題を追って	0051	A333	2月定例県議会 話題を追って	0084
A214	9月定例県議会 話題を追って	0054	A340	6月定例県議会 話題を追って	0085
A219	県政の主なできごと	0055	A348	9月定例県議会	0087
A221	12月定例県議会 話題を追って	0056	A353	12月定例県議会	0089
A229	2月定例県議会 話題を追って	0058	A357	2月定例県議会	0090
A237	6月定例県議会 話題を追って	0060	A362	6月定例県議会	0091
A243	千葉県新総合5か年計画 ひずみなき千葉県をめざして	0061	A367	第二次新総合5か年計画	0092
A248	9月定例県議会 話題を追って	0062	A370	9月定例県議会	0093
A253	県政の主なできごと	0064	A374	12月定例県議会	0094

番号	題名	ディスク番号	番号	題名	ディスク番号
A375	住みよい街づくり	0094	A468	千葉県の姿	0117
A379	2月定例県議会	0095			
A383	6月定例県議会	0096			
A390	9月定例県議会	0098			
A394	12月定例県議会	0099			
A397	2月定例県議会	0100			
A404	6月定例県議会	0101			
A409	9月定例県議会	0103			
A412	12月定例県議会	0103			
A417	2月定例県議会	0105			
A422	6月定例県議会	0106			
A429	9月定例県議会	0108			
A431	12月定例県議会	0108			
A434	2月定例県議会	0109			
A442	6月定例県議会	0111			
A447	9月定例県議会	0112			
A449	ふるさとに緑を 第9回全国育樹祭	0113			
A450	12月定例県議会	0113			
A452	房総新時代への出発 ふるさと千葉5か年計画	0113			
A453	2月定例県議会	0114			
A457	6月定例県議会	0115			
A460	9月定例県議会	0115			
A462	12月定例県議会	0116			
A463	2月定例県議会	0116			

# 地域別索引

千葉県地域			番号	題名	ディスク番号
			A219	県政の主なできごと	0055
番号	題名	ディスク番号	A222	ドキュメント・オムニバス 三つの灯 福祉に捧げる人々	0056
A001	25年の成果	0001	A224	駅前3分停車 シリーズ・その5	0056
A003	京葉臨海工業地帯	0001	A235	音楽隊員の青春	0059
A008	がんばれ！！ママさん	0002	A267	坂東巡礼の旅	0067
A009	ヤング'71	0003	A294	千葉港	0074
A017	保健婦さん	0005	A297	青空のもとで	0075
A028	千葉港	0007	A302	ある加害者の告白	0076
A029	公害 大気汚染	0008	A364	空からこんにちは 江戸川に沿って	0091
A043	京葉臨海工業地帯	0011	A365	空からこんにちは 千葉から北総台地	0092
A049	消費者と生協	0013	A380	林道	0095
A054	百万都市への課題	0014	A392	御成街道 その謎をたずねて	0098
A086	農業に生きる若ものたち	0022	A421	橋	0106
A096	生活のなかの技	0024	A426	技術新時代の千葉県工業	0107
A114	躍進する千葉港	0029	A430	蒼穹を駆けぬけた男たち 房総民間航空史	0108
A130	いち・に・の・さん 精薄者の社会復帰	0033	A455	東京湾賛歌	0114
A132	乳牛育成牧場	0033	A458	古街道に行く 鮮魚街道、御成街道、成田街道	0115
A163	港町1番地	0041	A459	明けゆく千葉港	0115
A174	明日をひらく芸術の殿堂	0044	B001	千葉県政ニュース	0119
A182	駅前3分停車 シリーズ・その1	0046	B004	千葉県政ニュース	0119
A191	鶴舞に灯ひとつ	0048	B005	千葉県政ニュース	0119
A195	駅前3分停車 シリーズ・その2	0049	B014	千葉県政ニュース	0121
A202	ドキュメント・房総昭和 50年の歩み	0051	B026	千葉県政ニュース	0124
A206	駅前3分停車 シリーズ・その3	0052	B035	千葉県政ニュース	0125
A209	駅前ひろば 都市整備と商店街	0053	B053	千葉県政ニュース	0128

番号	題名	ディスク番号	東 葛 飾 地 域		
B069	県民の窓 千葉県政ニュース	0132			
B110	太陽がいっぱい	0142	番号	題名	ディスク番号
B111	移りゆく東京湾	0142	A006	ふるさとのうた	0002
B147	東京湾風物詩	0151	A016	首都圏のなかの340万人	0004
B150	春を迎える	0152	A017	保健婦さん	0005
B151	養老川水流記	0153	A025	公害 水質保全	0007
B160	ふれあいの港 千葉ポートタワー	0156	A026	われら高校生	0007
B165	新しい国際都市幕張	0157	A038	都市化とコミュニティー	0010
C008	委員会の調査活動(その2)	0172	A049	消費者と生協	0013
C019	委員会の調査活動 農林水産	0174	A065	県境	0017
C020	委員会の調査活動 警察水道	0174	A085	流域下水道	0022
D008	あの悪夢から1年	0178	A109	手賀沼のほとり	0028
D024	文化の森 秋の芸術祭	0181	A124	市場の1日	0031
D027	駅前24時間	0182	A126	醤油のまち 野田	0032
D030	出初式	0182	A137	宿場町 船橋	0035
D043	ある町の変せん	0185	A175	伸びゆく内水面漁業	0044
D044	こどもの国の一日	0185	A180	県政の主なできごと	0045
D088	われら職業訓練生	0195	A182	駅前3分停車 シリーズ・その1	0046
			A186	松と文化の町 市川	0047
			A208	生活污水の行方	0052
			A312	ローカル線沿線考	0078
			A360	干潟の四季	0090
			A364	空からこんにちは 江戸川に沿って	0091
			A385	沼は訴える	0097
			A392	御成街道 その謎をたずねて	0098

番号	題名	ディスク番号	印 旛 地 域		
A421	橋	0106			
A425	駅前風物詩 房総の夏	0107	番号	題名	ディスク番号
A426	技術新時代の千葉県工業	0107	A015	農業改良普及員の1日	0004
A439	利根運河 その歴史と姿	0110	A018	大地をひらく	0005
A440	一茶の房総行脚	0110	A025	公害 水質保全	0007
A455	東京湾賛歌	0114	A040	日本の玄関 成田空港	0010
A458	古街道を行く 鮮魚街道、御成街道、成田街道	0115	A048	県政の主なできごと	0012
A461	伝統の技 日本情緒の演出者	0116	A051	花ひらく大動脈 東関東自動車道	0013
A464	房総詩情 わらべ歌の旅	0116	A052	変ぼうする北総	0013
B111	移りゆく東京湾	0142	A057	成田空港 代執行の記録	0015
B124	湖沼の秋	0145	A059	外からみた千葉県	0015
B131	駅前自転車考	0147	A085	流域下水道	0022
B135	房総の伝統工芸	0148	A099	門前町の新しい顔	0025
B157	十返舎一九の房総道中記	0155	A105	難病と闘う 筋ジストロフィー	0027
B160	ふれあいの港 千葉ポートタワー	0156	A111	十一万石の城下町 佐倉	0028
C022	委員会の調査活動 土木都市	0175	A142	印旛の春	0036
D013	千葉ニュータウンと地主さん	0179	A175	伸びゆく内水面漁業	0044
D027	駅前24時間	0182	A182	駅前3分停車 シリーズ・その1	0046
D030	出初式	0182	A197	房総路をいく 成田道	0050
			A198	明日への北総台地	0050
			A208	生活污水の行方	0052
			A217	駅前3分停車 シリーズ・その4	0055
			A224	駅前3分停車 シリーズ・その5	0056
			A231	野良の唄が聞える	0058
			A247	風物詩 ふるさとの味	0062

番号	題名	ディスク番号	番号	題名	ディスク番号
A249	植木	0063	C023	委員会の調査活動 商工労働	0175
A254	房総の女シリーズ・その3 花に生きる	0064	D013	千葉ニュータウンと地主さん	0179
A267	坂東巡礼の旅	0067	D017	まかり通るダンプカー	0180
A270	変わりゆく北総農業	0068	D088	われら職業訓練生	0195
A274	6月定例県議会 話題を追って	0069			
A285	12月定例県議会 話題を追って	0072			
A292	2月定例県議会 話題を追って	0073			
A296	6月定例県議会 話題を追って	0074			
A300	9月定例県議会 話題を追って	0075			
A342	印旛沼の集落	0086			
A365	空からこんにちは 千葉から北総台地	0092			
A387	生きている民話 印旛沼を訪ねて	0097			
A392	御成街道 その謎をたずねて	0098			
A426	技術新時代の千葉県工業	0107			
A454	近代医学への道 蘭医・佐藤泰然	0114			
A458	古街道に行く 鮮魚街道、御成街道、成田街道	0115			
B124	湖沼の秋	0145			
B132	史跡を歩く 房総風土記の丘	0147			
B135	房総の伝統工芸	0148			
B153	はたらくよるこび シルバー人材センター	0153			
C007	9月定例県議会 話題を追って	0172			
C008	委員会の調査活動(その2)	0172			
C020	委員会の調査活動 警察水道	0174			
C021	委員会の調査活動 文教	0175			
C022	委員会の調査活動 土木都市	0175			

香 取 地 域			海 匠 地 域		
番 号	題 名	ディスク 番 号	番 号	題 名	ディスク 番 号
A096	生活のなかの技	0024	A006	ふるさとのうた	0002
A167	水郷のまち 佐原	0042	A009	ヤング'71	0003
A224	駅前3分停車 シリーズ・その5	0056	A012	へき地教育に生きる	0003
A286	秋の祭り	0072	A035	魚と流通	0009
A304	房総の天然記念物	0076	A044	銚子漁港	0011
A408	古樹	0102	A070	橋 銚子大橋	0018
B048	千葉県政ニュース	0128	A078	かつおを追って	0020
C021	委員会の調査活動 文教	0175	A087	東洋ドーバーの町 飯岡	0022
D066	郷土芸能はぼくらの手で	0190	A122	路上の墓標	0031
			A140	父と子の海	0035
			A180	県政の主なできごと	0045
			A188	生活の中のローカル線 銚子電鉄	0047
			A195	駅前3分停車 シリーズ・その2	0049
			A244	鬼来迎	0061
			A249	植木	0063
			A267	坂東巡礼の旅	0067
			A276	漁港	0069
			A311	五線譜に夢を託して	0078
			A325	交流の輪を広げて あるボランティアの活動	0082
			A363	波と闘う	0091
			A440	一茶の房総行脚	0110
			B121	黒潮に幸を求めて 冬の漁業	0144
			B135	房総の伝統工芸	0148

番号	題名	ディスク番号	山 武 地 域		
B145	廃船物語	0151			
B154	房総の岬	0154	番号	題名	ディスク番号
C021	委員会の調査活動 文教	0175	A009	ヤング'71	0003
D072	ビニールハウス団地	0191	A036	波のり道路	0009
D084	海を守る 犬吠崎燈台	0194	A058	過疎対策	0015
D089	ある駐在所	0195	A072	九十九里	0018
			A127	房総の自然 食虫植物	0032
			A133	キャンパスの詩	0034
			A155	山武杉物語	0039
			A170	蛙の笛 九十九里の老詩人	0043
			A177	芝山象嵌	0045
			A195	駅前3分停車 シリーズ・その2	0049
			A233	房総の女シリーズ・その1 九十九里浜黒潮とオッペシ	0059
			A244	鬼来迎	0061
			A249	植木	0063
			A266	のばせ愛の手 ボランティア	0067
			A286	秋の祭り	0072
			A290	房総の女シリーズ・その4 伝統工芸を守る女たち	0073
			A298	水と緑と太陽と 県民の遊び場	0075
			A322	九十九里	0081
			A392	御成街道 その謎をたずねて	0098
			A451	黒潮との語らい 九十九里浜	0113
			A458	古街道に行く 鮮魚街道、御成街道、成田街道	0115
			B086	愛の献血	0136
			B108	房総の海と山と	0141



夷 隅 地 域			番 号	題 名	ディスク 番 号
			A446	走れ木原線	0112
番 号	題 名	ディスク 番 号	A456	私の小さな旅 南房総バス紀行	0114
A023	房総の民宿	0006	B027	千葉県政ニュース	0124
A078	かつおを追って	0020	B145	廃船物語	0151
A101	海に生きる 海の後継者	0026	B151	養老川水流記	0153
A113	港町 勝浦	0029	B154	房総の岬	0154
A136	房総の自然 房総の詩	0034	B155	童謡の里	0154
A156	水と魚と自然と	0039	B157	十返舎一九の房総道中記	0155
A172	ある老人の挑戦 65才のランナー	0043	D008	あの悪夢から1年	0178
A173	ある過疎地域の記録	0044	D057	釣船八幡丸 観光漁業に生きる	0188
A179	栄華をしのぶ大多喜城 大多喜	0045	D079	山の分校	0193
A206	駅前3分停車 シリーズ・その3	0052			
A210	ふるさと市場 勝浦の朝市	0053			
A217	駅前3分停車 シリーズ・その4	0055			
A247	風物詩 ふるさとの味	0062			
A267	坂東巡礼の旅	0067			
A273	房総の旅シリーズ・その1 山を歩く	0069			
A290	房総の女シリーズ・その4 伝統工芸を守る女たち	0073			
A303	海に生きる若者たち	0076			
A319	房総の海 その美しい海中	0080			
A338	漁村の人々	0085			
A376	木原線の走るまち	0094			
A425	駅前風物詩 房総の夏	0107			
A437	日本見聞録 ドン・ロドリゴと御宿・大多喜	0110			
A444	伝説の海 勝浦・天津小湊	0111			

安 房 地 域			番 号	題 名	ディスク 番 号
			A304	房総の天然記念物	0076
番 号	題 名	ディスク 番 号	A312	ローカル線沿線考	0078
A006	ふるさとのうた	0002	A319	房総の海 その美しい海中	0080
A007	花・花・花 春の南房	0002	A347	浮世絵の創始者 菱川師宣	0087
A027	過疎地帯をゆく	0007	A356	海の子山の子	0089
A039	房総の酪農	0010	A372	房総丘陵を行く	0093
A055	花の南房総	0014	A377	房総の伝説を訪ねて 頼朝の20日間	0095
A058	過疎対策	0015	A378	房総の滝	0095
A089	しあわせの詩	0023	A408	古樹	0102
A136	房総の自然 房総の詩	0034	A421	橋	0106
A154	鯛の浦の町 天津小湊	0039	A425	駅前風物詩 房総の夏	0107
A181	房総花物語	0046	A438	小櫃川	0110
A182	駅前3分停車 シリーズ・その1	0046	A440	一茶の房総行脚	0110
A187	ハウスの青春 花き栽培に生きる	0047	A443	房総の捕鯨	0111
A195	駅前3分停車 シリーズ・その2	0049	A444	伝説の海 勝浦・天津小湊	0111
A201	房総の古寺を訪ねて	0051	A456	私の小さな旅 南房総バス紀行	0114
A215	房総ロマンのふるさと 富山	0054	B108	房総の海と山と	0141
A224	駅前3分停車 シリーズ・その5	0056	B110	太陽がいっぱい	0142
A240	房総の女シリーズ・その2 海女	0060	B117	冬の南房総 花いっぱい	0143
A247	風物詩 ふるさとの味	0062	B135	房総の伝統工芸	0148
A267	坂東巡礼の旅	0067	B137	鋸山 石仏を訪ねて	0148
A273	房総の旅シリーズ・その1 山を歩く	0069	B141	房総の山々 その美しさ自然と人	0149
A290	房総の女シリーズ・その4 伝統工芸を守る女たち	0073	B142	ふるさとの民話 「安房」	0150
A291	房総の旅シリーズ・その2 海・花・人々	0073	B150	春を迎える	0152
A298	水と緑と太陽と 県民の遊び場	0075	B154	房総の岬	0154

番号	題名	ディスク番号	君津地域		
B155	童謡の里	0154			
B157	十返舎一九の房総道中記	0155	番号	題名	ディスク番号
C008	委員会の調査活動(その2)	0172	A001	25年の成果	0001
C019	委員会の調査活動 農林水産	0174	A003	京葉臨海工業地帯	0001
D012	祭りと村人	0179	A006	ふるさとのうた	0002
D014	海女	0179	A017	保健婦さん	0005
D030	出初式	0182	A043	京葉臨海工業地帯	0011
D035	つきんぼ船	0183	A046	夢のかけ橋	0012
D036	長寿村をたずねて	0184	A058	過疎対策	0015
D050	われは海の子	0186	A081	危険がいっぱい 山砂利対策	0021
D062	明るい村づくり 生活改善	0189	A120	姿なき汚染 光化学スモッグ	0030
D075	黒潮に生きる 老人船団	0192	A131	木更津今昔	0033
D076	鯨を追って	0192	A135	県政の主なできごと	0034
D085	清澄の煙 炭を焼いて50年	0194	A195	駅前3分停車 シリーズ・その2	0049
			A202	ドキュメント・房総昭和 50年の歩み	0051
			A206	駅前3分停車 シリーズ・その3	0052
			A217	駅前3分停車 シリーズ・その4	0055
			A224	駅前3分停車 シリーズ・その5	0056
			A267	坂東巡礼の旅	0067
			A273	房総の旅シリーズ・その1 山を歩く	0069
			A292	2月定例県議会 話題を追って	0073
			A297	青空のもとで	0075
			A298	水と緑と太陽と 県民の遊び場	0075
			A316	三石山	0079
			A378	房総の滝	0095

番号	題名	ディスク 番号	番号	題名	ディスク 番号
A423	房総の清流を訪ねて 湊川	0106	D061	おらが村の診療所	0189
A438	小櫃川	0110			
A449	ふるさとに緑を 第9回全国育樹祭	0113			
A455	東京湾賛歌	0114			
B001	千葉県政ニュース	0119			
B004	千葉県政ニュース	0119			
B022	千葉県政ニュース	0123			
B035	千葉県政ニュース	0125			
B069	県民の窓 千葉県政ニュース	0132			
B111	移りゆく東京湾	0142			
B119	夏のちびっ子天国	0144			
B127	山のガードマン 林業改良指導員の日	0146			
B137	鋸山 石仏を訪ねて	0148			
B141	房総の山々 その美しさ自然と人	0149			
B144	山の子音楽隊 「君津市福野小学校」	0150			
B147	東京湾風物詩	0151			
B152	久留里線を行く	0153			
B154	房総の岬	0154			
B155	童謡の里	0154			
B160	ふれあいの港 千葉ポートタワー	0156			
B161	21世紀へ架ける橋 東京湾横断道路	0156			
C008	委員会の調査活動(その2)	0172			
C019	委員会の調査活動 農林水産	0174			
C020	委員会の調査活動 警察水道	0174			
D008	あの悪夢から1年	0178			